

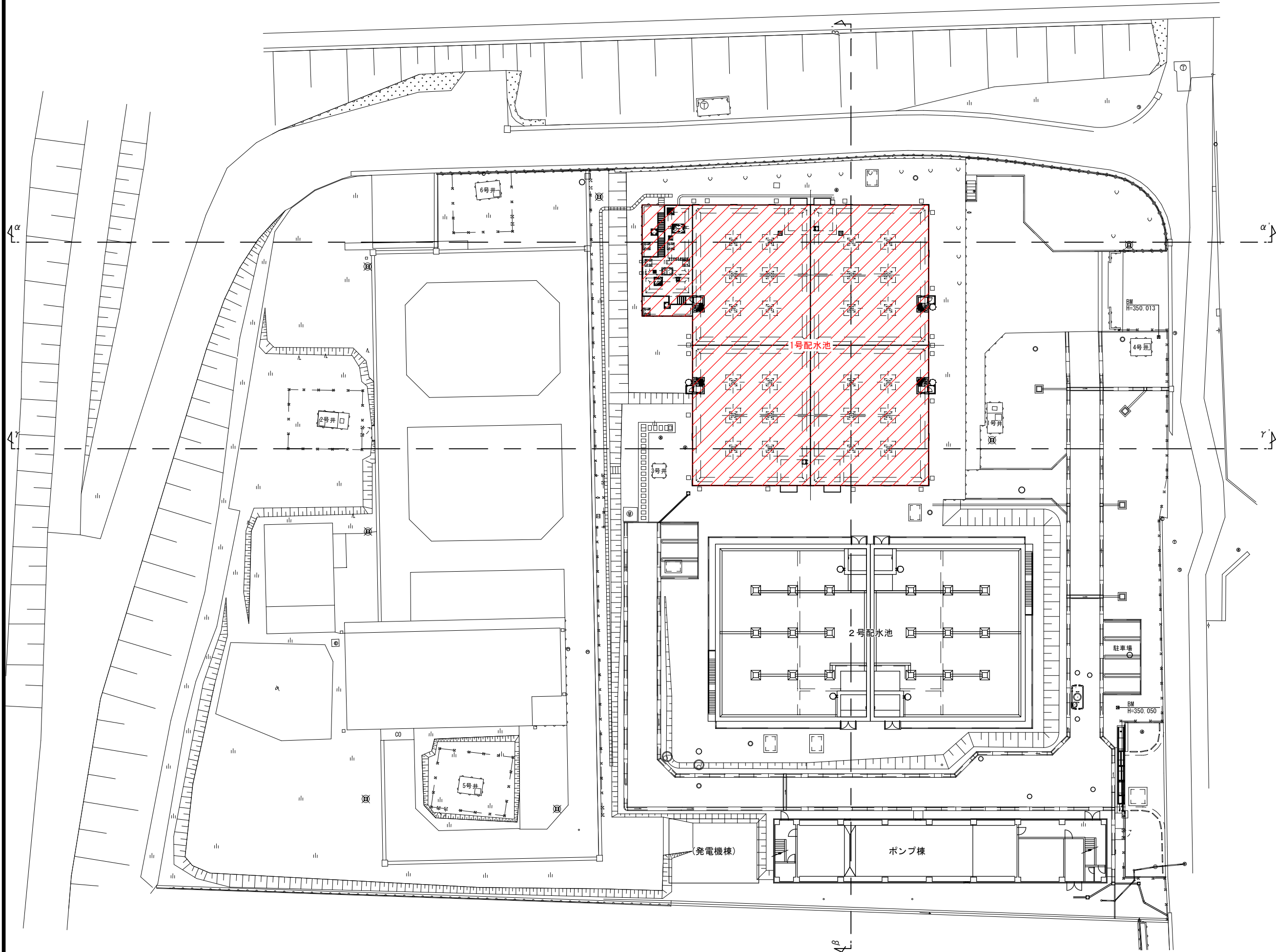
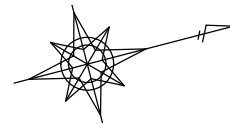
国補 川合新田水源 1 号配水池 耐震補強工事

実 施 設 計 図

長野市 上下水道局 浄水課

工事名称	国補 川合新田水源 1 号配水池耐震補強工事				
工事箇所	長野市大字川合新田				
図面名称					
縮 尺			図面番号		
課長		補佐		係長	
照査		設計		水道技術 管理者	
長野市上下水道局 浄水課					

川合新田水源 現況平面図 S=1:250 (A1)



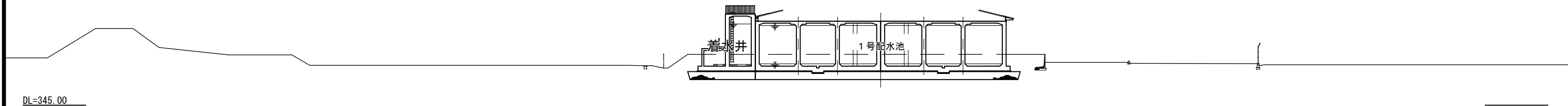
対象施設



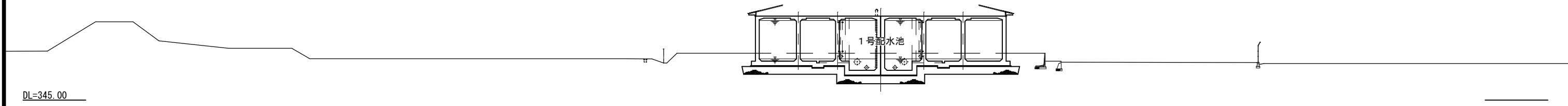
工事名称		国補 川合新田水源 1号配水池耐震補強工事			
工事箇所		長野市 大字川合新田			
図面名称		現況平面図			
縮 尺		1:250 (A1)		図面番号	1 / 42
課 長		補 佐		主 幹	係 長
照 査		設 計		水道技術 管理者	
年 月 日		令和 年 月 日			
長野市 上下水道局 浄水課					

川合新田水源 現況横断面図 S=1:250 (A1)

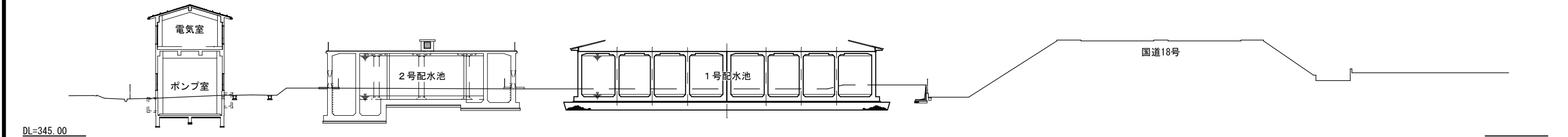
$\alpha - \alpha'$ 横断面図



$\gamma - \gamma'$ 横断面図



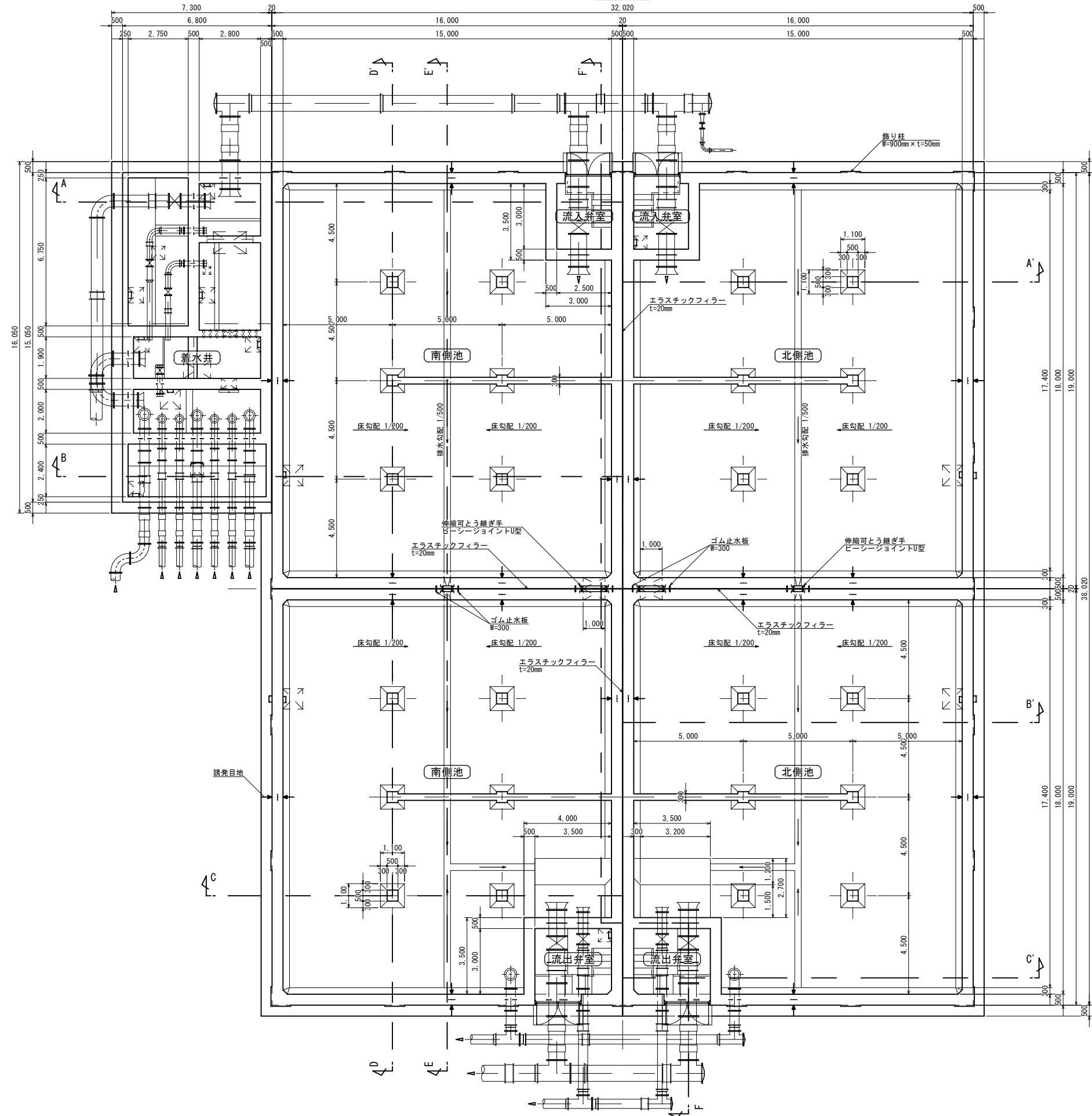
$\beta - \beta'$ 横断面図



工事名称	国補 川合新田水源 1号配水池耐震補強工事			
工事箇所	長野市 大字川合新田			
図面名称	現況横断面図			
縮尺	1:250 (A1)	図面番号	2 / 42	
課長	補佐	主幹	係長	
照査	設計	水道技術		管理者
年月日	令和	年	月	日
長野市 上下水道局 浄水課				

川合新田水源 1号配水池 現況構造図(1) S=1:100(A1)

平面図



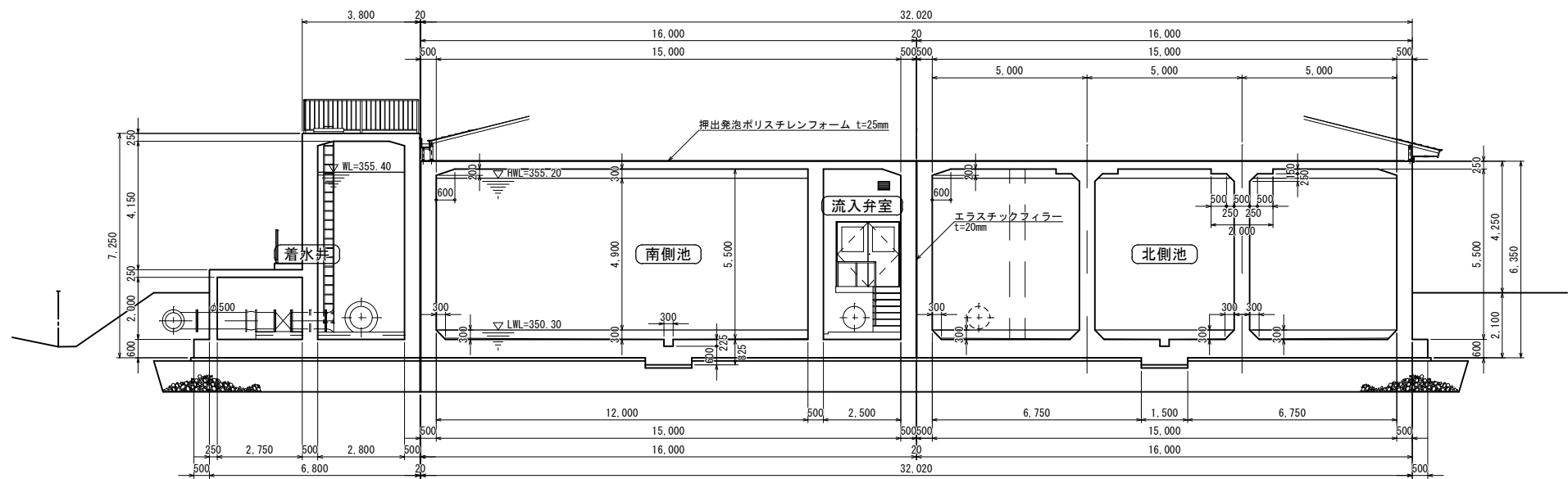
工事名称	国峰 川合新田水源 1号配水池耐震補強工事				
工事箇所	長野市 大字川合新田				
図面名称	1号配水池 現況構造図(1)				
縮尺	1:100(A1)		図面番号	3 / 42	
課長	補佐		主幹	係長	
照査		設計	水道技術 管理者		
年 月 日		令和	年	月 日	
長野市 上下水道局 浄水課					

上部平面図

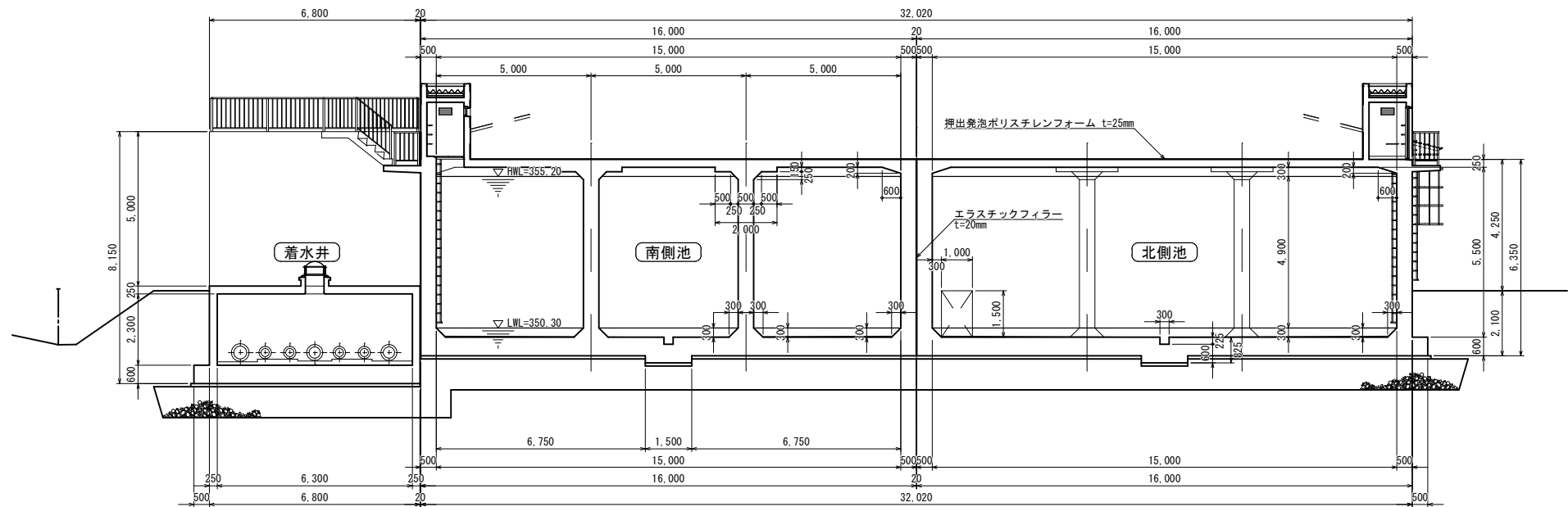


川合新田水源 1号配水池 現況構造図(3) S=1:100

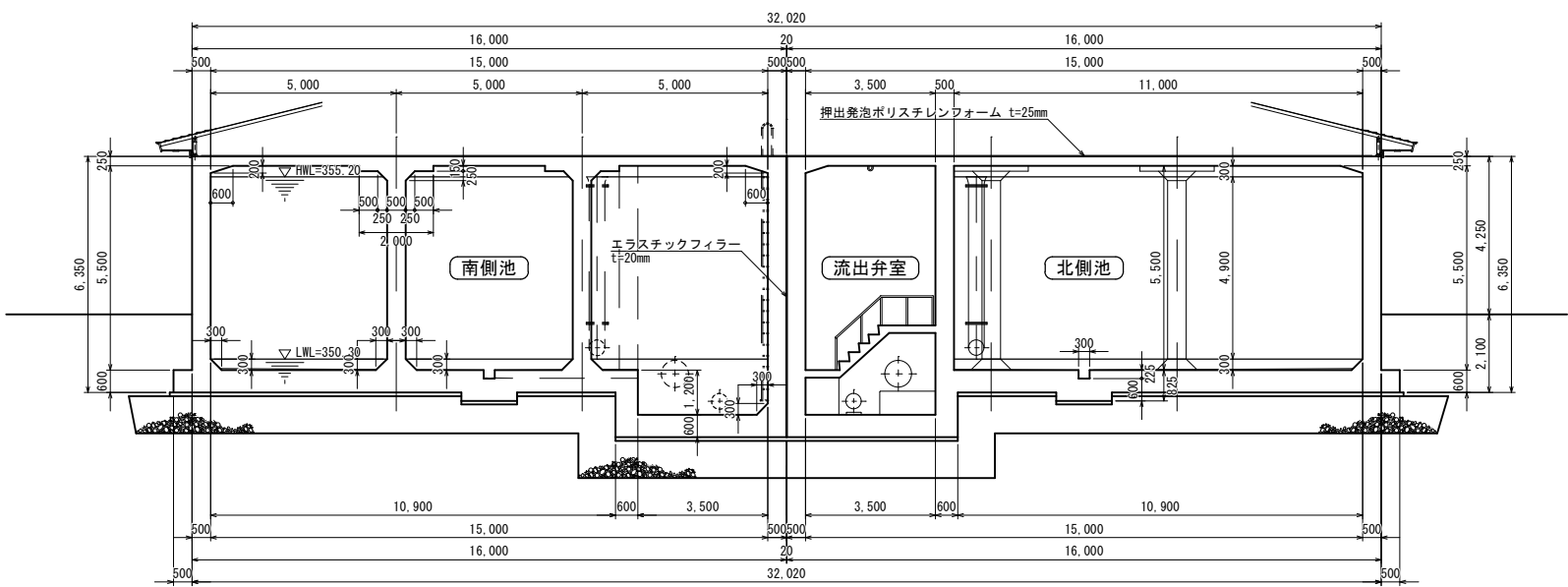
A-A' 断面図



B-B' 断面図



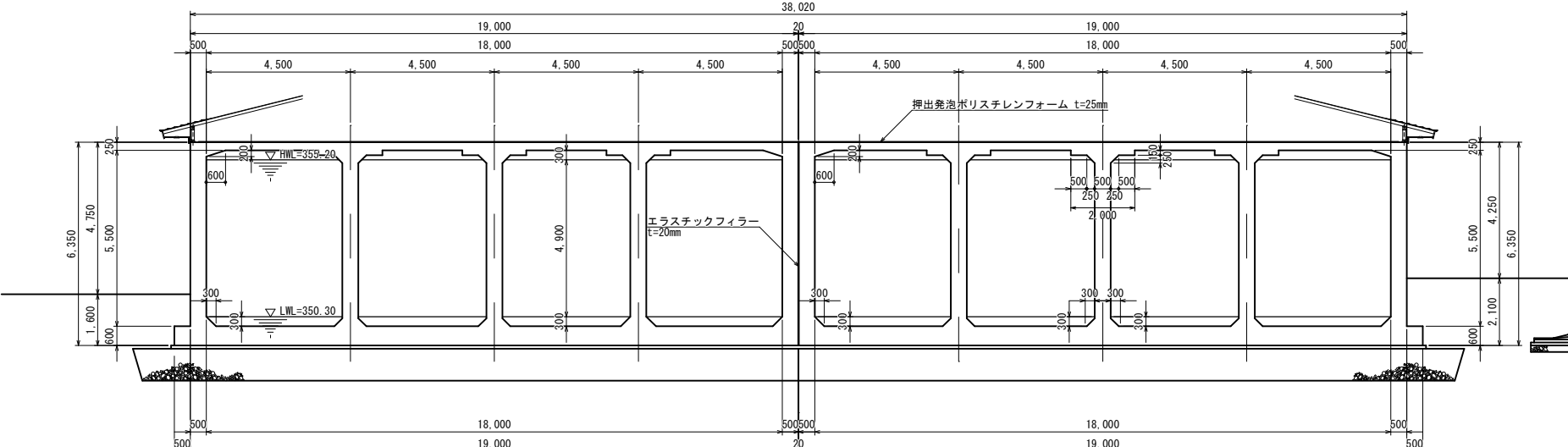
C-C' 断面図



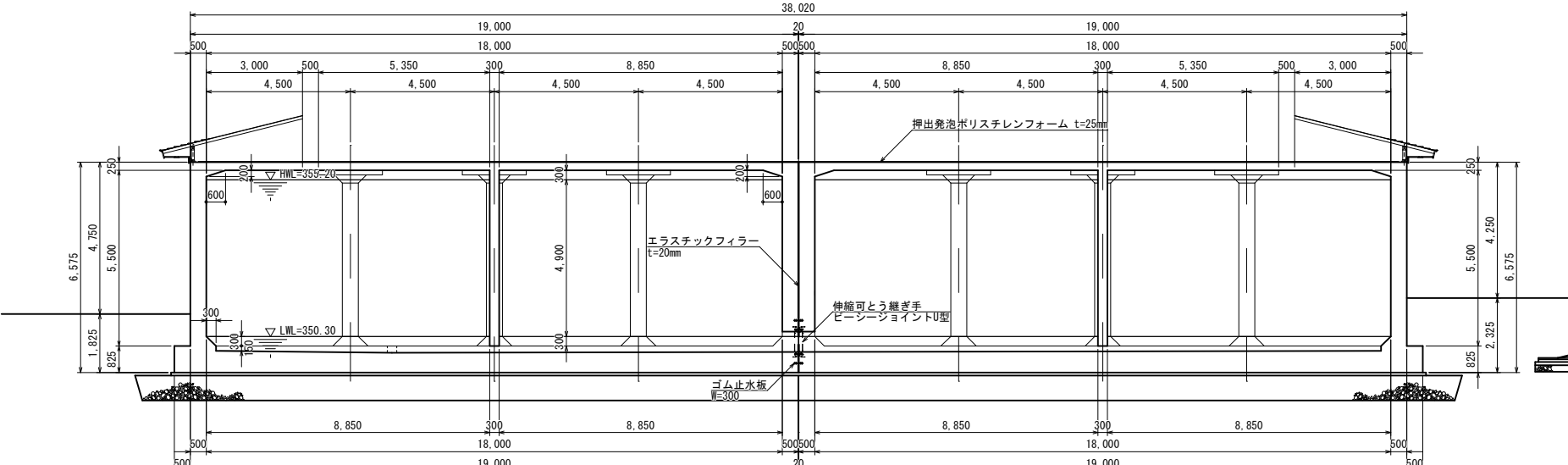
工事名称	国補 川合新田水源1号配水池耐震補強工事				
工事箇所	長野市 大字川合新田				
図面名称	1号配水池 現況構造図(3)				
縮尺	1:100 (A1)		図面番号	5 / 42	
課長		補佐		主幹	係長
照査		設計		水道技術 管理者	
年 月 日	令和		年	月	日
長野市 上下水道局 浄水課					

川合新田水源 1号配水池 現況構造図(4) S=1:100

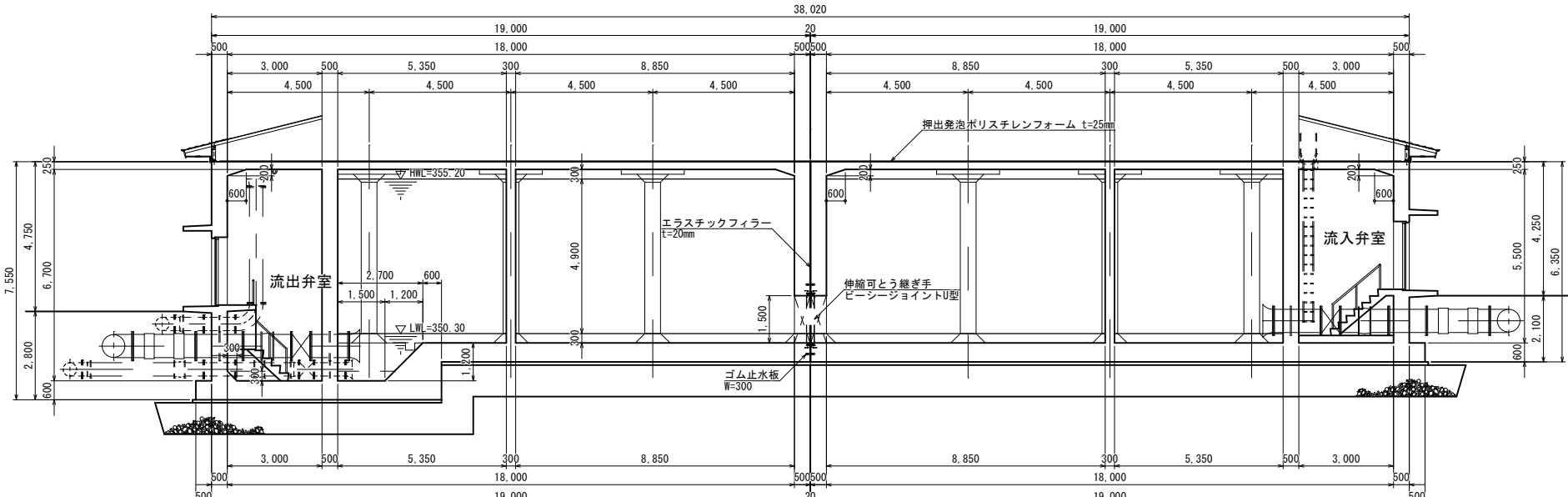
D—D' 断面图



E-E' 断面图



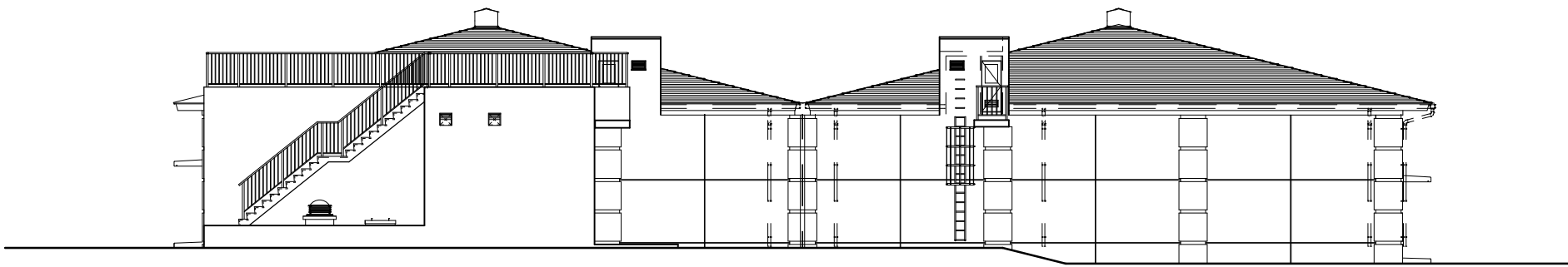
F—F' 断面图



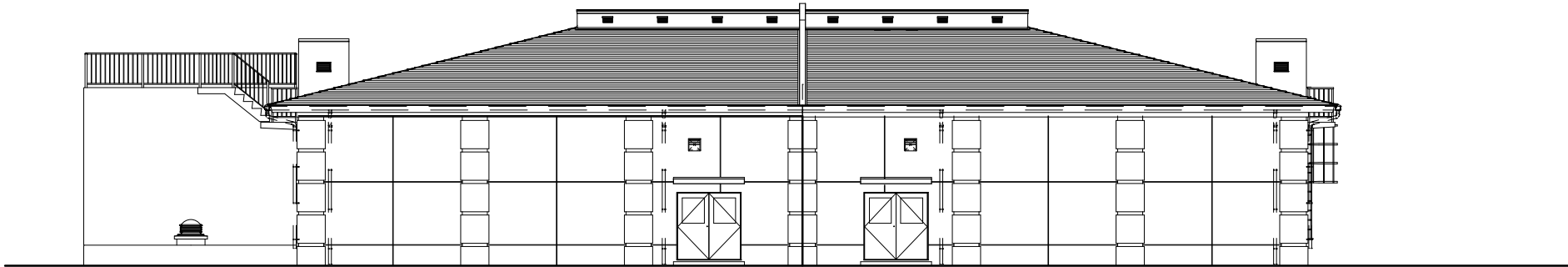
工事名称					国補 川合新田水源1号配水池耐震補強工事				
工事箇所					長野市 大字川合新田				
図面名称					1号配水池 現況構造物図 (4)				
縮尺			1:100 (A1)		図面番号		6 / 42		
課長		補佐		主幹		係長			
調査		設計		水道技術 管理者					
年 月 日		令和		年		月		日	
長野市 上下水道局 浄水課									

川合新田水源 1号配水池 現況構造図(5) S=1:100

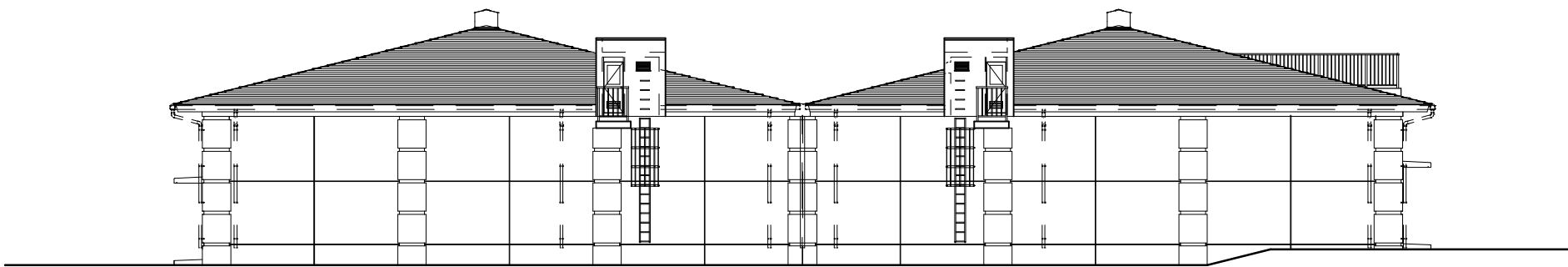
南側立面図



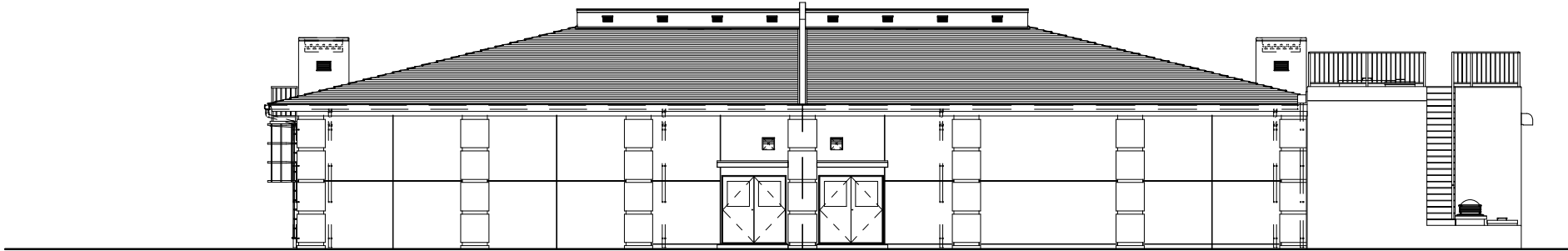
東側立面図



北側立面図

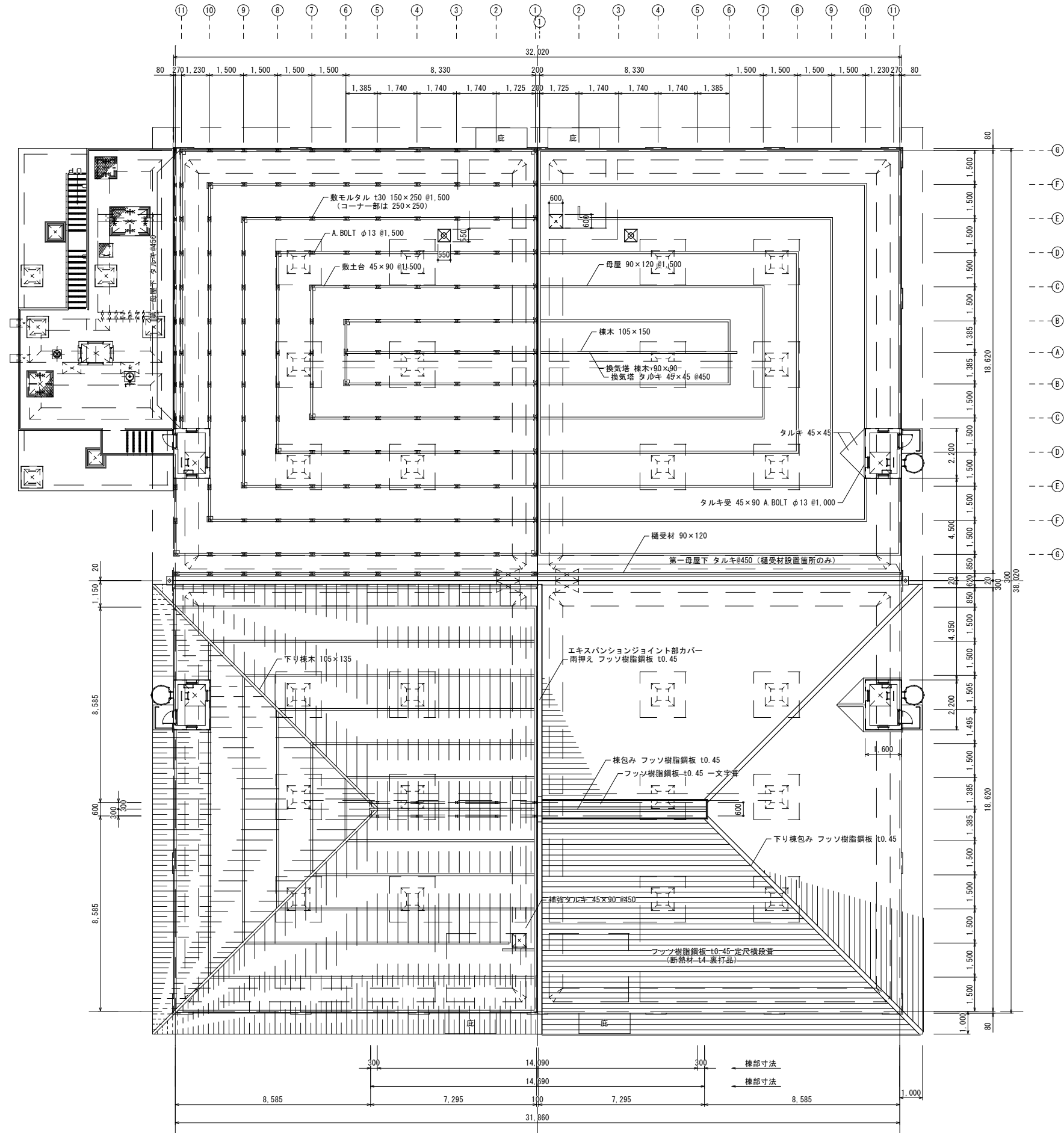


西側立面図



工事名称	国補 川合新田水源 1号配水池耐震補強工事				
工事箇所	長野市 大字川合新田				
図面名称	1号配水池 現況構造図(5)				
縮 尺	1:100(A1)		図面番号	7 / 42	
課 長		補 佐		主 幹	係 長
照 査		設 計		水道技術 管理者	
年 月 日	令和		年	月	日
長野市 上下水道局 浄水課					

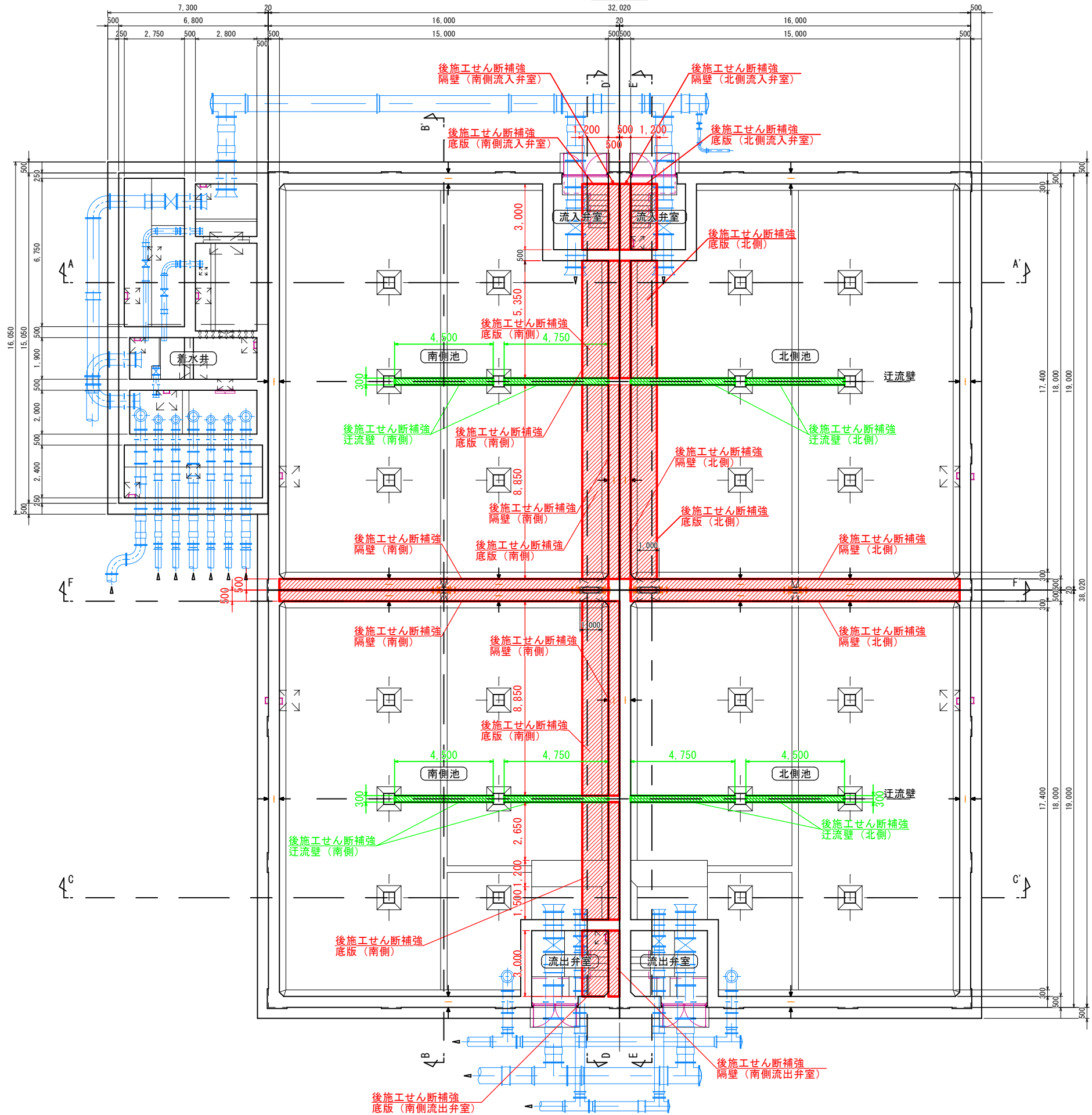
川合新田水源 1号配水池 小屋・屋根伏図 S=1:100



工事名称		国補 川合新田水源 1号配水池耐震補強工事			
工事箇所		長野市 大字川合新田			
図面名称		1号配水池 小屋・屋根伏図			
縮尺		1:100 (A1)		図面番号 8 / 42	
課長		補佐		主幹	係長
照査		設計		水道技術 管理者	
年 月 日		令和 年 月 日			
長野市 上下水道局 浄水課					

川合新田水源 1号配水池 補強計画図(1) S=1:100

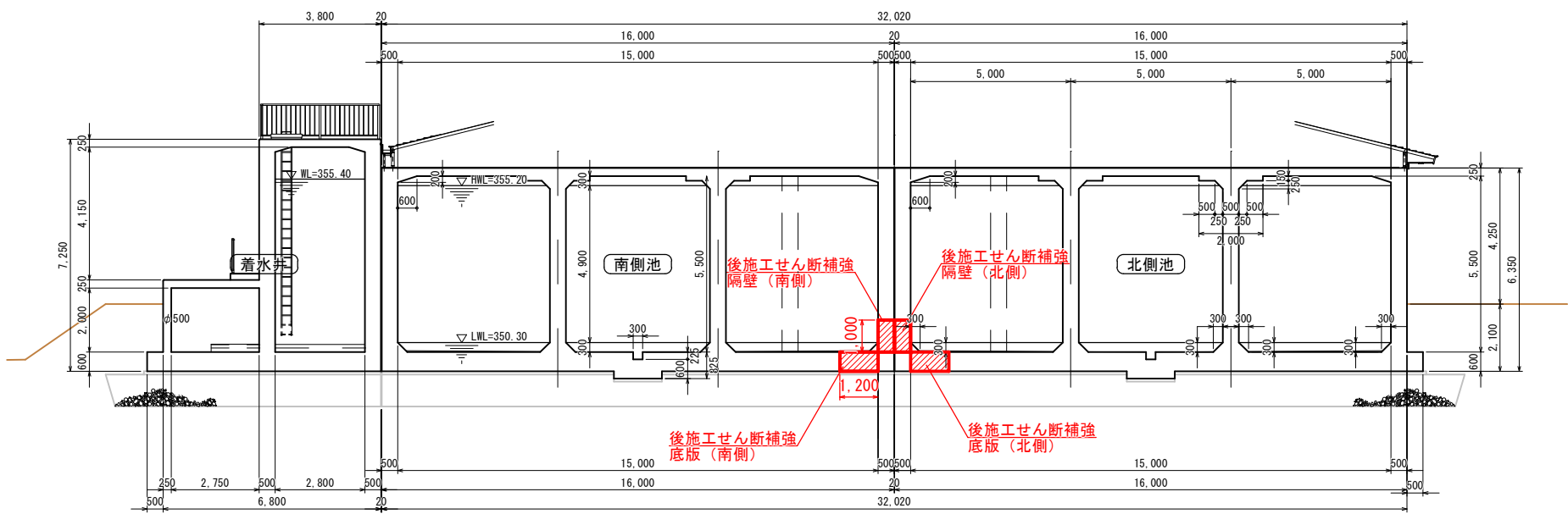
平面図



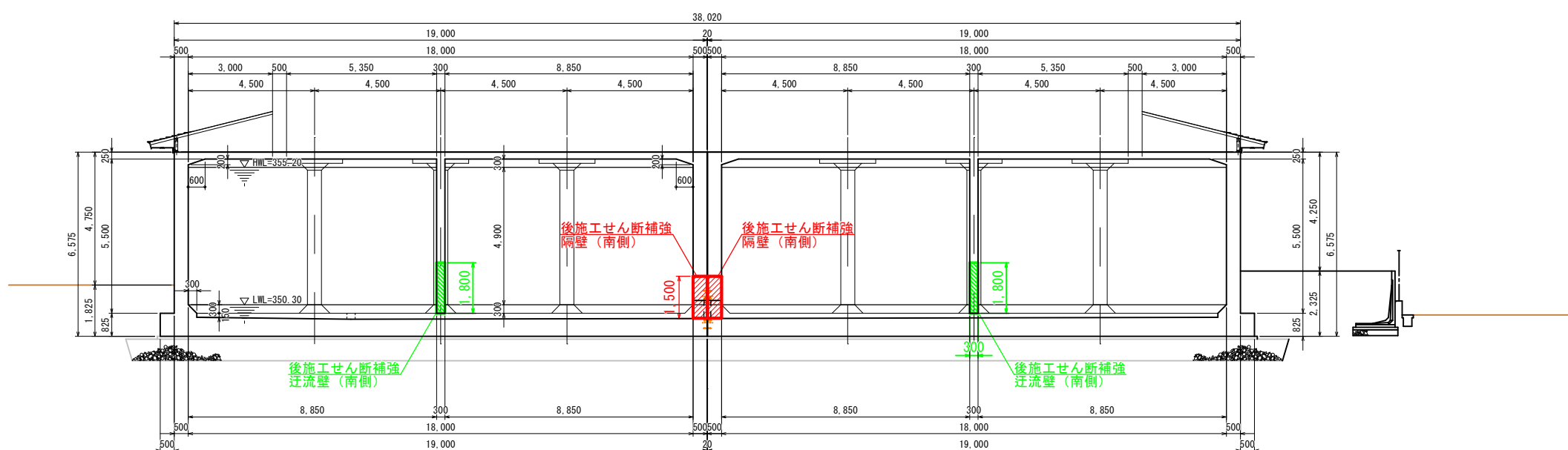
工事名称	国補 川合新田水源 1号配水池耐震補強工事			
工事箇所	長野市 大字川合新田			
図面名称	補強計画図(1)			
縮尺	1:100(A1)	図面番号	9 / 42	
課長	補佐	主幹	係長	
照査	設計	水道技術	管理者	
年月日	令和	年	月	日
長野市 上下水道局 浄水課				

川合新田水源 1号配水池 補強計画図(2) S=1:100

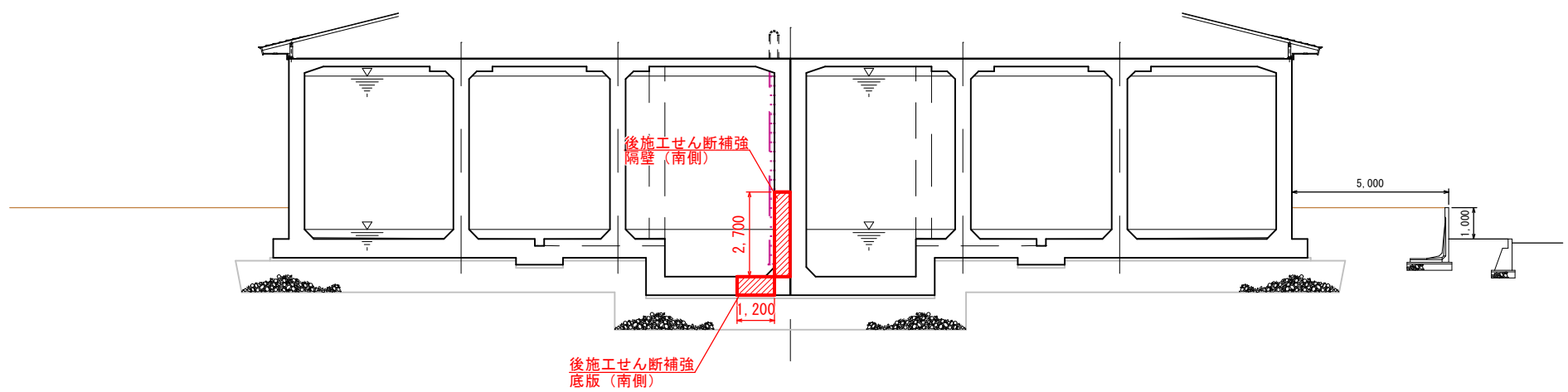
A-A' 断面図



B-B' 断面図

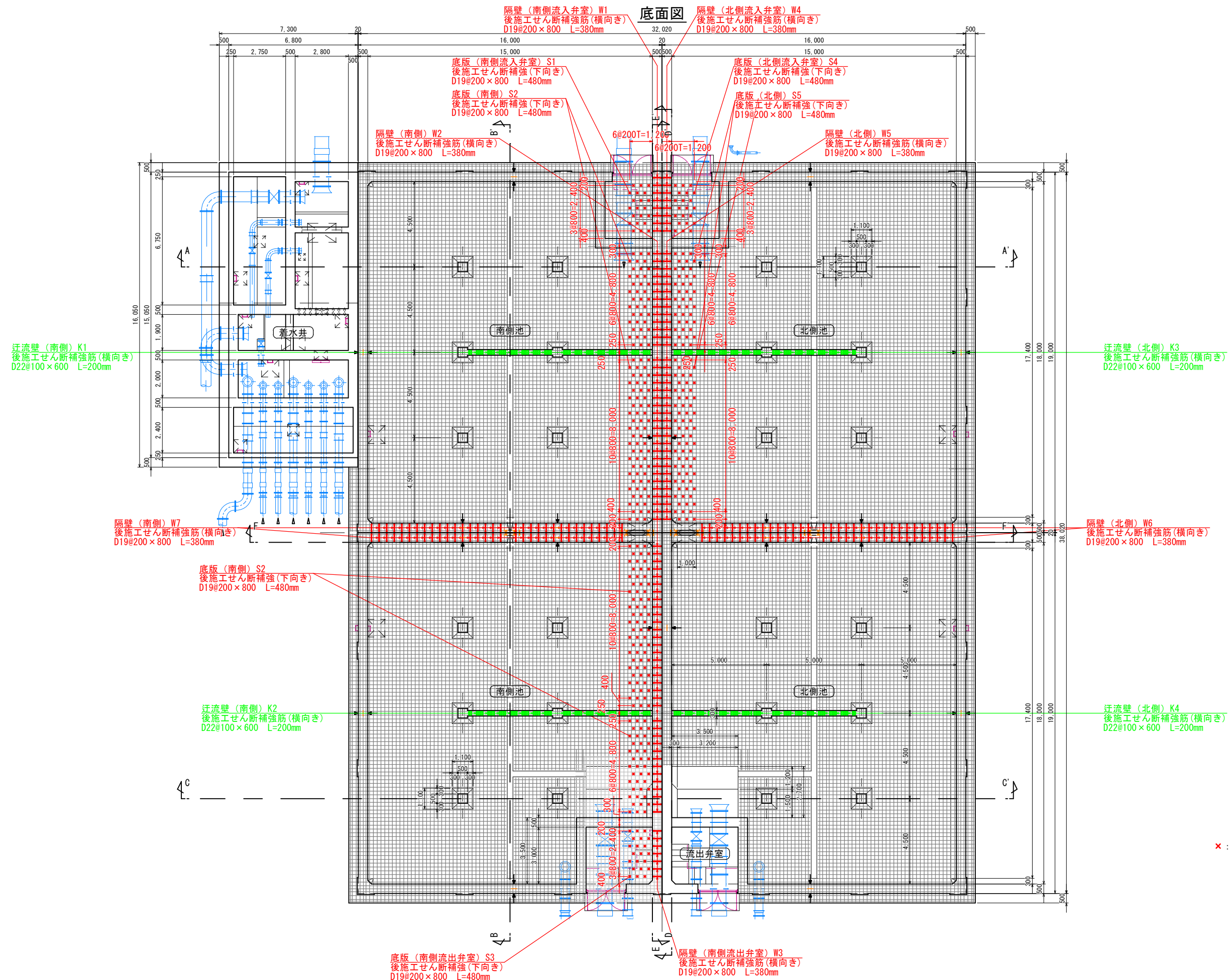


C-C' 断面図



工事名称	国補 川合新田水源 1号配水池耐震補強工事			
工事箇所	長野市 大字川合新田			
図面名称	補強計画図(2)			
縮尺	1:100(A1)	図面番号	10 / 42	
課長	補佐	主幹	係長	
照査	設計	水道技術		管理者
年月日	令和	年	月	日
長野市 上下水道局 浄水課				

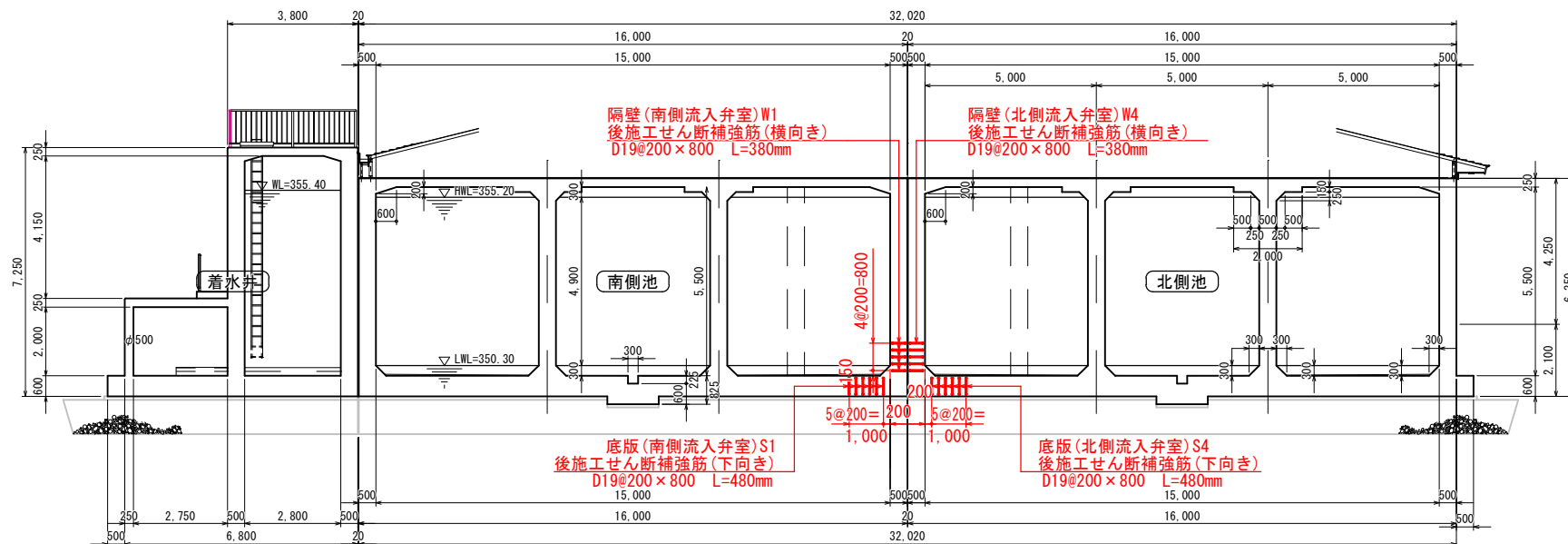
川合新田水源 1号配水池 補強配筋図(1) S=1:100(A1)



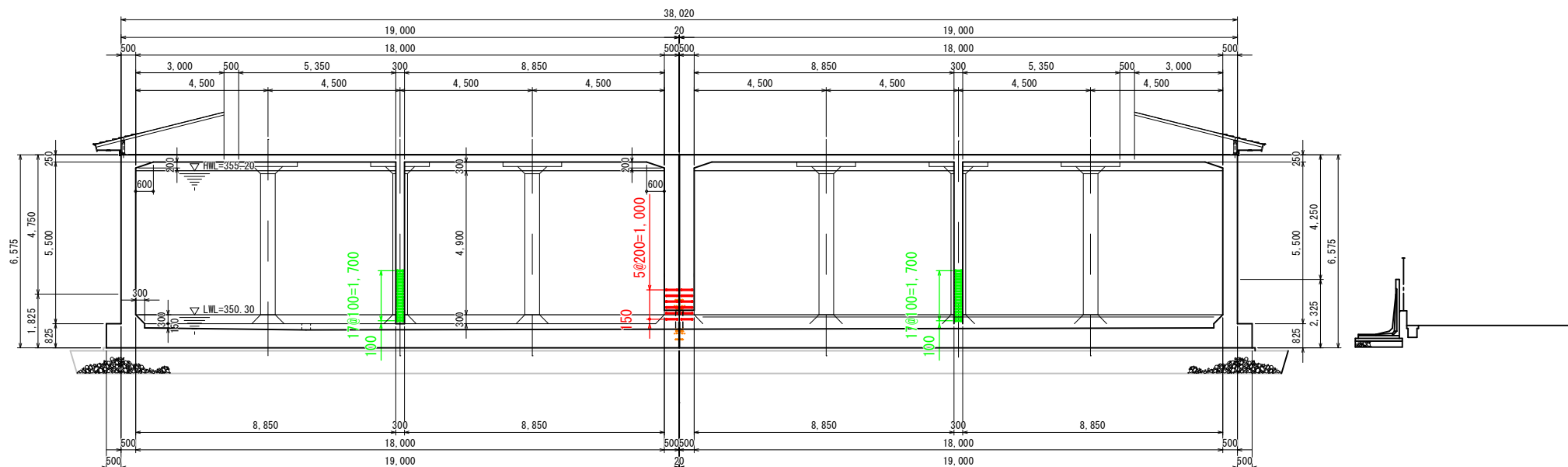
工事名称	国補 川合新田水源 1号配水池耐震補強工事
工事箇所	長野市 大字川合新田
図面名称	補強配筋図(1)
縮尺	1:100(A1)
図面番号	11 / 42
課長	補佐
主幹	係長
照査	設計
水道技術 管理者	
年月日	令和 年 月 日
長野市 上下水道局 浄水課	

川合新田水源 1号配水池 補強配筋図(2) S=1:100(A1)

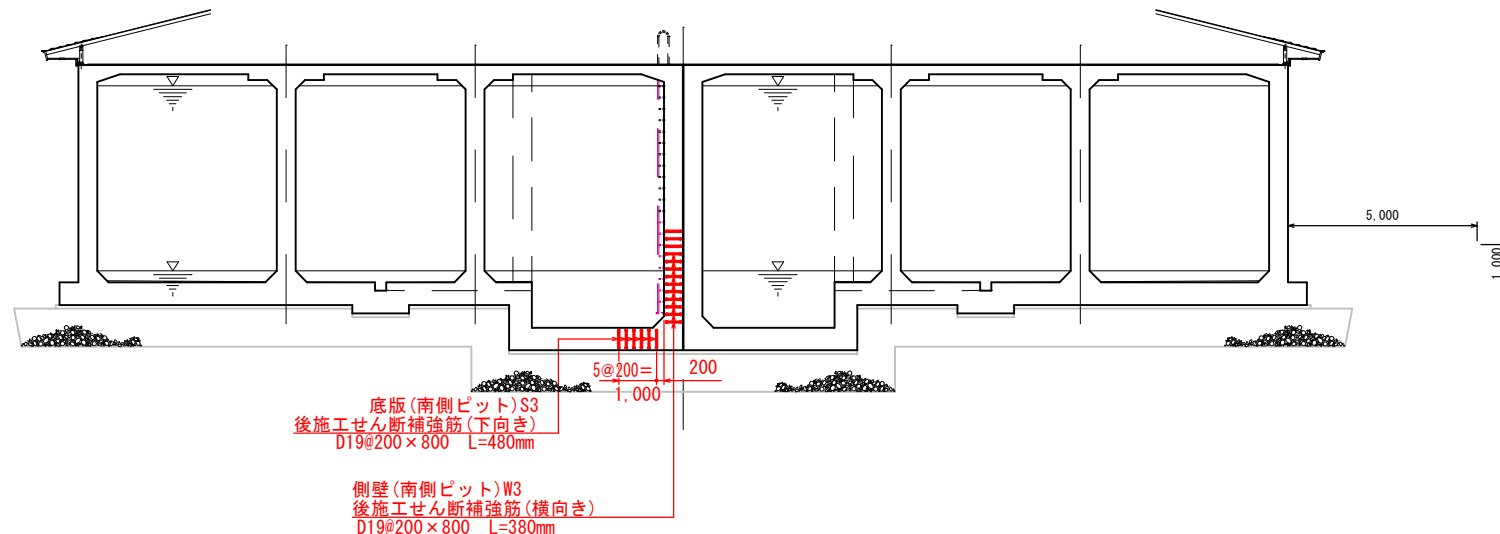
A-A' 断面図



B-B' 断面図



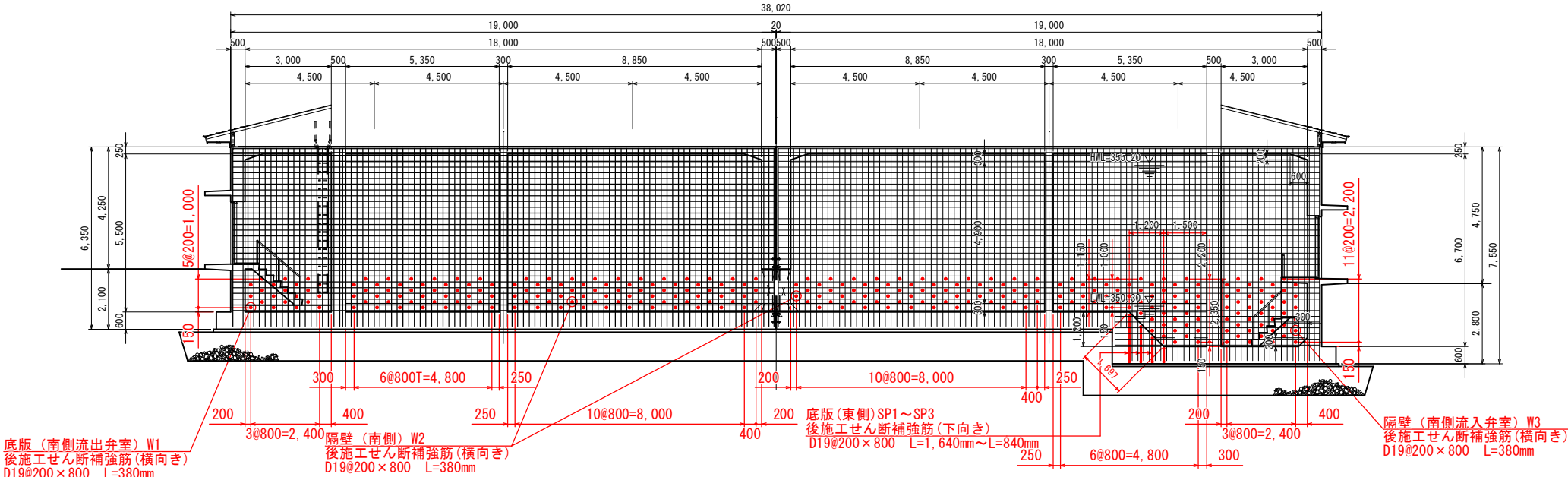
C-C' 断面図



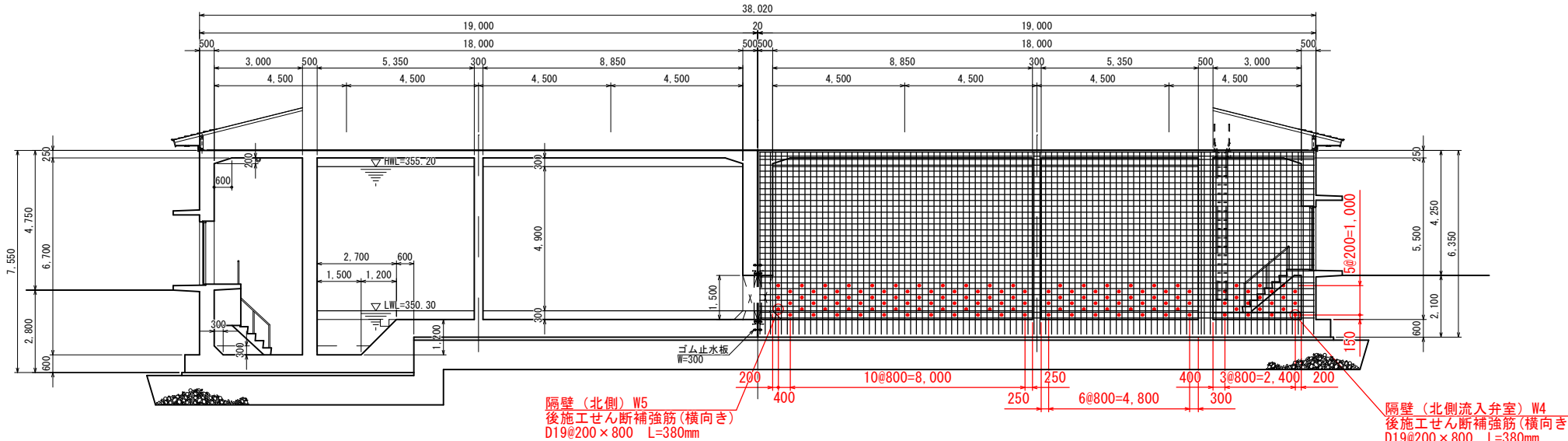
工事名称	国補 川合新田水源1号配水池耐震補強工事				
工事箇所	長野市 大字川合新田				
図面名称	補強配筋図(2)				
縮尺	1:100(A1)		図面番号	12 / 42	
課長		補佐		主幹	係長
照査		設計		水道技術 管理者	
年月日	令和		年	月	日
長野市 上下水道局 浄水課					

川合新田水源 1号配水池 補強配筋図(3) S=1:100 (A1)

D—D' 断面图



F—F' 断面图

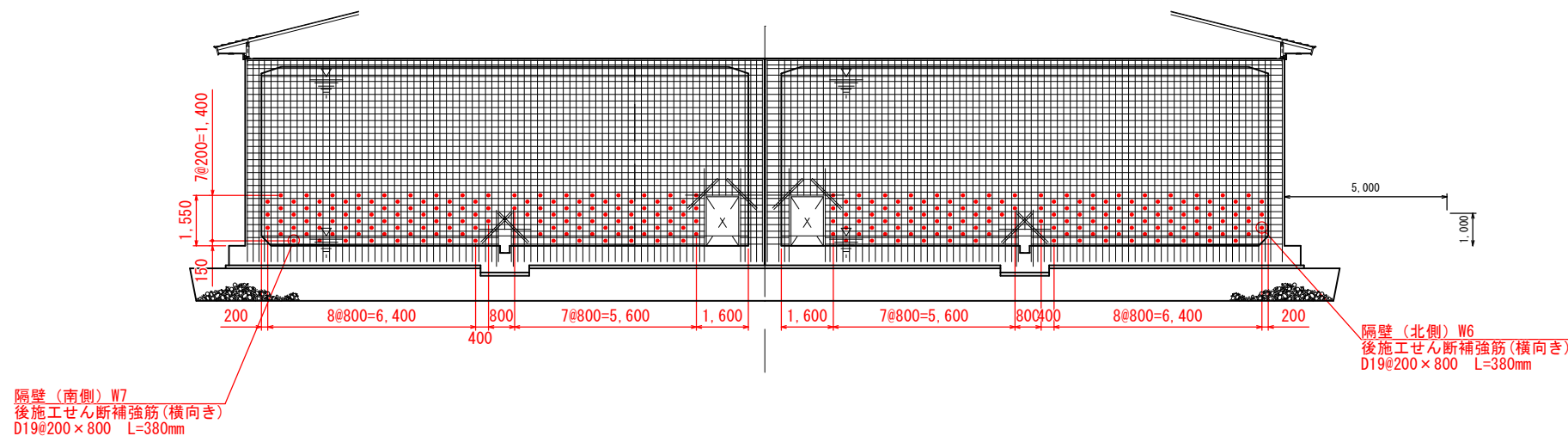


- : 後施工せん断補強筋 D19(横向き)を示す
● : 後施工せん断補強筋 D22(横向き)を示す

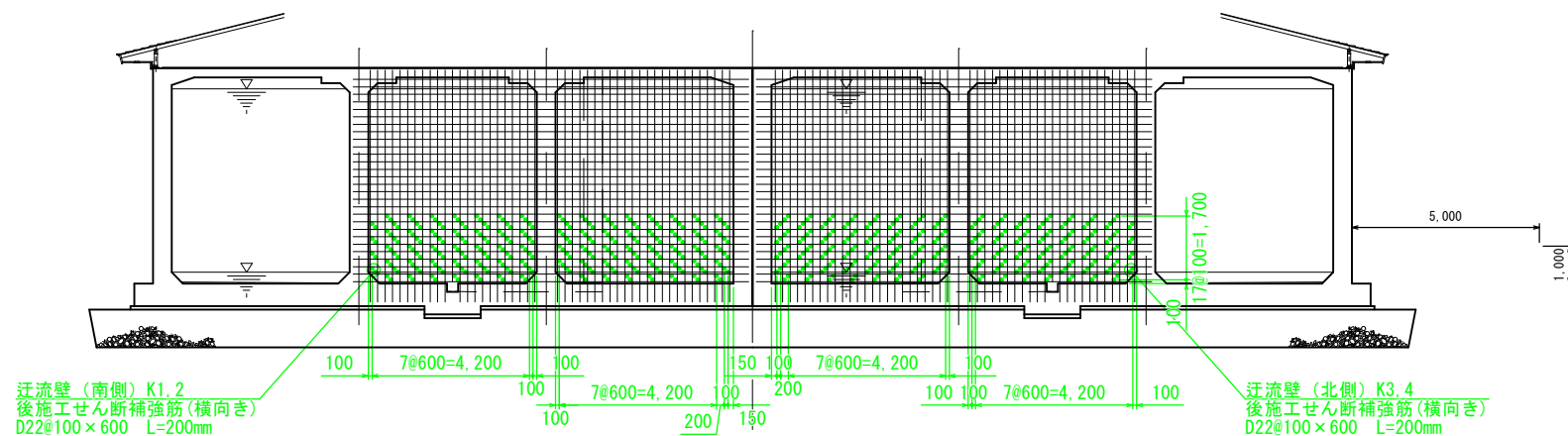
工事名称	国権 川合新田水源 1号配水配管補強工事				
工事箇所	長野市 大字川合新田				
図面名称	補強配筋図 (3)				
縮 尺	1:100 (A1)		図面番号	13 / 42	
課 長	補 佐		主 幹	係 長	
照 査		設 計	水道技術 管理 者		
年 月 日	令 和		年 月 日		
監 視 者 上 下 水 道 課 造 造 課					

川合新田水源 1号配水池 補強配筋図(4) S=1:100 (A1)

F-F' 断面図



迂流壁断面図



- : 後施工せん断補強筋 D19 (横向き) を示す
● : 後施工せん断補強筋 D22 (横向き) を示す

工事名称	国補 川合新田水源 1号配水池耐震補強工事				
工事箇所	長野市 大字川合新田				
図面名称	補強配筋図 (4)				
縮 尺	1:100 (A1)		図面番号	14 / 42	
課長		補 佐		主 幹	係 長
照 査		設 計		水道技術 管理者	
年 月 日		令和 年 月 日			
長野市 上下水道局 浄水課					

川合新田水源 1号配水池 補強配筋図(5) S=NON

せん断補強筋リスト

【南 側 池】

対象部材及び記号	底 版			底 版(ピット)			隔壁						迂流壁										
	S1	S2	S3	SP1	SP2	SP3	W1	W2	W3	W7			K1	K2									
既設 部材厚(mm)	600	600	600	1,800	1,400	1,200	500	500	500	500			300	300									
既設 施工側 純かぶり(mm)	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60			50	50									
既設 背面側 純かぶり(mm)	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60			50	50									
既設 施工側 主筋	D22@200	D22@200	D22@200	D22@200	D22@200	D22@200	D19@200	D19@200	D19@200	D19@200			D19@200	D19@200									
既設 施工側 配力筋	D22@200	D22@200	D22@200	D22@200	D22@200	D22@200	D16@200	D16@200	D16@200	D16@200			D13@200	D13@200									
既設 背面側 主筋	D22@200	D22@200	D22@200	D22@200	D22@200	D22@200	D22@200	D22@200	D22@200	D22@200			D19@200	D19@200									
既設 背面側 配力筋	D22@200	D22@200	D22@200	D22@200	D22@200	D22@200	D16@200	D16@200	D16@200	D16@200			D13@200	D13@200									
補強鉄筋径	D19	D19	D19	D19	D19	D19	D19	D19	D19	D19			D22	D22									
補強鉄筋長さ(mm)	480	480	480	1,640	1,240	840	380	380	380	380			200	200									
削孔長(mm)	545	545	545	1,705	1,305	905	445	445	445	445			255	255									
ピッチ(千鳥)	200×800	200×800	200×800	200×800	200×800	200×800	200×800	200×800	200×800	200×800			100×600	100×600									
施工本数(本)	21	210	21	3	3	3	21	224	42	252			276	276									
施工方向	下向き	下向き	下向き	下向き	下向き	下向き	横向き	横向き	横向き	横向き			横向き	横向き									

【北 側 池】

対象部材及び記号	底 版						隔壁						迂流壁										
	S4	S5					W4	W5	W6				K3	K4									
既設 部材厚(mm)	600	600					500	500	500				300	300									
既設 施工側 純かぶり(mm)	60	60					60	60	60				50	50									
既設 背面側 純かぶり(mm)	60	60					60	60	60				50	50									
既設 施工側 主筋	D22@200	D22@200					D19@200	D19@200	D19@200				D19@200	D19@200									
既設 施工側 配力筋	D22@200	D22@200					D16@200	D16@200	D16@200				D13@200	D13@200									
既設 背面側 主筋	D22@200	D22@200					D22@200	D22@200	D22@200				D19@200	D19@200									
既設 背面側 配力筋	D22@200	D22@200					D16@200	D16@200	D16@200				D13@200	D13@200									
補強鉄筋径	D19	D19					D19	D19	D19				D22	D22									
補強鉄筋長さ(mm)	480	480					380	380	380				200	200									
削孔長(mm)	545	545					445	445	445				255	255									
ピッチ(千鳥)	200×800	200×800					200×800	200×800	200×800				100×600	100×600									
施工本数(本)	21	105					21	105	252				276	276									
施工方向	下向き	下向き					横向き	横向き	横向き				横向き	横向き									

後施工型せん断補強工法 一般仕様(参考)

後施工プレート定着型せん断補強鉄筋詳細図

頭部定着プレート

異形鉄筋(SD345)

先端部定着プレート

1. 適用工法

一般財団法人 土木研究センター 建設技術審査証明書を取得した後施工型せん断補強工法とする。

2. 使用鋼材

後施工プレート定着型せん断補強鉄筋とする。

補強鉄筋は両端円形プレート型とする。

異形棒鋼SD345とする。

3. 充填材(無収縮)の設計基準強度

設計基準強度(f'_{ck} =21N/mm²)以上とする。

4. 注意事項

1) 穿孔前に既設鉄筋位置を鉄筋探査機等により確認し、既設鉄筋の損傷を極力避けるものとする。

2) 施工に際して補強鉄筋の径・深さ・位置の確認を行い、補強鉄筋設置前に穿孔内の切り粉等を除去する。

3) 削孔時に既設鉄筋にあたった場合は、耐力上支障のない部分に削孔位置を変更する。

4) 3) 項で使用しない孔は、セメントモルタル等で充填を行い修復する。

標準断面図

機械式継手が不要な場合

（施工側）

主鉄筋

配力鉄筋

補強鉄筋

充填材

削孔長さ

補強鉄筋長さ

5mm

既設部材厚

既設鉄筋純かぶり

（背面側）

機械式継手が必要な場合

（施工側）

主鉄筋

配力鉄筋

継手

補強鉄筋

充填材

削孔長さ

補強鉄筋長さ

5mm

既設部材厚

既設鉄筋純かぶり

（背面側）

工事名称		国補 川合新田水源 1号配水池耐震補強工事					
工事箇所		長野市 大字川合新田					
図面名称		補強配筋図(5)					
縮 尺		NON		図面番号		15 / 42	
課 長		補 佐		主 幹		係 長	
照 査		設 計		水道技術 管理者			
年 月 日		令和		年		月 日	
長野市 上下水道局 浄水課							

構 造 細 目 共 通 図（土木構造物）

< 令和4年版 >

1 特記事項

1. 1 適用範囲

(1) 本構造細目共通図は、上水道施設における土木構造物に適用する。

(2) 図面及び構造細目共通図に記載されていない事項は、下記に基づくものとし、これらに相違がある場合は監督職員に確認し指示を受ける。

1) 土木工事特記仕様書

全国上下水道コンサルタント協会

(別紙による。)

2) 土木工事共通仕様書

国土交通省関東地方整備局

(令和7年版)

3) コンクリート標準示方書・施工編

土木学会

(2023年版)

4) コンクリート標準示方書・設計編

土木学会

(2022年版)

(3) 項目は、○印のついたものを適用する。○印のない場合は、※ 印のあるものを適用する。○印と※印のある場合は、共に適用する。

1. 2 鉄筋の仕様及び継手

鉄筋の種類及び継手は1. 1表による。

1. 1表 鉄筋の種類及び継手

	種 別	径
鉄筋の種類	※ SD345 ・ SD390 ・ SD490	※ D13以上 ・
鉄筋の継手	重ね継手	下記以外
	ガス圧接	※ D19以上の柱、梁主鉄筋 ・ D16以上の増設端の床・壁鉄筋 ・
	機械式継手	・ 図面による

1. 3 コンクリートの仕様

コンクリートは1. 2表による。

1. 2表 コンクリートの仕様

分 類	コンクリート種別	設計基準強度 (N/mm ²)	スランプ (cm)	セメントの種類
鉄筋コンクリート	※ 普通コンクリート ・	※ 24 ・ ・	※ 12 ・	※ 高炉セメントB ・ 普通ポルトランドセメント ・ 低熱ポルトランドセメント ・
無筋コンクリート	※ 普通コンクリート ・	※ 18 ・	※ 12 ・	※ 高炉セメントB ・ 普通ポルトランドセメント ・

注1：無筋コンクリートには均しコンクリートを含む。

1. 4 砕石基礎工及び均しコンクリート工

砕石基礎工及び均しコンクリートは1. 3表による。

1. 3表 砕石基礎工及び均しコンクリート工の仕様

種 別	厚 さ (mm)
砂利または砕石	※ 200 ・
均しコンクリート	※ 100

2 共通事項

2. 1 用語の定義

本構造細目共通図中で使用する用語の定義は、2. 1表のとおりとする。

2. 1表 用語の定義

用 語	説 明
主 鉄 筋	各種限界状態を満足させるために計算し、配置される鉄筋
配 力 鉄 筋	応力を分散させる目的で、通常、主鉄筋に対して直角（スラブ、壁部材の場合）に配置される鉄筋
せん断補強鉄筋	せん断力に抵抗するように配置される主鉄筋を拘束する鉄筋
幅 止 め 鉄筋	はりの水平用心鉄筋、スラブ、壁の主鉄筋 あるいは配力鉄筋の厚み方向の間隔を確保するための鉄筋

2. 2 一般注意事項

設計図は、監督職員の承諾を得なければ変更してはならない。変更の必要を生じた場合は、監督職員と協議すること。

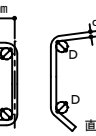
3 鉄筋の折曲げ加工

鉄筋の折曲げ加工は、3. 1表及び3. 2表を標準とする。

(1) Dは、折曲げ内法直径を示す。

(2) dは、鉄筋直径（呼び名）を示す。

3. 1表 鉄筋曲げ加工（1）

位 置	曲げ 角度	折曲げ図及び 折曲げ後の余長	曲げ内法 直径	使 用 箇 所
末端部	180°		5d以上	定着末端部
	135°		5d以上	スターラップ、 帯鉄筋、 フープ筋 等
	90°		5d以上	
	90° 135°		5d以上	梁 壁 床版 底板
	90°			
	90°			
中間部	90°		5d以上	あばら筋、帯筋 スパイラル筋
	θ<90°		10d以上	折曲げ鉄筋

3. 2表 鉄筋曲げ加工（2）

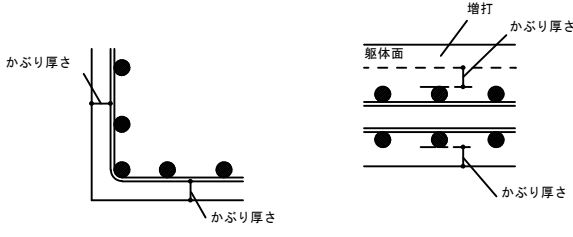
位 置	曲げ 角度	折曲げ図	曲げ内法 直径	使 用 箇 所
最上階	90°		20d以上	ラーメン隅角部
一般階	90°		5d以上	

4 鉄筋のかぶり及び間隔

4. 1 かぶり厚さ

かぶり厚さとは、一番外側の鉄筋（幅止め筋を除く）の外面から躯体面までの距離（4. 1図）をいう。

鉄筋組立後のかぶり厚さは、最小かぶり厚さ以上を確保し、最小かぶり厚に許容施工誤差10mmを加えた厚さ以内に納めるものとする。



4. 1図 鉄筋のかぶり厚さ

4. 2 最小かぶり厚さ

最小かぶり厚さは、4. 1表による。

床版、梁、基礎及び擁壁で、直接土に接する部分のかぶり厚さには、均しコンクリートの厚さを含まない。

4. 1表 鉄筋の最小かぶり厚さ（mm）

※ 通常の施工の場合

環 境	部 位	床版・スラブ・梁	柱・壁	底板・フーチング
大気中		50	50	—
水中・土中等		50	70	70

・ 塩害対策地域の施工の場合

対策区分	環境	部 位	床版・スラブ・梁	柱・壁	底板・フーチング
Ⅰ	大気中		70	70	—
	水中・土中等				70
Ⅱ,Ⅲ,Ⅳ	大気中		50	70	—
	水中・土中等				70

1：部位により最小かぶり厚さの判断が困難な場合は、監督職員の指示を得る。
2：杭基礎の底板・フーチング下端部のかぶり厚さは、7. 杭基礎の補強を参照する。

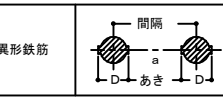
(注) 梁：大梁、小梁、基礎梁、片持梁をいう。

4. 3 鉄筋相互のあき

鉄筋相互のあき（a）は、下記（1）、（2）、（3）の最大値以上とする。

なお、柱部材を設ける場合は、構造細目共通図（複合構造物）（2）を参照すること。

(1) 粗骨材の最大寸法の 4/3 倍
(2) 最小のあき20mm
(3) 異形鉄筋の直径（呼び名）



(注) D：鉄筋の最外径 d：鉄筋直径（呼び名）

4. 2図 鉄筋のあき

5 鉄筋の継手及び定着

5. 1 鉄筋の継手及び定着

5. 1. 1 継手長さ及び定着長の基本

(1) 鉄筋の重ね継手長さは5. 1表、定着の長さは、5. 2表による。

① 本表の適用は、鉄筋種類SD345、鉄筋径D13～D32とする。

② 定着長は折曲げ加工後の直線部分で確保する。

③ 壁、床版、底板の主鉄筋の中心間隔が100mm未満の場合は、別途図示による。

5. 1表 鉄筋の重ね継手長さ

鉄筋の種類	鉄 筋 径	設計基準 強 度	S ₁ ：重ね継手長			
			鉄筋中心間隔200mm以上 フックなし	鉄筋中心間隔200mm以上 フックあり	鉄筋中心間隔200mm未満 フックなし	鉄筋中心間隔200mm未満 フックあり
SD345	D16以下	24以上 27未満 (N/mm ²)	40・d	30・d	50・d	40・d
	D19 ～D22		45・d	35・d	60・d	50・d
	D25以上		50・d	40・d	65・d	55・d

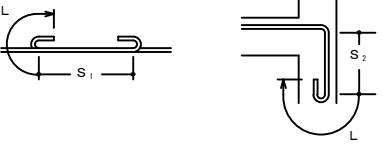
5. 2表 鉄筋の定着の長さ

鉄筋の種類	鉄 筋 径	設計基準 強 度	S ₂ ：定着長	
			フックなし	フックあり
SD345	D16以下	24以上 27未満 (N/mm ²)	40・d	30・d
	D19 ～D22		50・d	40・d
	D25以上		60・d	50・d

(2) 径が異なる鉄筋の継手長さは、細い鉄筋の径による。

(3) 継手は相互にずらすことを原則とする。

(4) フックのある場合の継手長さ及び定着長には、5. 1図に示すようにフック部分Lを含まない。



5. 1図 フックのある場合の定着及び継手要領

5. 1. 2 継手の特記事項

(1) 継手は極力応力の小さい位置に設ける。

(2) 異なる径の鉄筋をガス圧接する場合、鉄筋径の差が5mmを超える圧接をしてはならない。

5. 2 隣り合う継手の位置

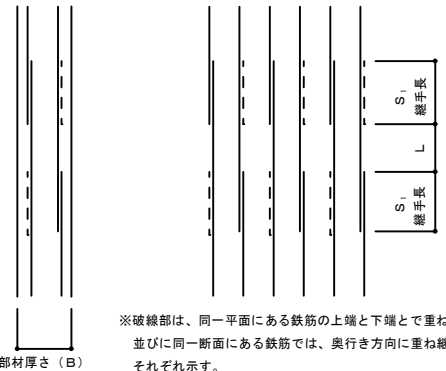
5. 2. 1 鉄筋の重ね継手

(1) 同一断面での継手は軸方向に相互にずらす。

(2) ずらす距離（L）は、太い方の鉄筋径の25倍以上とする。

(3) 前記（1）を確保できない場合は、監督職員の承諾を得て、ガス圧接継手又は機械式継手工法を採用することができる。

(4) 継手部の鉄筋のあきは、粗骨材の最大寸法以上とする。



部材厚さ（B）

※破線部は、同一平面にある鉄筋の上端と下端とで重ね継手位置を交互にすること、並びに同一断面にある鉄筋では、奥行き方向に重ね継手位置を交互にすることをそれぞれ示す。

5. 2図 重ね継手工法

工事名称

国補 川合新田水源1号配水池貯留補強工事

工事箇所

長野市 大字川合新田

図面名称

構造細目共通図（土木構造物）（1）

縮 尺

NON

図面番号

16 / 42

課 長

補 佐

主 幹

係 長

照 査

設 計

水道技術
管理者

年 月 日

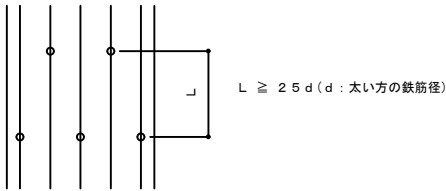
令和 年 月 日

長野市 上下水道局 浄水課

AWSJC（第5版）-098-005

5. 2. 2 鉄筋のガス圧接および機械式継手

- 鉄筋のガス圧接継手及び機械式継手は土木学会「鉄筋定着・継手指針[2020年版]」(土木学会)による。機械式継手は、ねじふし鉄筋継手工法とする。また、ねじふし鉄筋継手工法以外の機械式継手を採用する場合は、監督職員の承諾を得ること。
- (1) 同一断面での継手は軸方向に相互にずらす。
- (2) ガス圧接の場合のずらす距離(L)は、太い方の鉄筋径の2.5倍以上とする。
- (3) 機械式継手のずらす距離(L)は、太い方の鉄筋径の2.5倍以上とする。
- (4) 機械式継手をイモネギ部に使用する場合は、継手性能はS A級かつ継手信頼度をI種とする。



5. 3 図 ガス圧接継手工法及び機械式継手工法

6 配筋要領

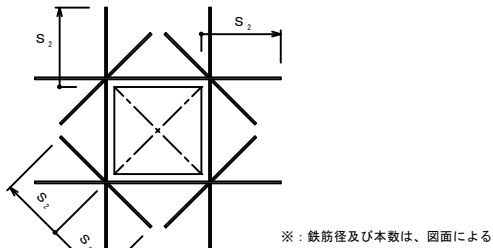
6. 1 壁

6. 1. 1 一般事項

- (1) 壁の鉄筋の継手及び定着は、5. 1 項及び5. 2 項に基づくものとする。
- (2) 幅止め鉄筋の鉄筋径及び間隔は、図面による。

6. 1. 2 壁開口部の補強

- (1) 壁開口部の補強は、図面による。補強鉄筋の長さ及び位置は、6. 1 図を標準とする。

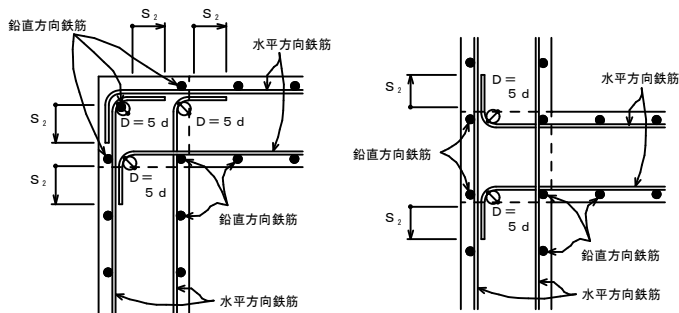


6. 1 図 壁開口部の補強要領

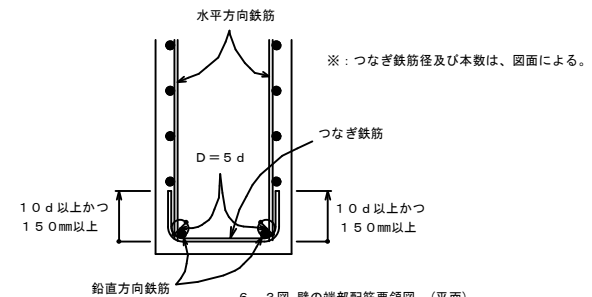
- (2) 開口寸法が配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋出来る場合は、補強鉄筋を省略することができる。

6. 1. 3 壁と壁の交差部及び端部

- (1) 壁と壁の交差部の鉄筋加工要領は、6. 2 図による。
- (2) 壁の端部の鉄筋加工要領は、6. 3 図による。



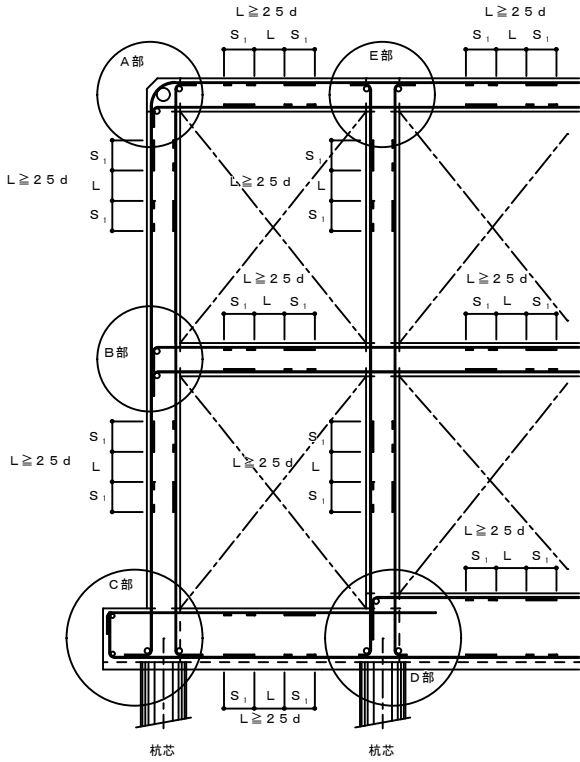
6. 2 図 壁と壁の交差部配筋要領図 (平面)



6. 3 図 壁の端部配筋要領図 (平面)

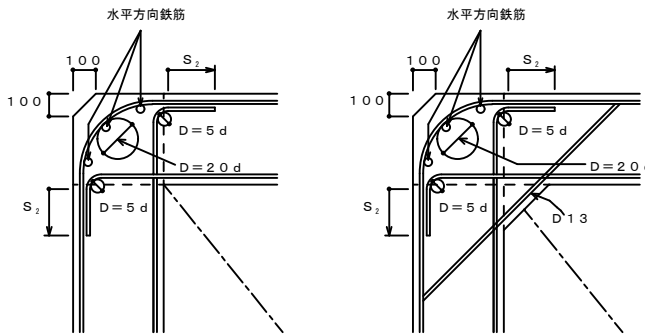
6. 1. 4 壁と床版・底版の交差部

- (1) 壁と床版の交差部は、6. 4 図及び6. 5 図による。



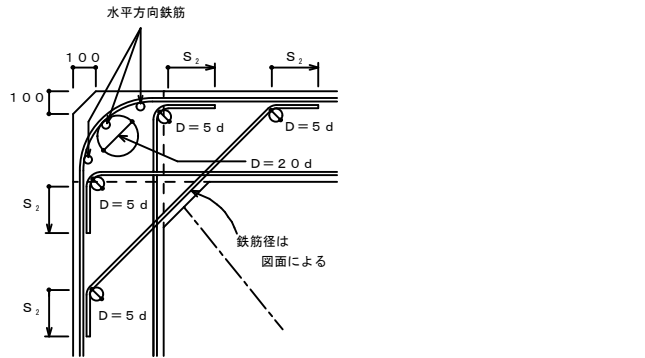
注1：重ね継手は、応力の小さい位置とする。

6. 4 図 壁と床版・底版の交差部配筋要領図 (断面)



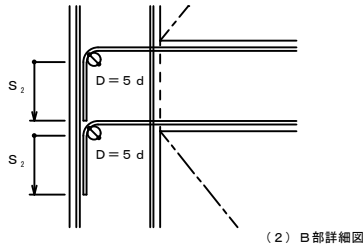
A 1. ハンチなし

A 2. ハンチあり、定着なし

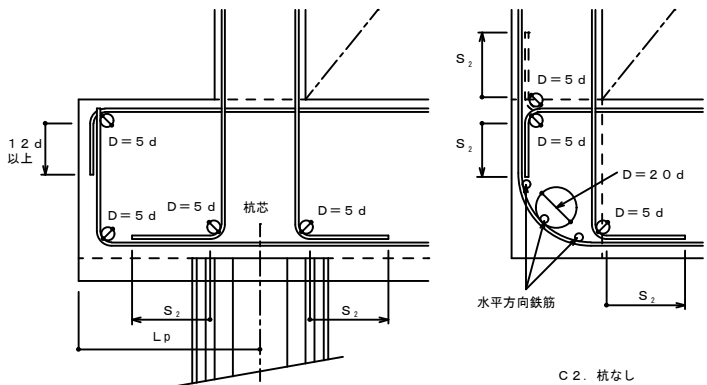


A 3. ハンチあり、定着あり

(1) A 部詳細図



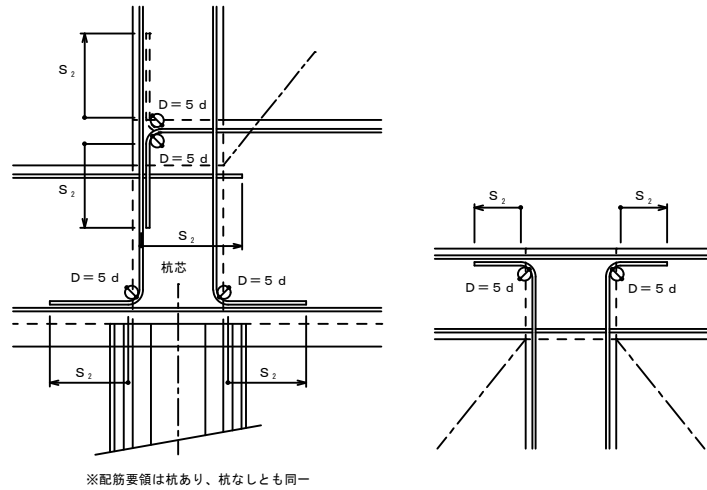
(2) B 部詳細図



C 1. 杭あり

C 2. 杭なし

(3) C 部詳細図



※配筋要領は杭あり、杭なしとも同一

(4) D 部詳細図

(5) E 部詳細図

凡例

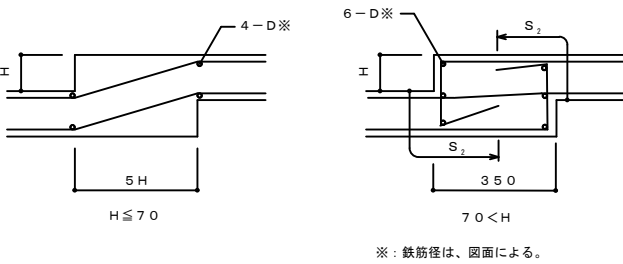
- ・D：鉄筋の曲げ内法直径
 - ・d：鉄筋直径(呼び名)
 - ・S₁、S₂：5. 1 表のとおりであり、折曲げ加工後の直線長で確保する長さ
- 注1：A 部以外においてハンチを設ける場合は、ハンチ筋についてA 部に準じた配筋とする。
- 注2：ハンチを設ける場合の配筋は、図面に指示がない場合はA 2 を、図面に指示がある場合はA 3 を適用する。
- 注3：C 部の杭なしの場合、及びD 部において、底版上端筋の曲げ定着は下方に取ることを原則とするが、部材厚等の関係で直線状にS₂ 定着長が確保できない場合は、上方に取ることによりものとする。
- 注4：L_p は、場所打杭・打ち込み杭・埋め込み杭は1. 0 D (D は杭径) 以上とする。

6. 5 図 壁と床版・底版の交差部配筋詳細図 (断面)

6. 2 床

6. 2. 1 段差床版の補強

- (1) 同一床版に段差がある場合、6. 6 図の補強を行う。

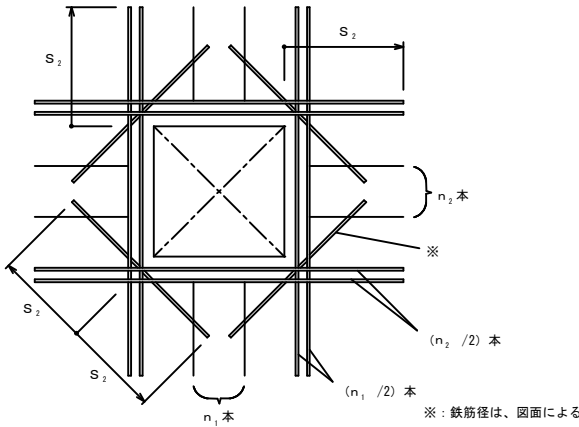


※：鉄筋径は、図面による。

6. 6 図 同一床版に段差がある場合の補強要領図 (断面)

6. 2. 2 床版開口部の補強

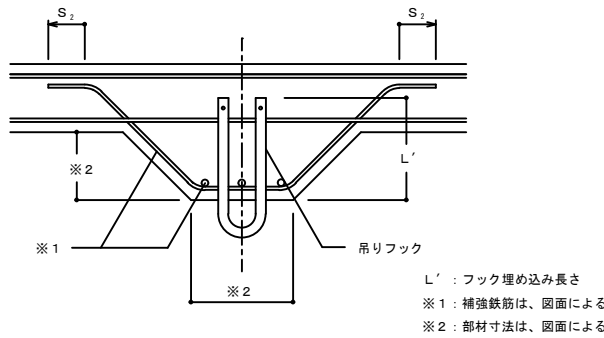
- (1) 床版開口部の補強は開口によって切られる鉄筋と同量の鉄筋で周囲を補強し、隅角部には斜め方向に主鉄筋径以上の鉄筋を上下筋の内側に配筋する。(6. 7 図)



6. 7 図 床版開口部の補強要領図 (平面)

- (2) 開口寸法が配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより開口部を避けて配筋できる場合は、補強鉄筋を省略することができる。

6. 2. 3 吊りフックが取り付け場合の補強



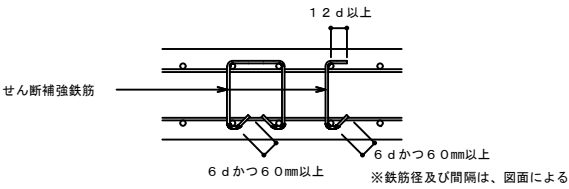
6. 8 図 吊りフック取り付け部補強要領図 (断面)

工事名称		国補 川合新田水渠1号配水池耐震補強工事					
工事箇所		長野市 大字川合新田					
図面名称		構造細目共通図(土木構造物) (2)					
縮 尺		NON		図面番号		17 / 42	
課 長		補 佐		主 幹		係 長	
照 査		設 計		水道技術 管理者			
年 月 日		令和		年		月 日	
長野市 上下水道局 浄水課							

6. 3 せん断補強鉄筋

6. 3. 1 底版・床版

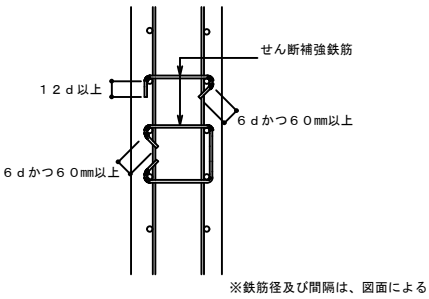
(1) 底版・床版のせん断補強要領は、6. 9図及び6. 11図による。



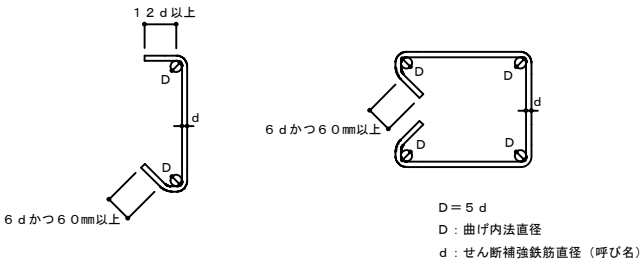
6. 9図 底版・床版せん断補強要領図（断面）

6. 3. 2 壁

(1) 壁のせん断補強要領は、6. 10図及び6. 11図による。



6. 10図 壁せん断補強要領図（断面）



6. 11図 せん断補強鉄筋加工要領図（断面）

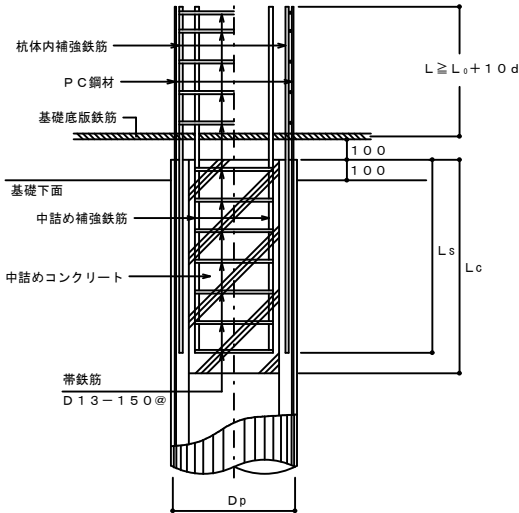
6. 4 柱及び梁

柱及び梁を設ける場合の配筋要領は、図面による。

7 杭基礎の補強

7. 1 一般事項

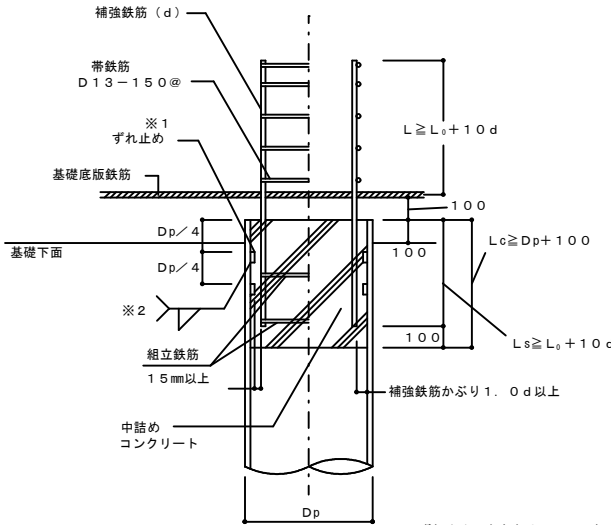
- (1) 補強鉄筋にSD390またはSD490を用いる場合、中詰めコンクリート及び補強鉄筋が定着する基礎底版コンクリートの設計規準強度を30N/mm²以上とする。
- (2) 鉄筋種別、径・本数は、図面による。
- (3) 杭基礎の補強鉄筋の定着長L_oは、SD345及びSD390では35d以上、SD490では41d以上とする。
- (4) 杭頭補強鉄筋が底版厚より長くなる場合は、7. 6図による。
- (5) 杭体内補強鉄筋は必要に応じ配置する。



7. 1図 PHC杭の杭頭補強

杭頭処理形態	Type B	
	鉄筋	L _s ≥ 50φ + L _o + 10d
カットオフする場合	コンクリート	L _c ≥ 2.5D _p + 100、かつ50φ + L _o + 10d + (かぶり100)
カットオフしない場合	鉄筋	L _s ≥ L _o + 10d
	コンクリート	L _c ≥ 2.5D _p + 100、かつL _o + 10d + (かぶり100)

注1. φは、PC鋼材径とする。

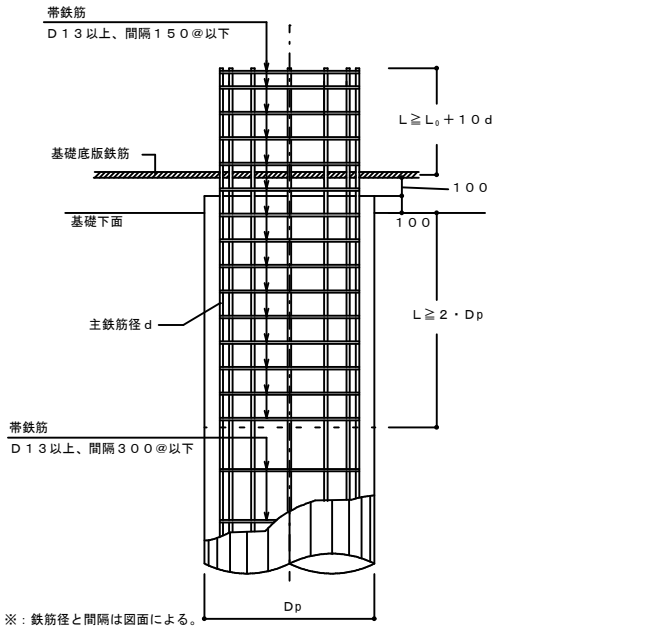


7. 2図 鋼管杭の杭頭補強

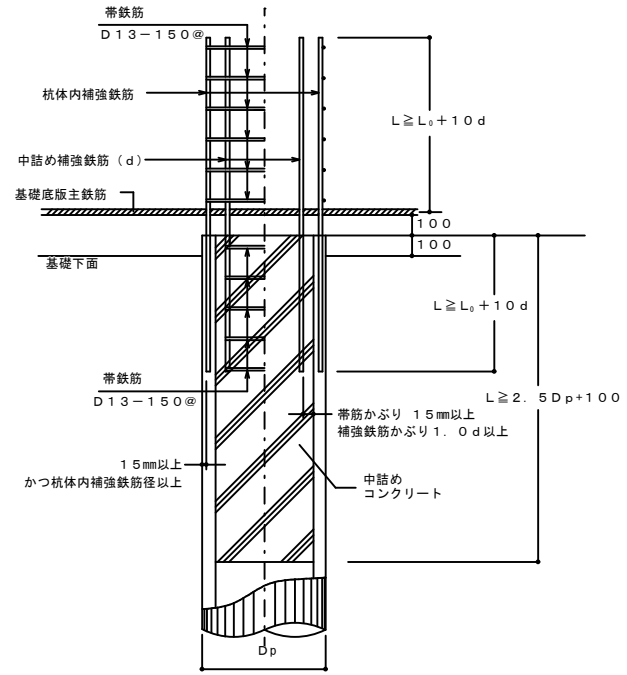
7. 1表 杭体内外ずれ止めプレートの肉厚

杭 径 (D _p)	ずれ止め厚さ
D _p < 800	9
800 ≤ D _p < 1200	12
1200 ≤ D _p < 1500	16

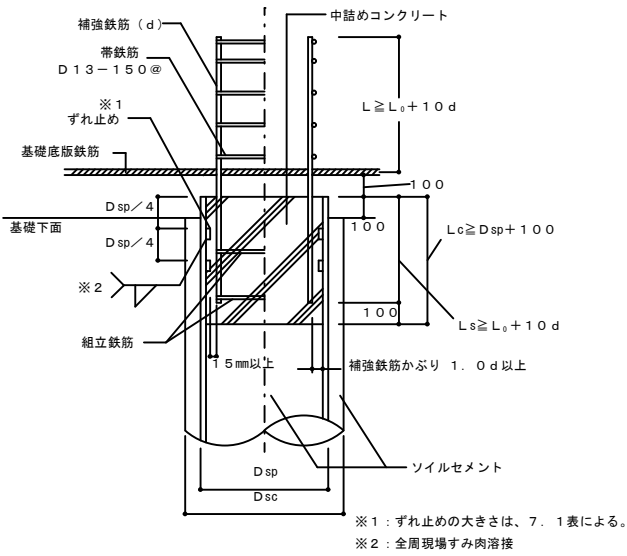
※材質はSS400



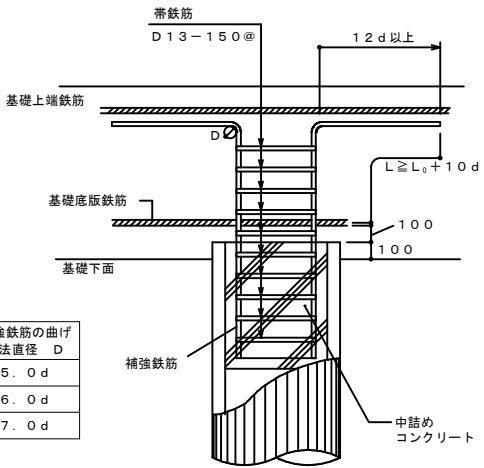
7. 3図 場所打ち杭の杭頭補強



7. 4図 SC杭の杭頭補強



7. 5図 鋼管ソイルセメント杭の杭頭補強



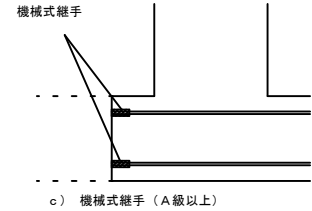
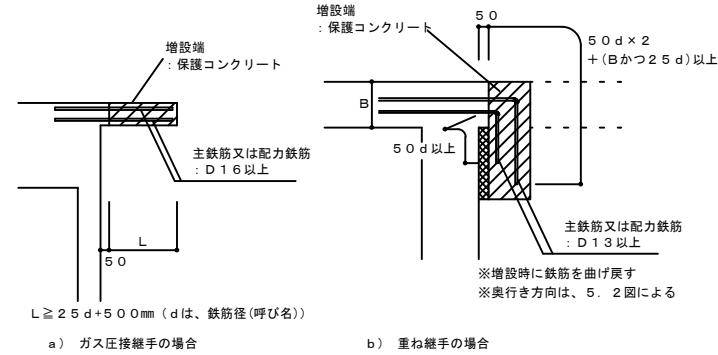
7. 6図 杭頭補強鉄筋が底版厚より長くなる場合の杭頭補強

鉄筋種別	補強鉄筋の曲げ内法直径 D
SD345	5.0d
SD390	6.0d
SD490	7.0d

8 増設予定端

8. 1 増設予定端の配筋

- (1) 増設端鉄筋の継手工法は、D16以上をガス圧接、D13を重ね継手とすることを原則とし、8. 1図のa)、b)による。部材寸法及び鉄筋の径と間隔は図面による。
- (2) 増設端の鉄筋を保護するコンクリート強度は18N/mm²とする。
- (3) D13以上の鉄筋について機械式継手を用いる場合は、8. 1図のc)による。機械式継手の仕様は「鉄筋定着・継手指針[2020年版]」(土木学会)によるものとし、継手部の詳細及び継手単体に必要な特性を図面に示す。



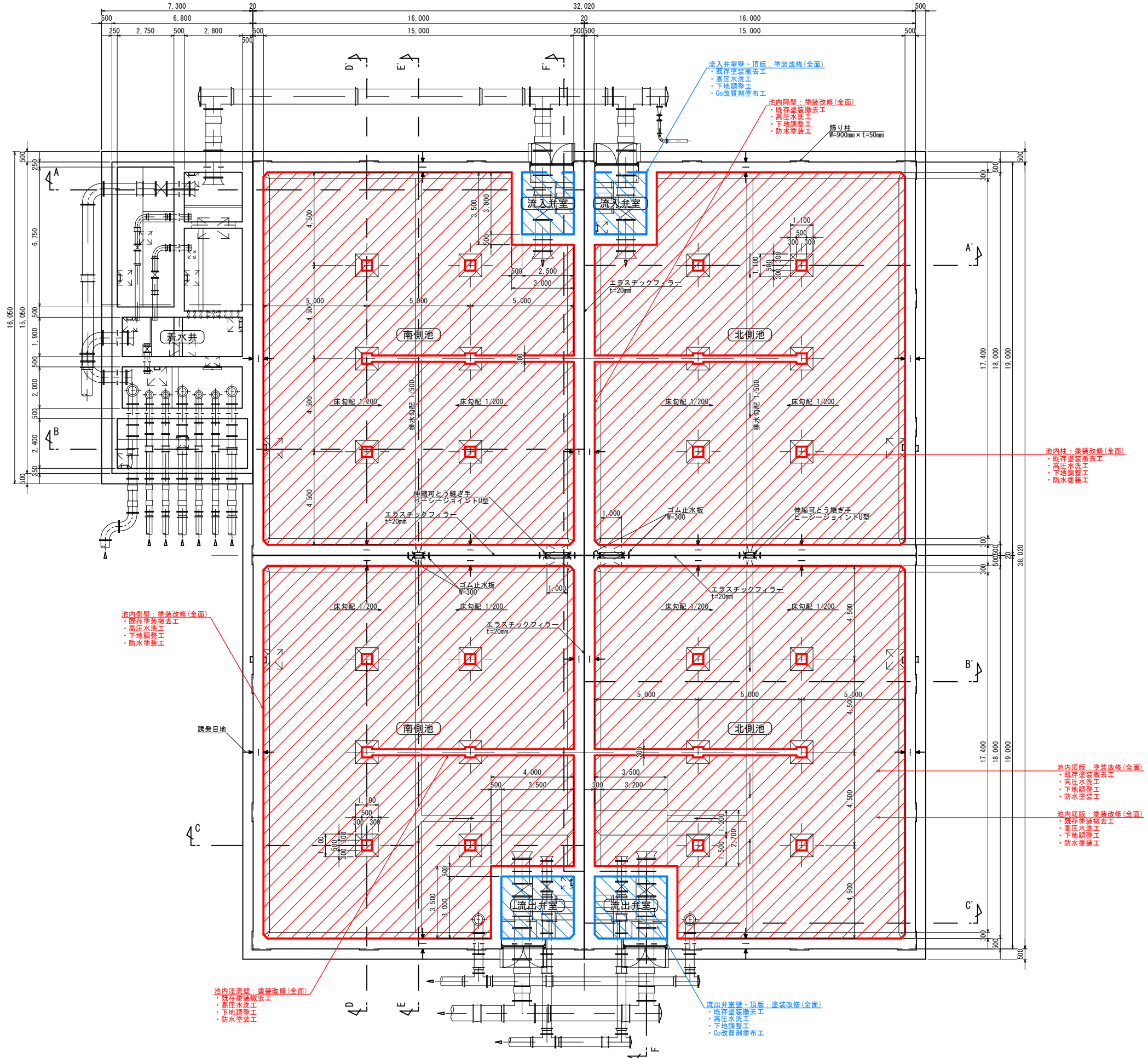
※鉄筋径は図面による。
※機械式継手は、D13以上を対象とする。
※機械式継手をイモ継ぎに使用する場合、構造計算書等により当該箇所に塑性ヒンジが発生しないことを確認する必要がある。施工上やむを得ず機械式継手によるイモ継ぎとなる場合は、継手部が所要の耐震性を有していることを、適切な実験や解析等で照査しなければならない。詳細は「鉄筋定着・継手指針[2020年版]」(土木学会)による。

8. 1図 増設予定端配筋要領図（断面）

工事名称	国補 川合新田水渠1号配水池貯留庫補強工事
工事箇所	長野市 大字川合新田
図面名称	構造細目共通図(土木構造物) (3)
縮 尺	NON
図面番号	18 / 42
調 査	補 査
主 査	主 査
監 査	監 査
年 月 日	令和 年 月 日
管理者	長野市 上下水道局 浄水課

川合新田水源 1号配水池 池内塗装改修図(1) S=1:100 (A1)

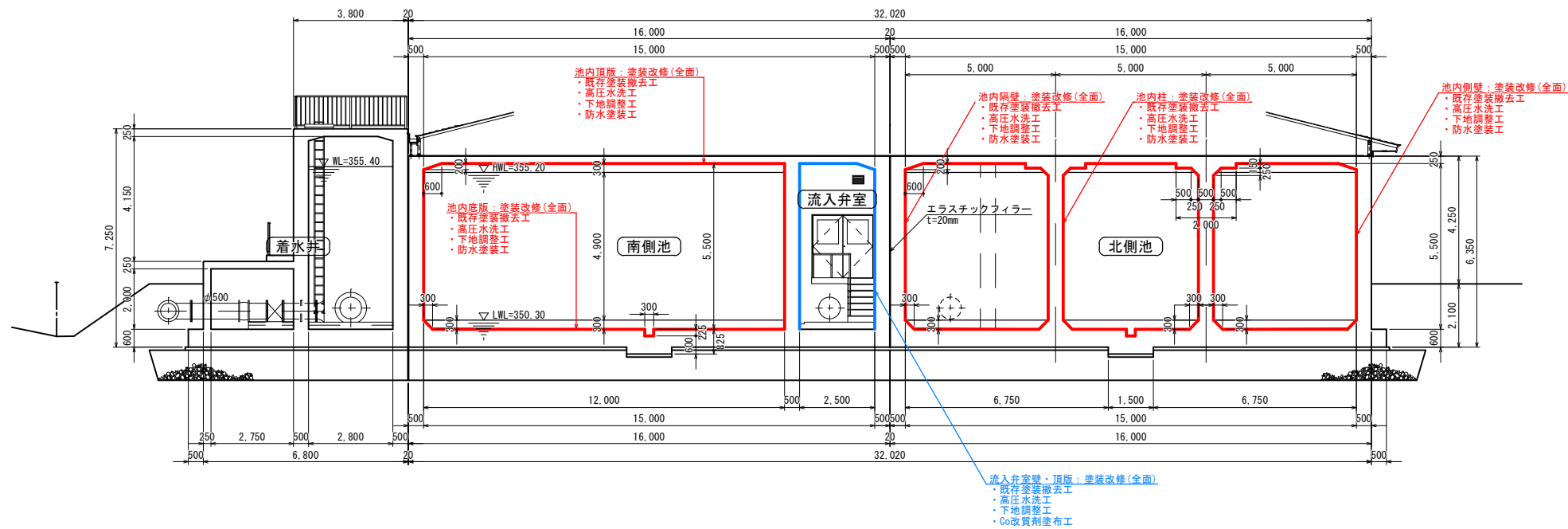
平面図



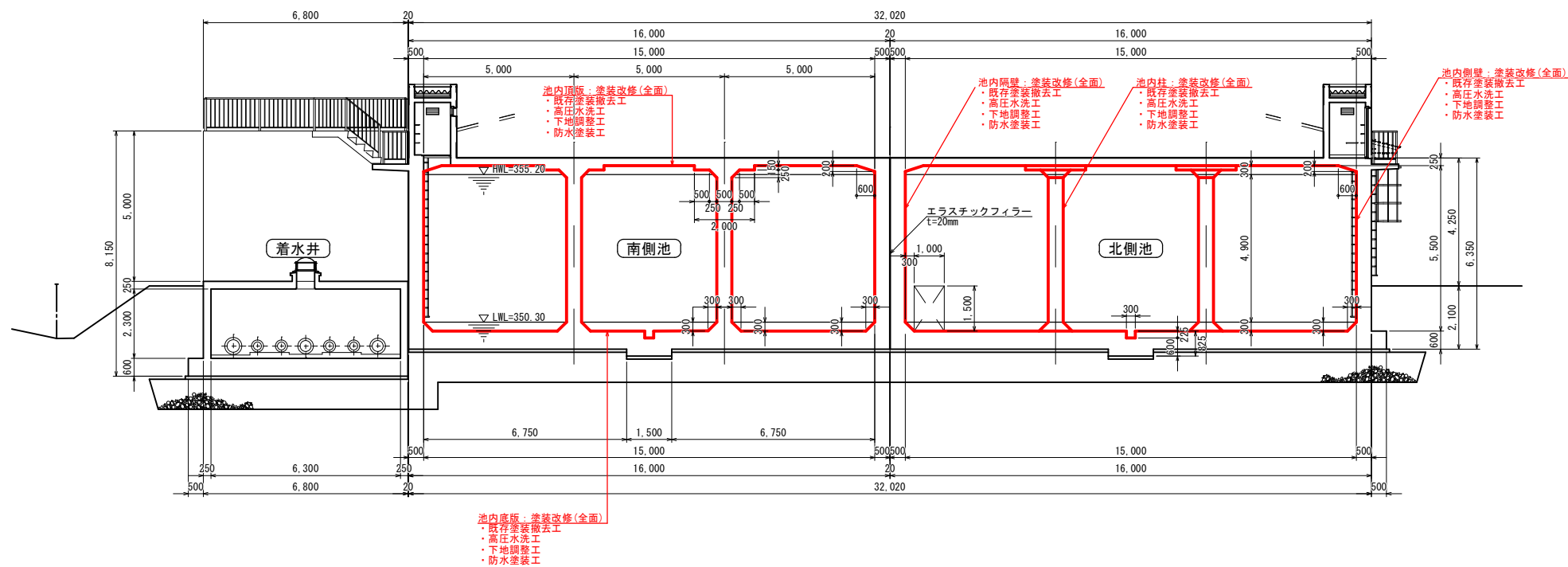
工事名称		国補 川合新田水源 1号配水池耐震補強工事			
工事箇所		長野市 大字川合新田			
図面名称		1号配水池 池内塗装改修図 (1)			
縮 尺		1:100 (A1)		図面番号	20 / 42
課 長		補 佐		主 幹	係 長
照 査		設 計		水道技術 管理者	
年 月 日		令和		年 月 日	
長野市 上下水道局 浄水課					

川合新田水源 1号配水池 池内塗装改修図(2) S=1:100(A1)

A-A' 断面図



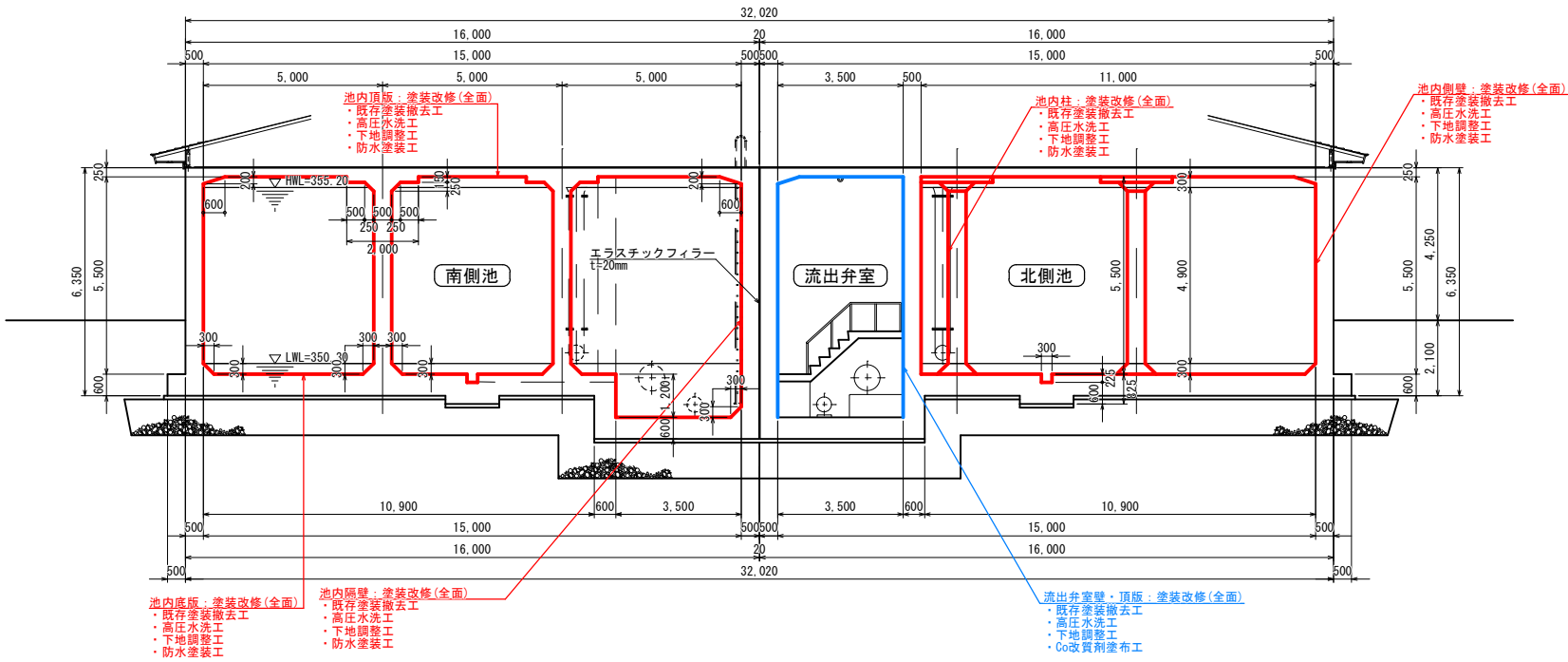
B-B' 断面図



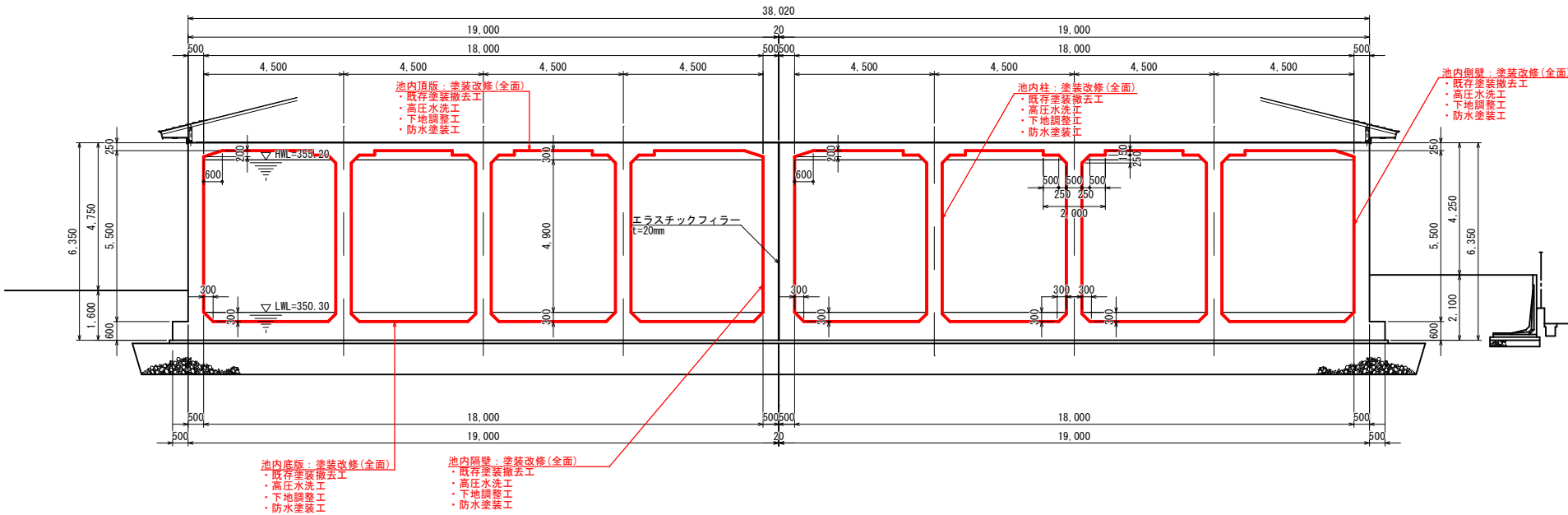
工事名称	国庫 川合新田水源 1号配水池耐震補強工事				
工事箇所	長野市 大字川合新田				
図面名称	1号配水池 池内塗装改修図 (2)				
縮 尺	1:100 (A1)		図面番号	21 / 42	
課長		補佐		主幹	係長
照査		設計		水道技術 管理者	
年 月 日	令和		年	月	日
長野市 上下水道局 浄水課					

川合新田水源 1号配水池 池内塗装改修図(3) S=1:100(A1)

C-C' 断面図

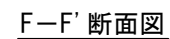


D-D' 断面図



工事名称	国補 川合新田水源 1号配水池耐震補強工事			
工事箇所	長野市 大字川合新田			
図面名称	1号配水池 池内塗装改修図(3)			
縮尺	1:100(A1)	図面番号	22 / 42	
課長	補佐	主幹	係長	
照査	設計	水道技術管理者		
年月日	令和	年	月	日
長野市 上下水道局 浄水課				

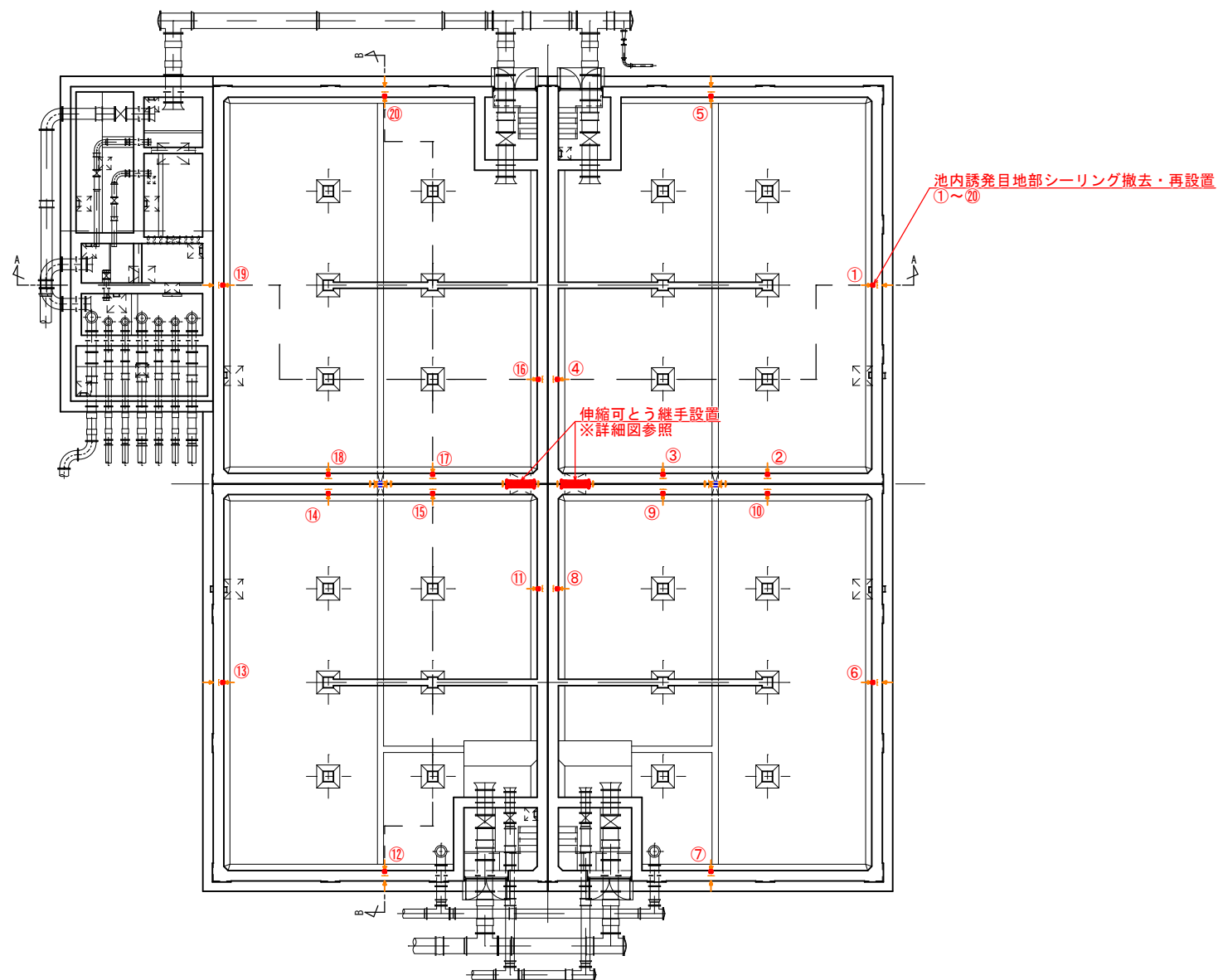
E—E' 断面图



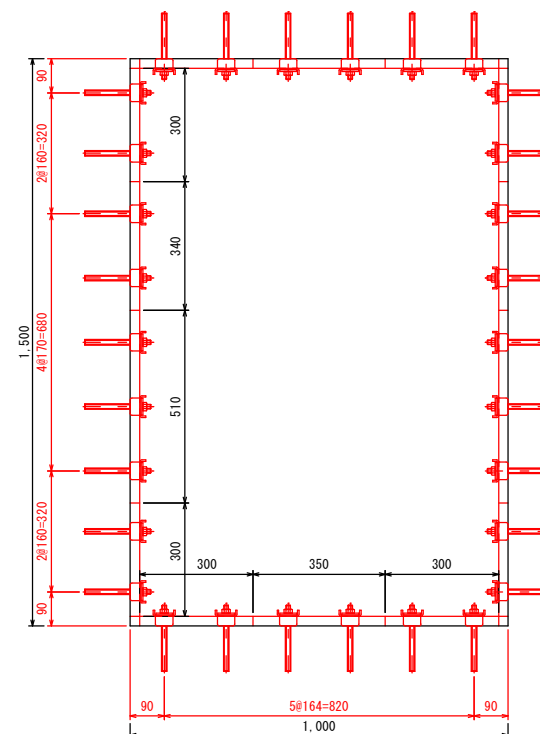
工事名称	国補 川田新田水源1号配水池耐震補強工事				
工事箇所	長野市 大字川田新田				
図面名称	1号配水池 池内塗装改修図 (4)				
縮尺	1:100 (A1)		図面番号	23 / 42	
課長	補佐	主幹	係長		
調査	設計	水道技術 管理者			
年 月 日	令和	年	月	日	
長野市 上下水道局 浄水課					

川合新田水源 1号配水池 目地部改修図 S=1:150 (A1)

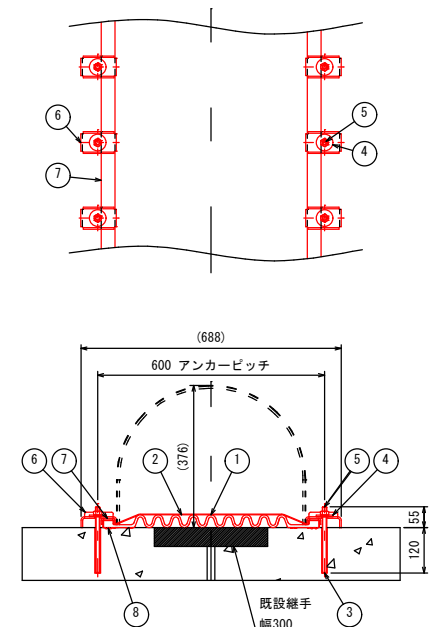
配水池 下部平面图



伸縮可とう継手設置概略図 S=1:30



伸縮可とう継手設置断面詳細図 S=1:30



性能

耐 压：0.1MPa

伸び量：200mm

偏心量：200mm

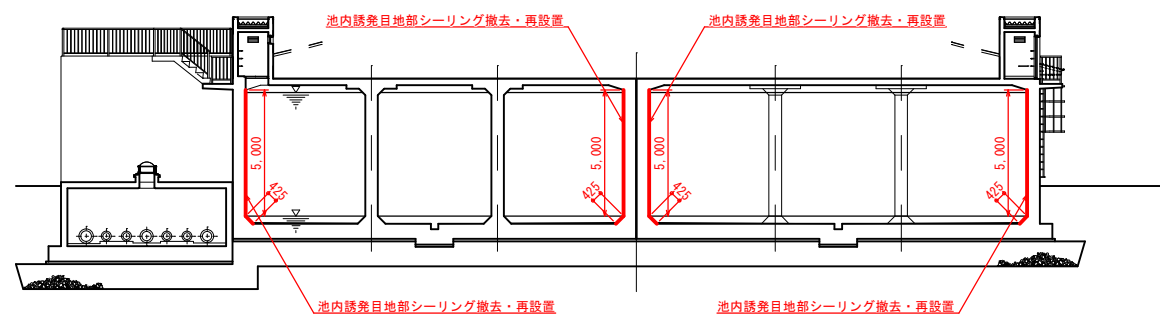
注記

各部寸法は現場状況に合わせ施工要領書に基づき調整とし、調整時にアンカーボルトの本数変更、リテーナーの長さ調整に切断作業が必要です。

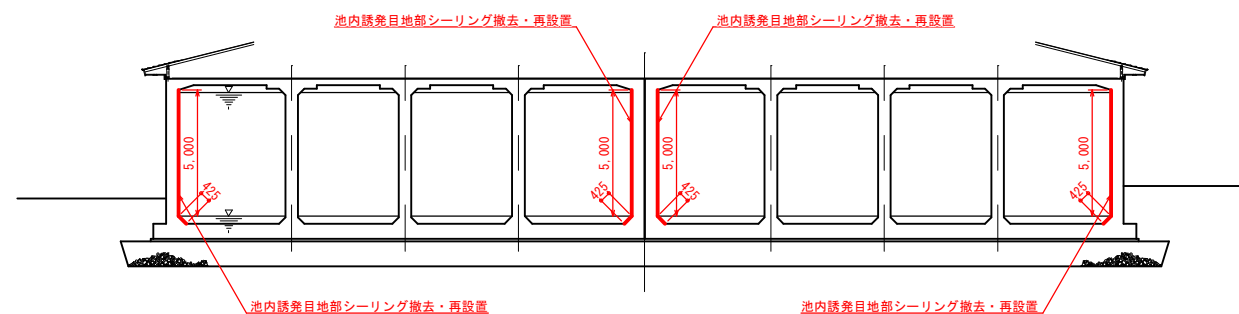
伸縮可とう継手材料

8	シーリング剤	ブチルゴム 裏面シリコン	一式	
7	リテーナー	SUS304	2列	分割品
6	クランプ	SUS304	60	
5	アンカーボルト・ナット	SUS304	60	M12
4	特殊座金	SUS304	60	
3	接着系あと施工アンカー	樹脂	一式	
2	カバーゴム	CR	1	
1	止水ゴム	CR（布入り）	1	5m
品番	名 称	材 質	個数	備 考

A-A断面图



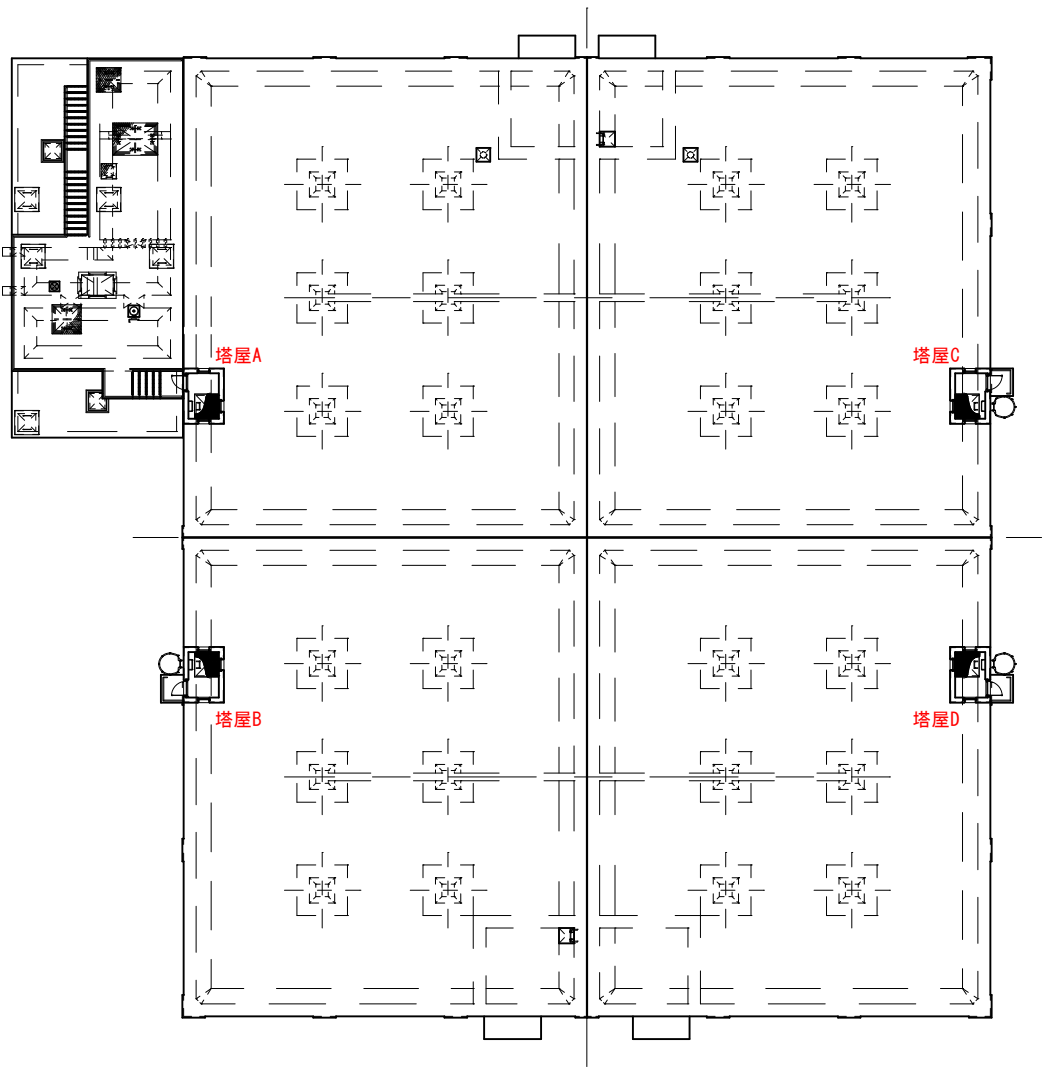
B-B断面图



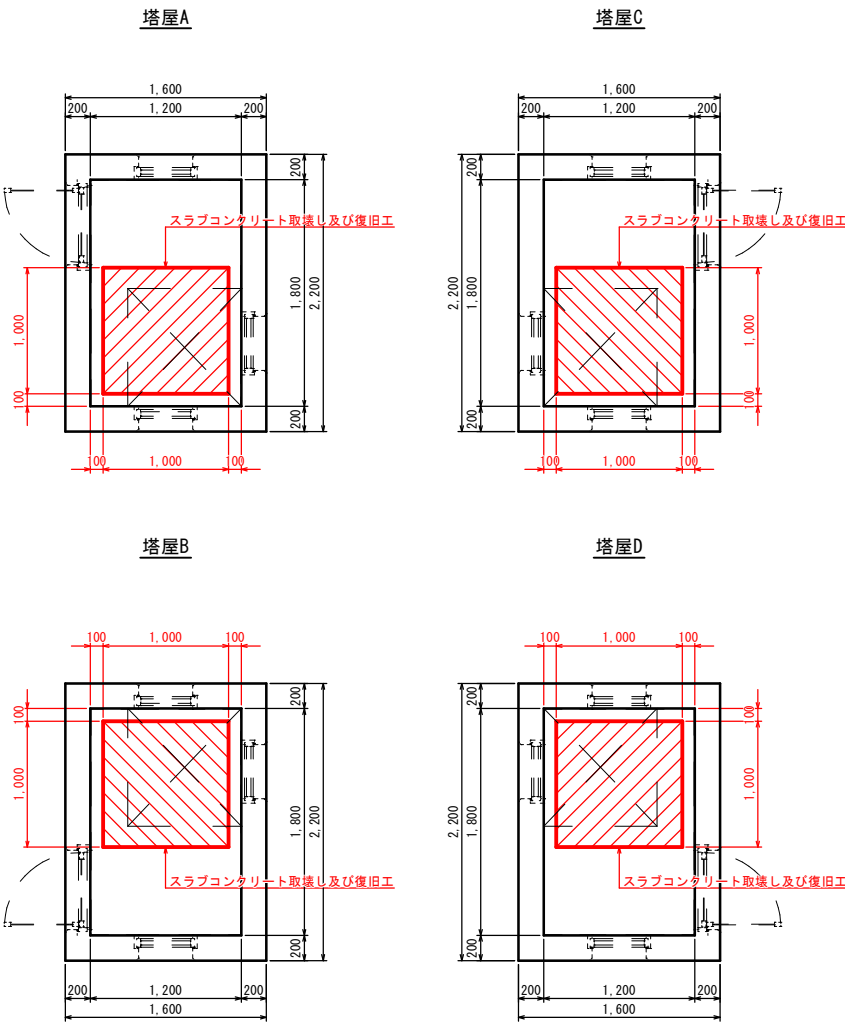
工事名称	国補 川合新田水渠1号配水池耐震補強工事				
工事箇所	長野市 大字川合新田				
図面名称	1号配水池 目地部改修図				
縮 尺	1:150 (A1)		図面番号	24 / 42	
課長		補佐		主幹	係長
照査		設計		水道技術管理者	
年 月 日	令和		年	月	日
長野市 上下水道局 浄水課					

川合新田水源 1号配水池 資材搬入出口参考図 S=1:30 (A1)

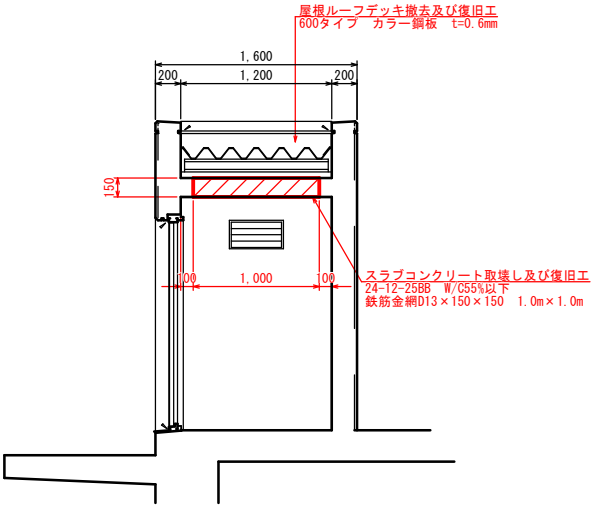
配水池 上部平面図 S=1:150



塔屋上部平面図



塔屋断面図

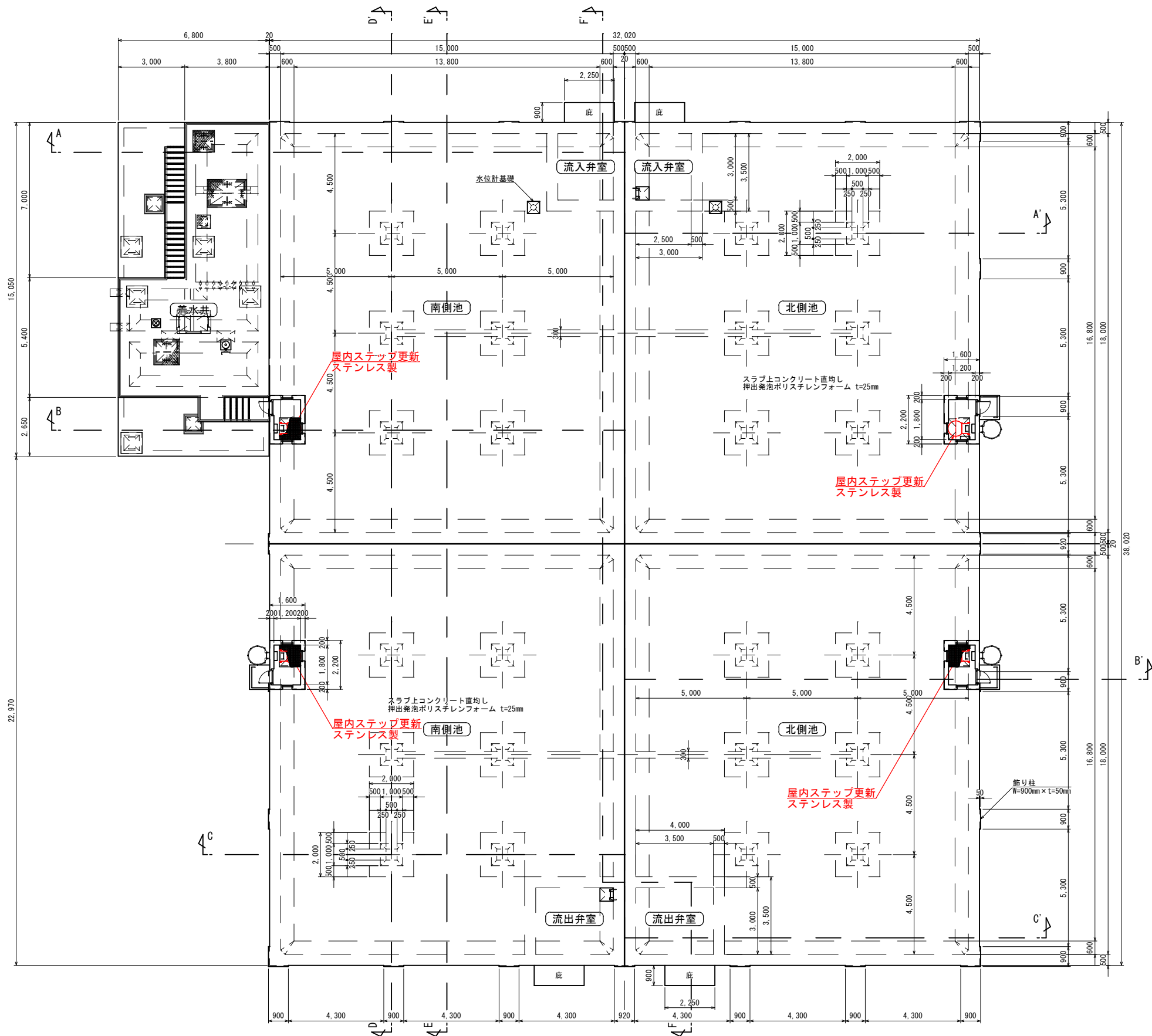


※開口部の既存鉄筋は、復旧後のコンクリート定着を考慮して可能な限り切断せず残すこと。

工事名称	国補 川合新田水源1号配水池耐震補強工事			
工事箇所	長野市 大字川合新田			
図面名称	1号配水池 資材搬入出口参考図			
縮尺	1:30 (A1)	図面番号	25 / 42	
課長	補佐	主幹	係長	
照査	設計	水道技術管理者		
年月日	令和	年	月	日
長野市 上下水道局 浄水課				

川合新田水源 1号配水池 ステップ改修平面図 S=1:100 (A1)

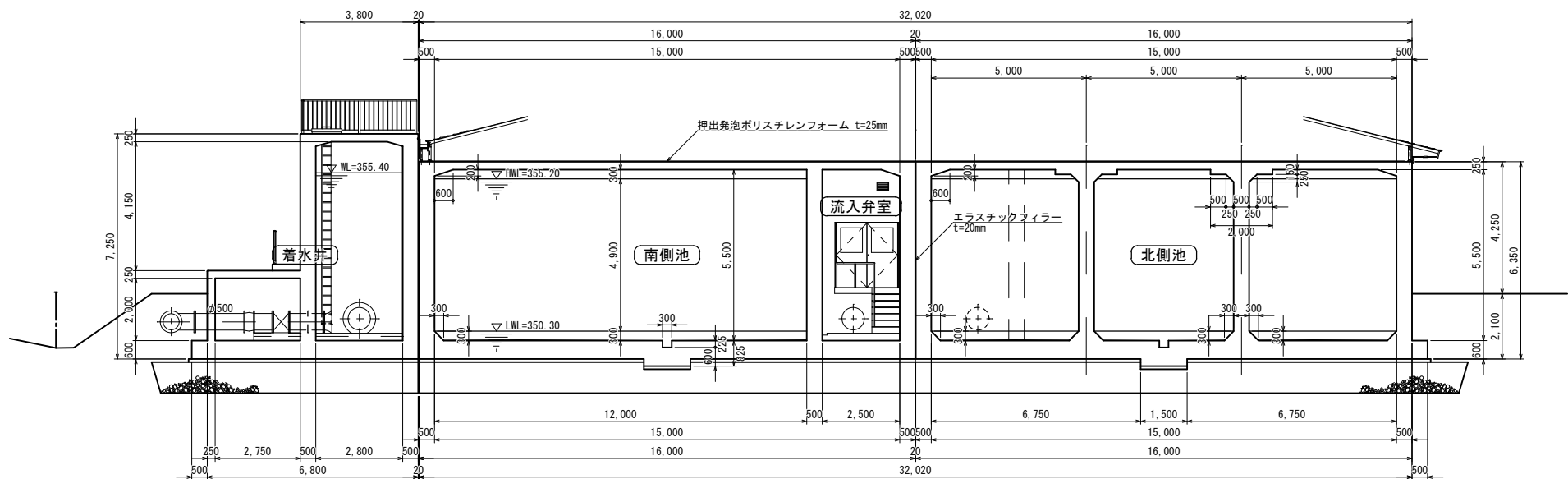
上部平面図



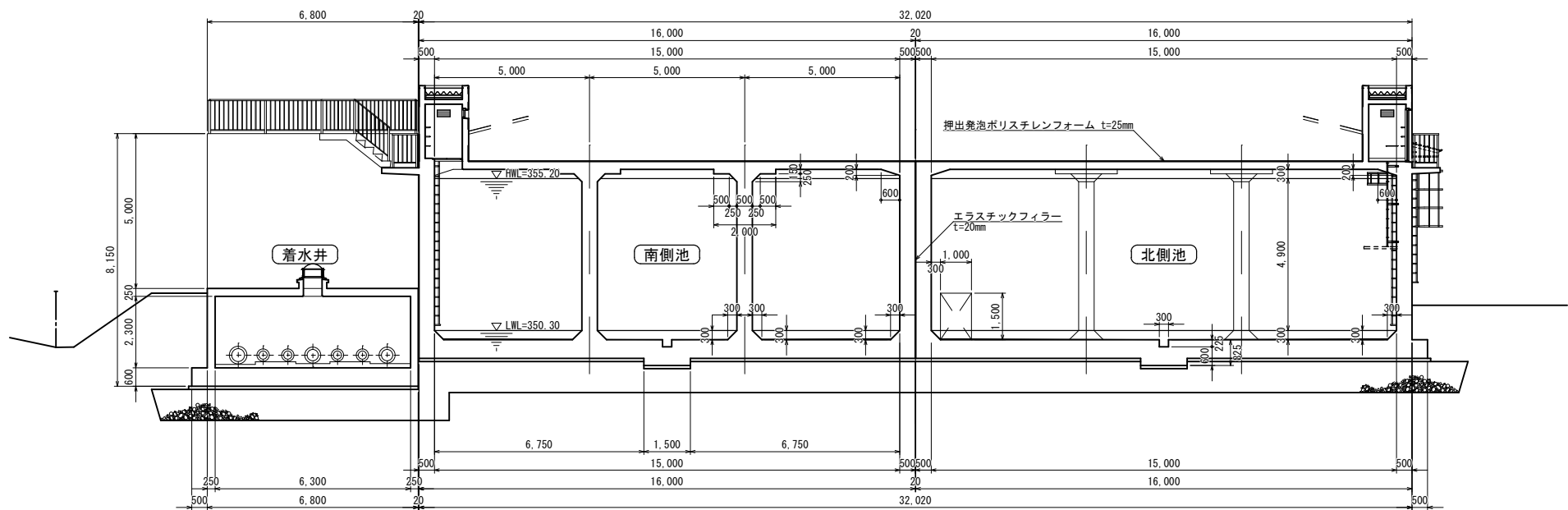
工事名称		国補 川合新田水源 1号配水池耐震補強工事			
工事箇所		長野市 大字川合新田			
図面名称		1号配水池 ステップ改修平面図			
縮 尺		1:100 (A1)		図面番号	26 / 42
課 長		補 佐		主 幹	係 長
照 査		設 計		水道技術 管理者	
年 月 日		令和		年	月 日
長野市 上下水道局 浄水課					

川合新田水源 1号配水池 ステップ改修断面図 S=1:100 (A1)

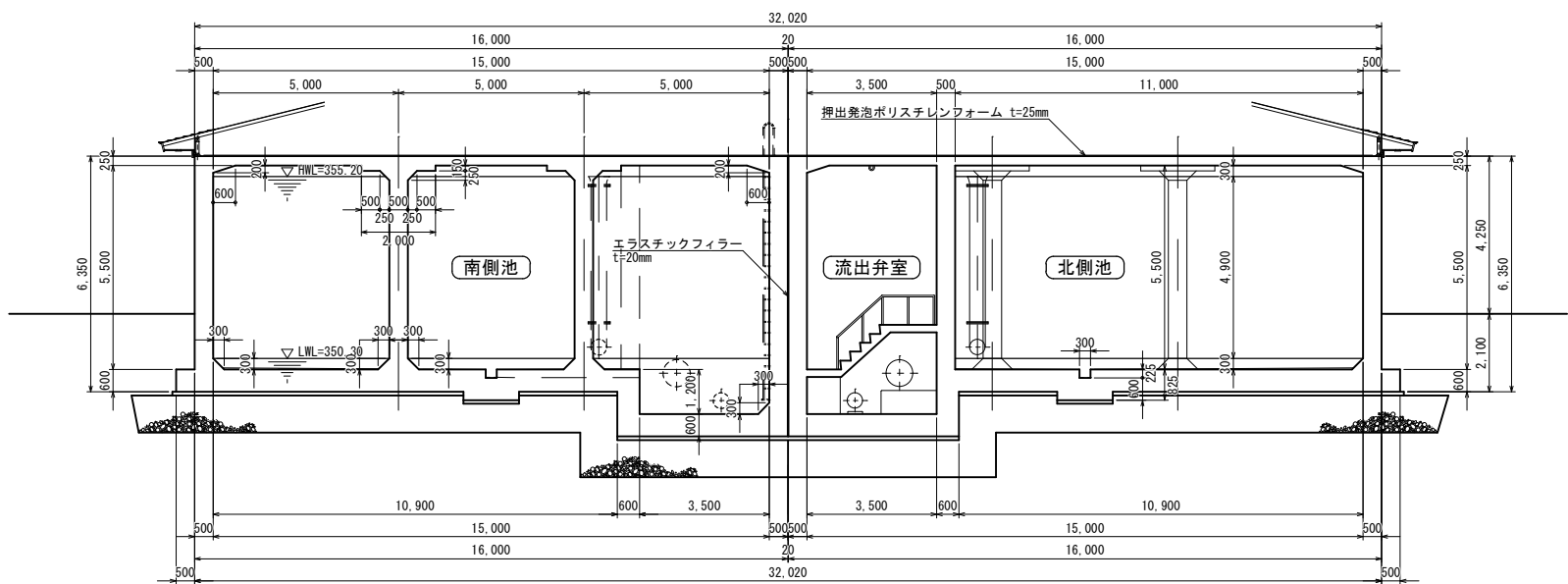
A-A' 断面図



B-B' 断面図



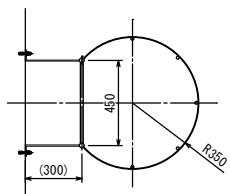
C-C' 断面図



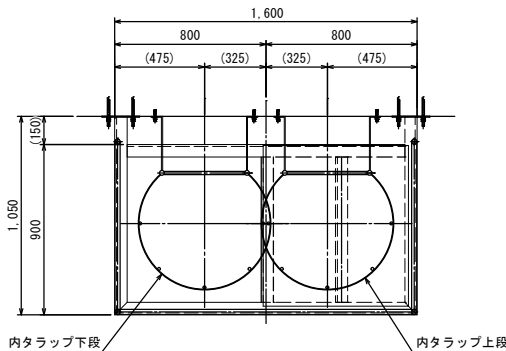
工事名称	国補 川合新田水源 1号配水池耐震補強工事			
工事箇所	長野市 大字川合新田			
図面名称	1号配水池 ステップ改修断面図			
縮尺	1:100 (A1)	図面番号	27 / 42	
課長		補佐	主幹	係長
照査		設計	水道技術 管理者	
年月日	令和	年	月	日
長野市 上下水道局 浄水課				

川合新田水源 1号配水池 内ステップ参考図 S=1:20(A1)
4ヶ所

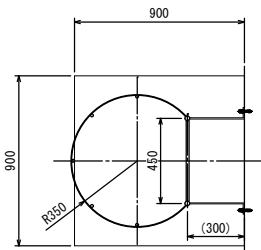
平面図1



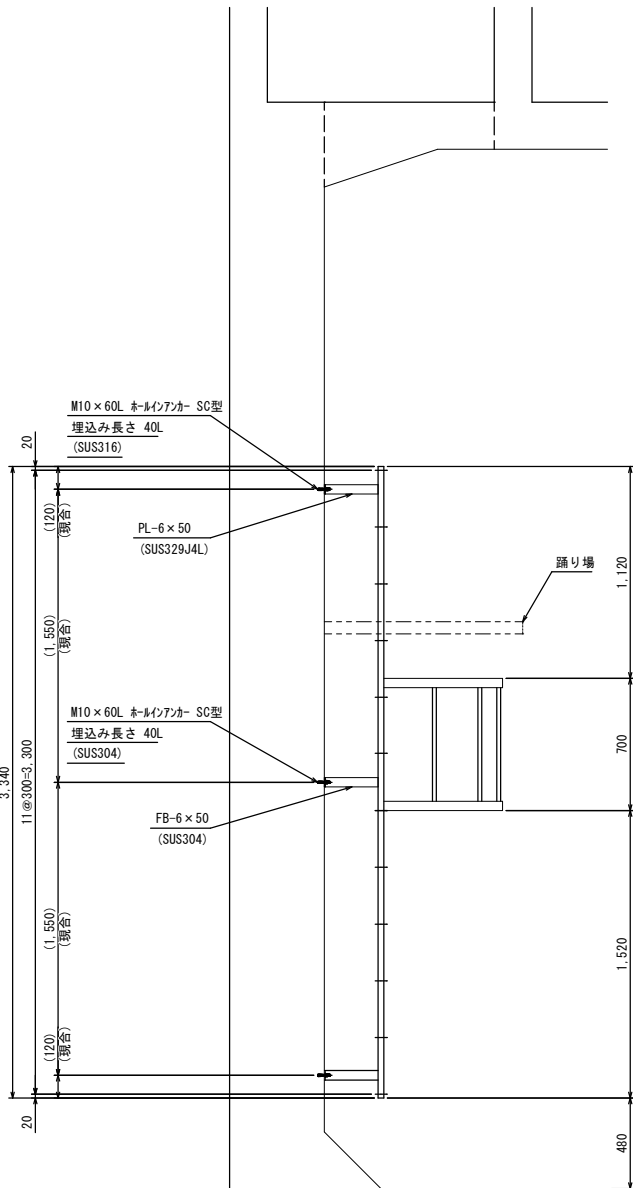
平面図2



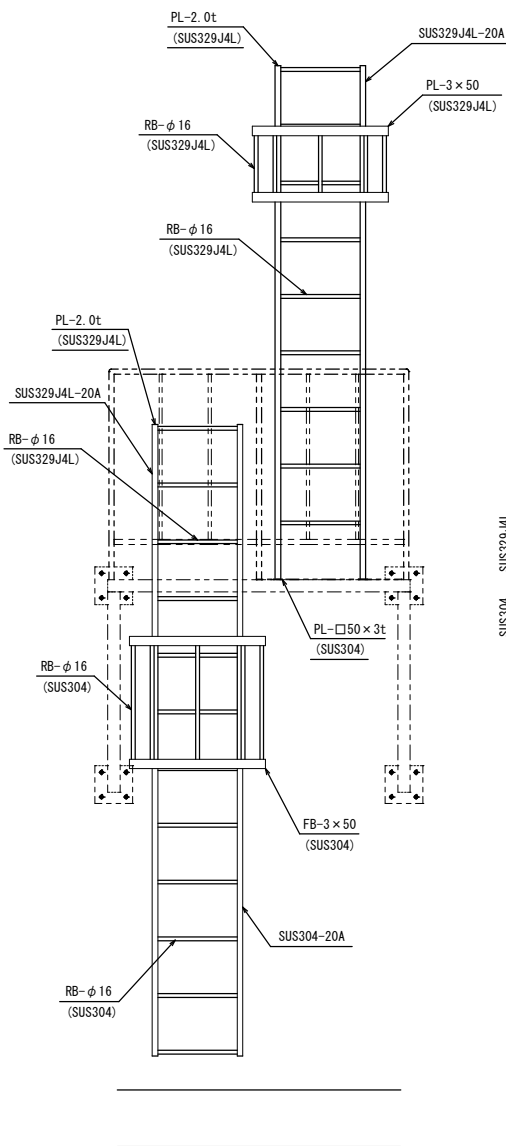
平面図3



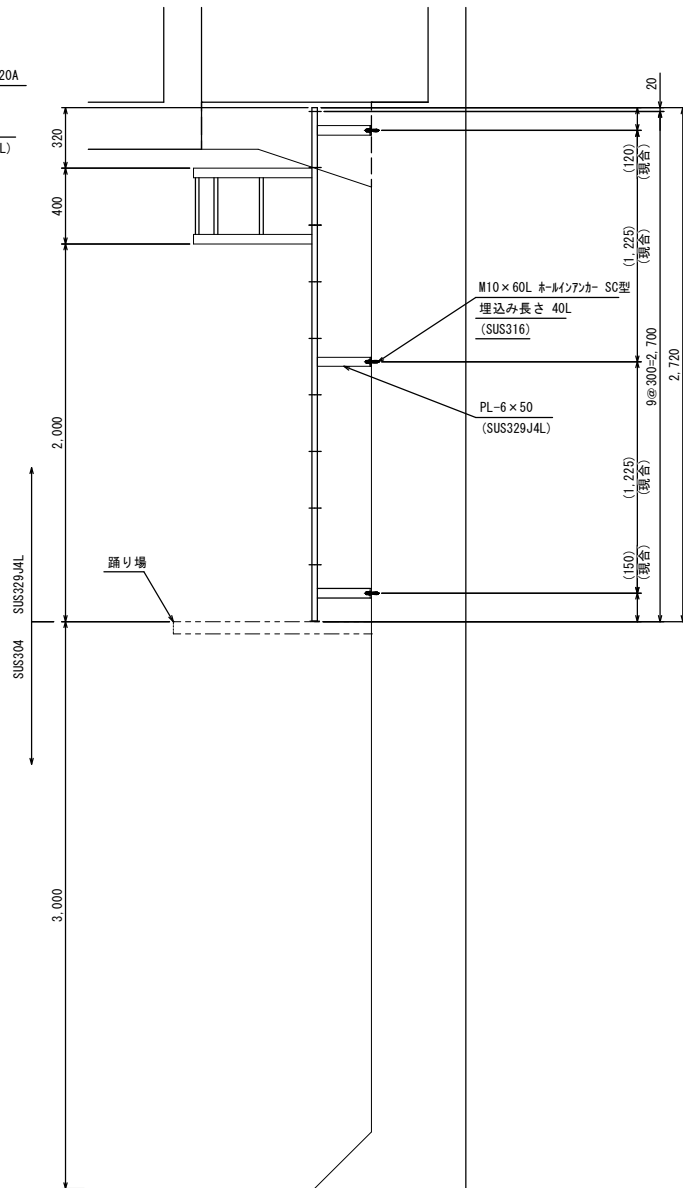
側面図1



正面図

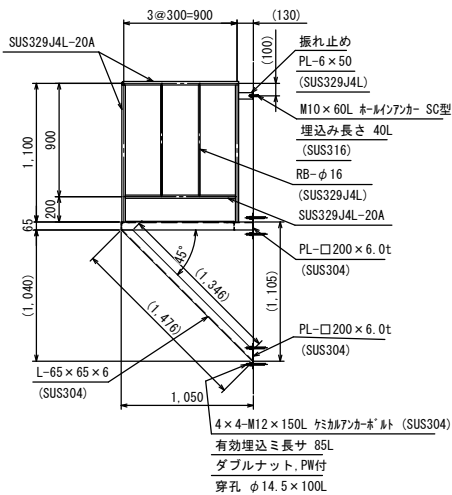
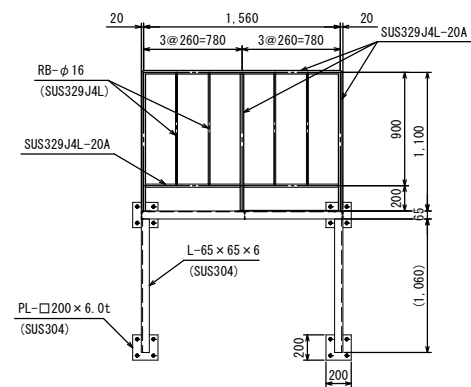
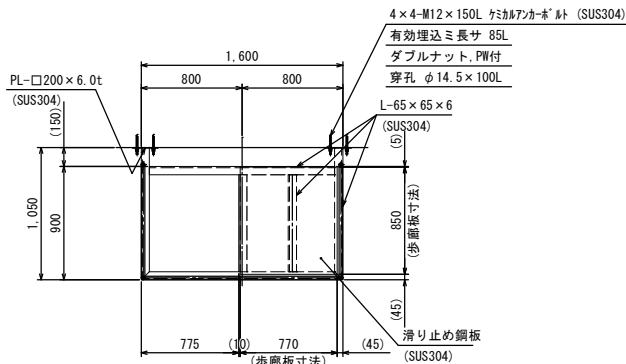


側面図2



踊り場詳細図 S=1:30

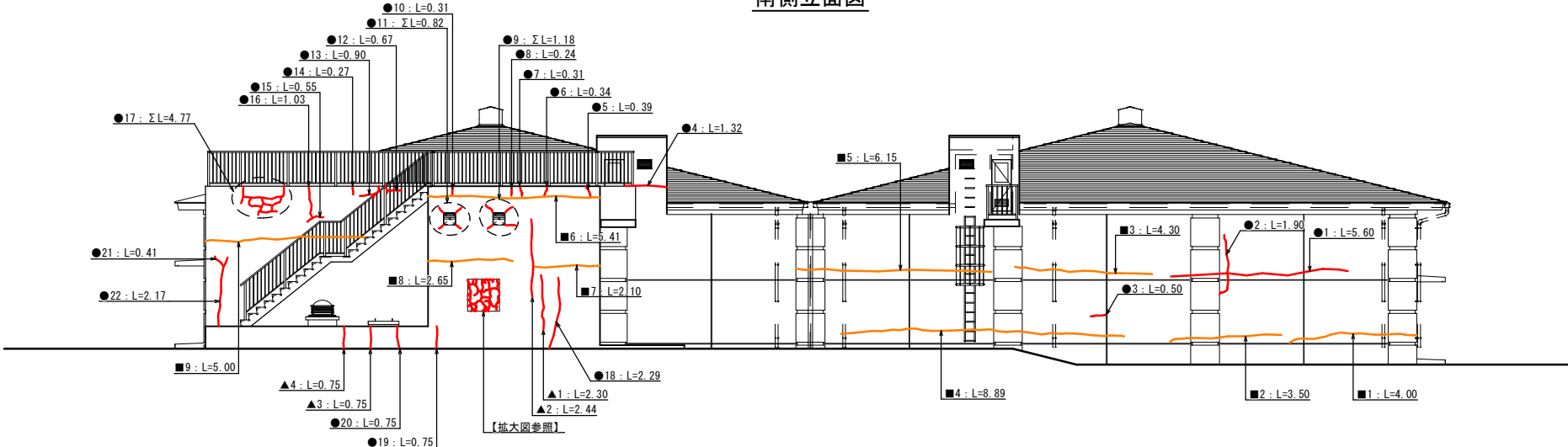
製作数: 1
※支持金具は現合
※搬入可能な寸法にてバラ組み



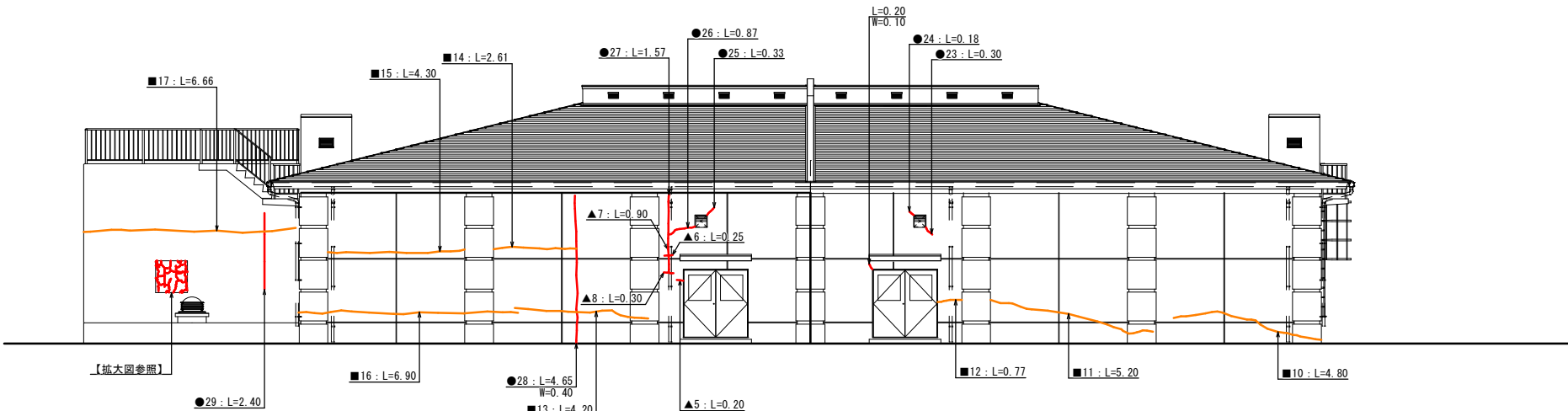
工事名称	国枝 川合新田水源 1号配水池耐震補強工事
工事箇所	長野市 大字川合新田
図面名称	1号配水池 内ステップ参考図
縮尺	1:20 1:30(A1) 図面番号 28 / 42
調査	補強 設計 監理
照査	設計 水産技術 管理者
年月日	令和 年 月 日
長野市 上下水道局 浄水課	

川合新田水源 1号配水池 躯体改修図 (1) S=1:100

南側立面図



東側立面図



部材	位置	番号	延長 (m)		
			ひび割れ幅		
			W<0.2	0.2≦W≦1.0	1.0<W
側壁	外部	●1		5.60	
		●2		1.90	
		●3		0.50	
		●4		1.32	
		●5		0.39	
		●6		0.34	
		●7		0.31	
		●8		0.24	
		●9		1.18	
		●10		0.31	
		●11		0.82	
		●12		0.67	
		●13		0.90	
		●14		0.27	
		●15		0.55	
		●16		1.03	
		●17		4.77	
		●18		2.29	
		●19		0.75	
		●20		0.75	
		●21		0.41	
		●22		2.17	
		●23		0.30	
		●24		0.18	
		●25		0.33	
		●26		0.87	
		●27		1.57	
		●28		4.65	
		●29		2.40	
	小口		0.00	27.77	0.00

[illegible][illegible]

躯体補修方法

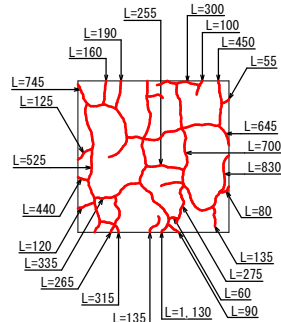
記号	劣化種類	補修方法
●	ひび割れ 幅：0.2mm未満 幅：0.2mm以上1.0mm以下	コンクリート改質剤塗布工（無機質セメント結晶増殖材） 注入工法（湿気発砲ウレタン）
▲	網目状ひび割れ エポレスセンスを伴うひび割れ コールドジョイント	コンクリート改質剤塗布工（無機質セメント結晶増殖材） エポレスセンス除去後、注入工法（湿気発砲ウレタン） 注入工法（湿気発砲ウレタン）

注記)

- ・図中のL=〇〇は、ひび割れ長さ(m)を示す。
- ・図中のW=〇〇は、ひび割れ幅(mm)を示す。
- ・ひび割れ幅の記載が無い箇所については、ひび割れ幅を0.2mm以上1.0mm以下と想定す。
- ・全面で網目状ひび割れあり、各立面の代表箇所のスケッチを図示

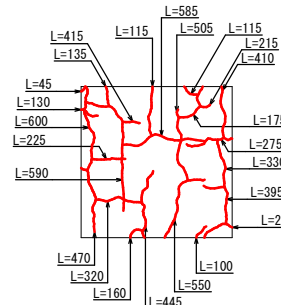
網目状ひび割れ拡大図 S=1:25

南側立面



網目状ひび割れ拡大図 S=1:25

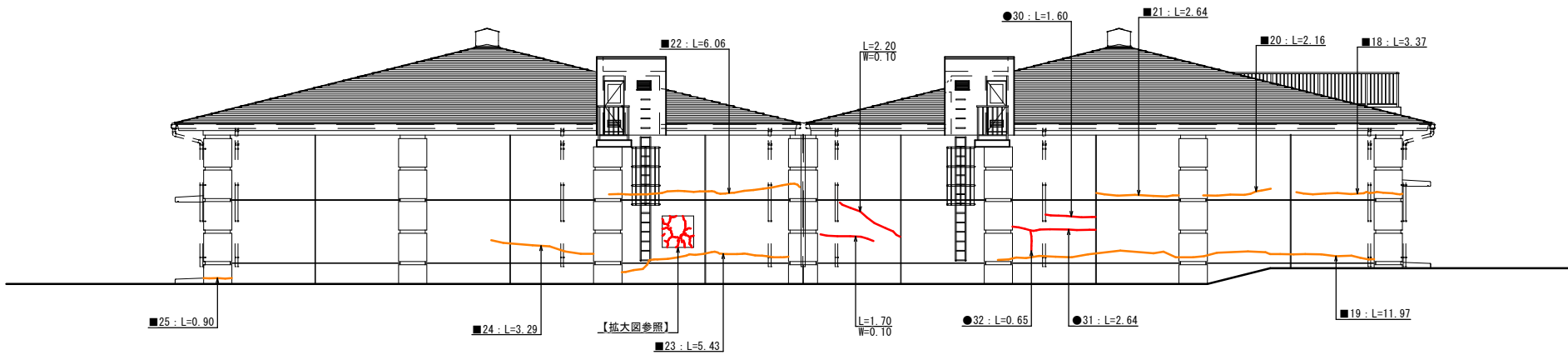
東側立面



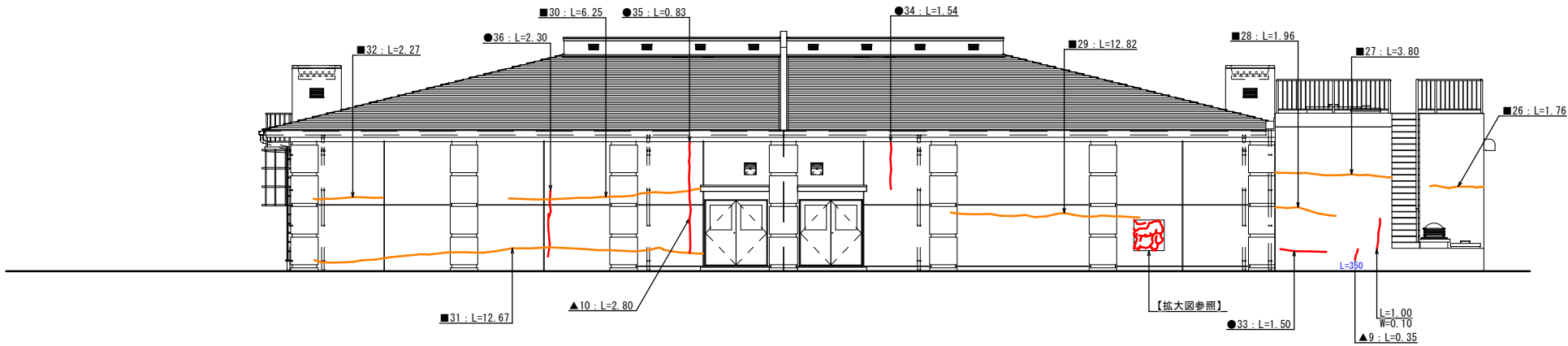
工事名称		国権 川合新田水源 1号配水池耐震補強工事			
工事箇所		長野市 大字川合新田			
図面名称		1号配水池 躯体改修図 (1)			
縮 尺		1:100 (A1)	図面番号		29 / 42
課長	補佐	主幹		係長	
照査	設計	水道技術 管理者			
年 月 日	令和		年	日	
長野市 下水道課 下水道課					

川合新田水源 1号配水池 躯体改修図 (2) S=1:100

北側立面図

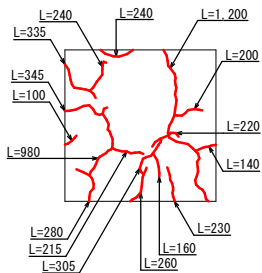


西側立面図



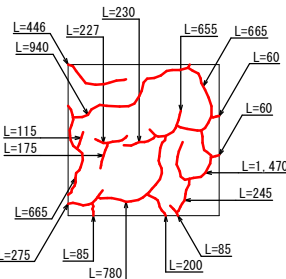
網目状ひび割れ拡大図 S=1:25

北側立面



網目状ひび割れ拡大図 S=1:25

西側立面



部材	位置	番号	延長 (m)		
			ひび割れ幅		
			W<0.2	0.2≦W≦1.0	1.0<W
側壁	外部	●30		1.60	
		●31		2.64	
		●32		0.65	
		●33		1.50	
		●34		1.54	
		●35		0.83	
		●36		2.30	
小計			0.00	11.06	0.00

部材	位置	番号	延長 (m)		
			ひび割れ幅		
			W<0.2	0.2≦W≦1.0	1.0<W
側壁	外部	▲9		0.35	
		▲10		2.80	
小計			0.00	3.15	0.00

部材	位置	番号	延長 (m)		
			ひび割れ幅		
			W<0.2	0.2≦W≦1.0	1.0<W
側壁	外部	■18		3.37	
		■19		11.97	
		■20		2.16	
		■21		2.64	
		■22		6.06	
		■23		5.43	
		■24		3.29	
		■25		0.90	
		■26		1.76	
		■27		3.80	
		■28		1.96	
		■29		12.82	
		■30		6.25	
		■31		12.67	
		■32		2.27	
小計			0.00	77.35	0.00

躯体補修方法

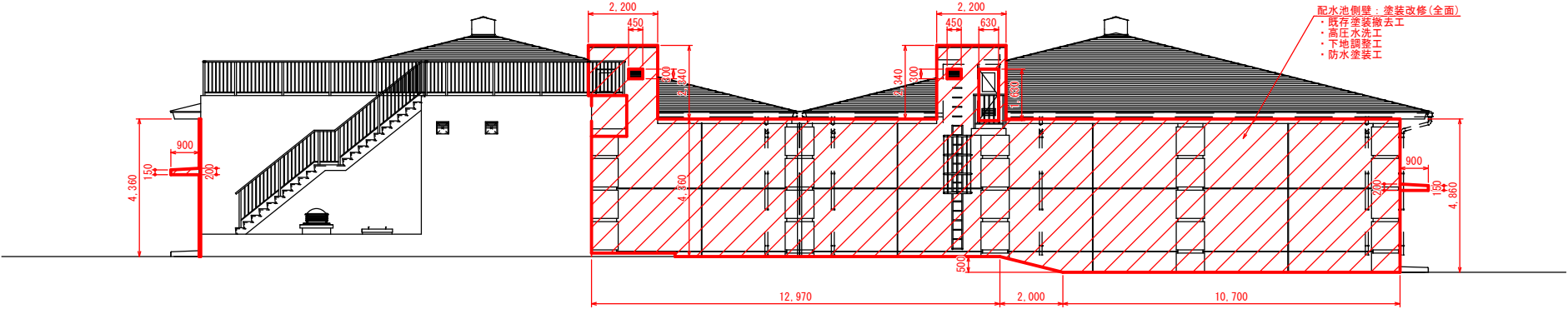
記号	劣化種類	補修方法
●	ひび割れ	幅: 0.2mm未満
		幅: 0.2mm以上1.0mm以下
▲	網目状ひび割れ	エフロレッセンスを伴うひび割れ
		エフロレッセンス除去後、注入工法 (湿気発砲ウレタン)
■	コールドジョイント	注入工法 (湿気発砲ウレタン)

注記

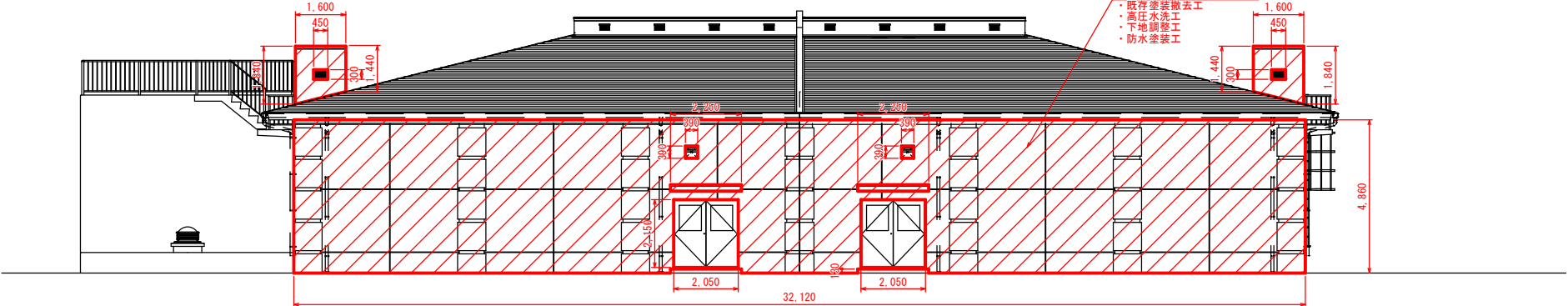
- 図中のL=○○は、ひび割れ長さ (m) を示す。
- 図中のW=○○は、ひび割れ幅 (mm) を示す。
- ひび割れ幅の記載が無い箇所については、ひび割れ幅を0.2mm以上1.0mm以下と想定する
- 全面で網目状ひび割れあり、各立面の代表箇所のスケッチを図示

川合新田水源 1号配水池 外壁塗装改修立面図 S=1:100

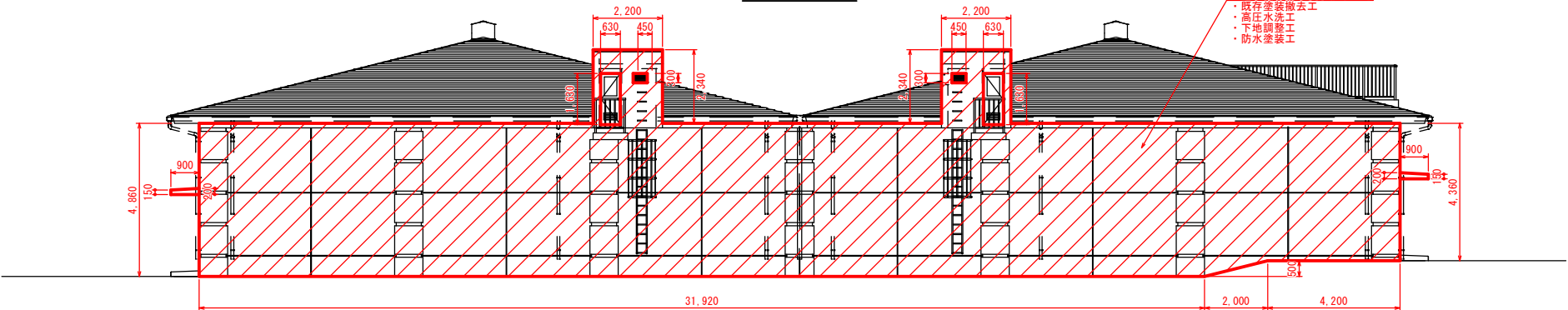
南側立面図



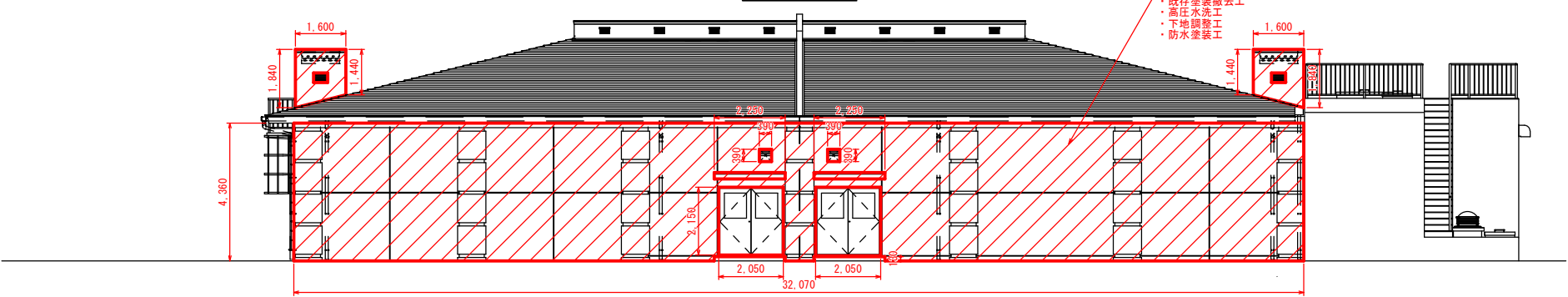
東側立面図



北側立面図



西側立面図



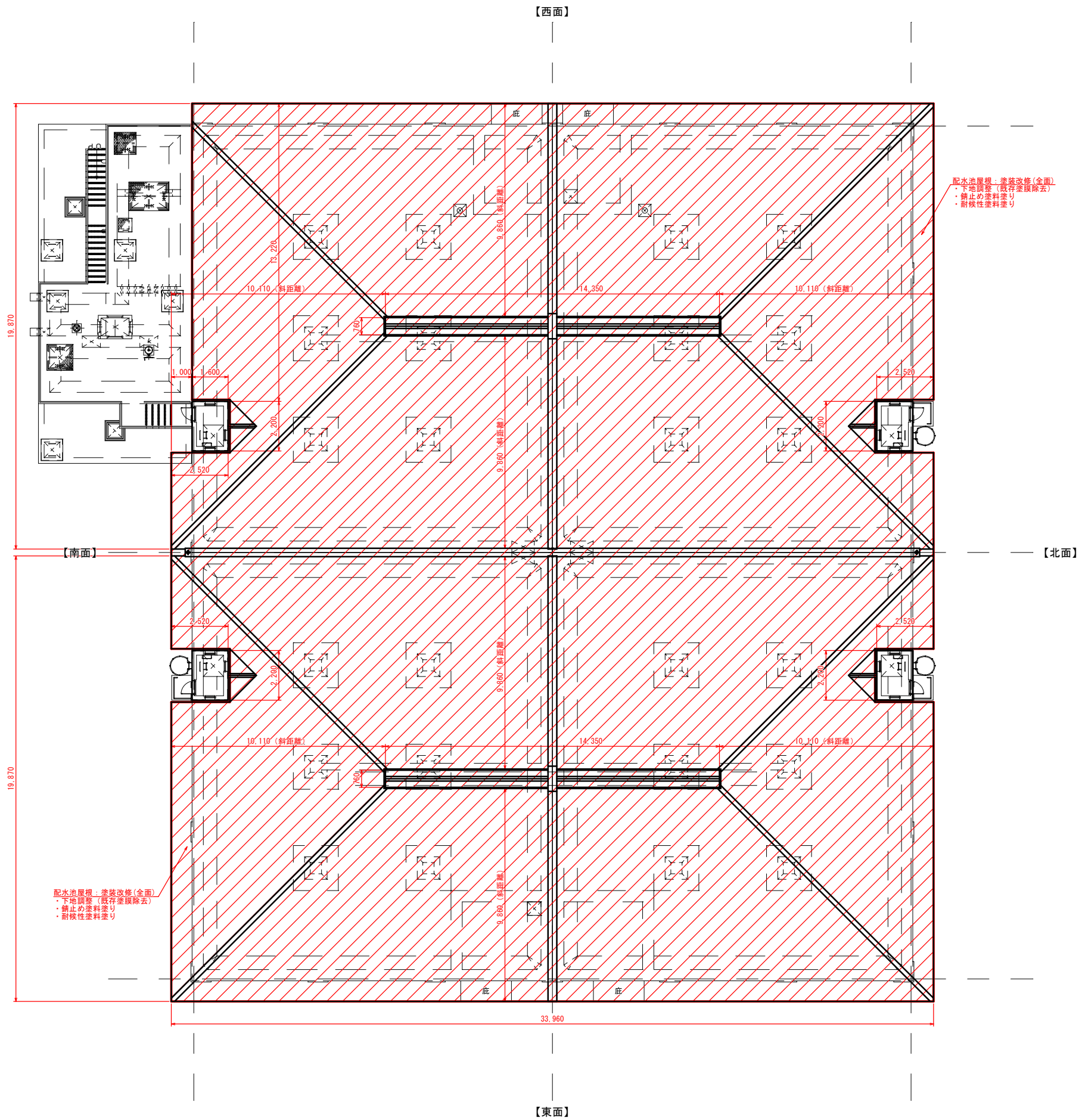
※配水池外壁の塗膜にはアスベストが含有されているため、塗膜除去の際は飛散防止養生を行い、撤去作業を実施すること。

施工部位		仕上材仕様
配水池	屋 根	耐候性塗料（鉄鋼面1級 フッ素樹脂）
	側壁・飾り柱	防水型複層塗材E
着水井	屋上スラブ	2成分形超速硬化ウレタン防水材
	側 壁	防水型複層塗材E

工事名称		国補 川合新田水源1号配水池耐震補強工事			
工事箇所		長野市 大字川合新田			
図面名称		1号配水池 外壁塗装改修立面図			
縮 尺		1:100(A1)		図面番号	31 / 42
課 長		補 佐		主 幹	係 長
照 査		設 計		水道技術 管理者	
年 月 日		令和		年	月 日
長野市 上下水道局 浄水課					

川合新田水源 1号配水池 屋根塗装改修平面図 S=1:100

施工部位		仕上材仕様
配水池	屋 根	耐候性塗料（鉄鋼面1級 フッ素樹脂）
	側壁・飾り柱	防水型複層塗材E
着水井	屋上スラブ	2成分形超速硬化ウレタン防水材
	側 壁	防水型複層塗材E

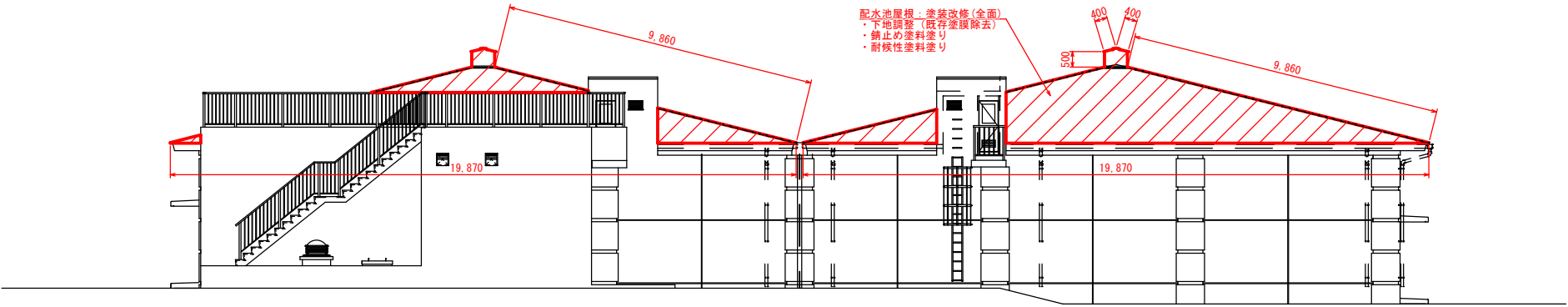


工事名称	国庫	川合新田水源 1号配水池耐震補修工事
工事箇所	長野市	大字川合新田
図面名称	1号配水池	屋根塗装改修平面図
縮 尺	1:100(A1)	図面番号 32 / 42
課 長	補 佐	主 幹
照 査	設 計	水道技術 管理者
年 月 日	令和	年 月 日
長野市 上下水道局 浄水課		

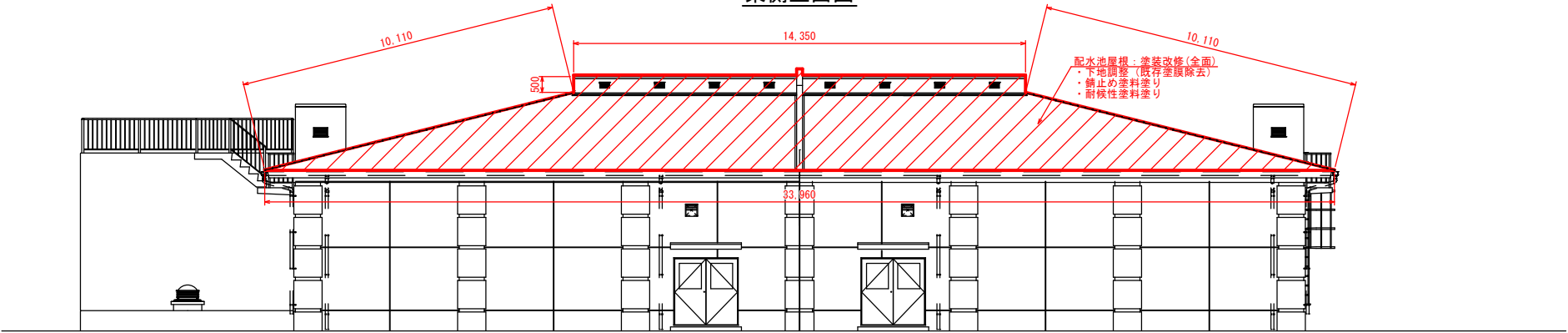
川合新田水源 1号配水池 屋根塗装改修立面図 S=1:100

施工部位		仕上材仕様
配水池	屋 根	耐候性塗料（鉄鋼面1級 フッ素樹脂）
	側壁・飾り柱	防水型複層塗材E
着水井	屋上スラブ	2成分形超速硬化ウレタン防水材
	側 壁	防水型複層塗材E

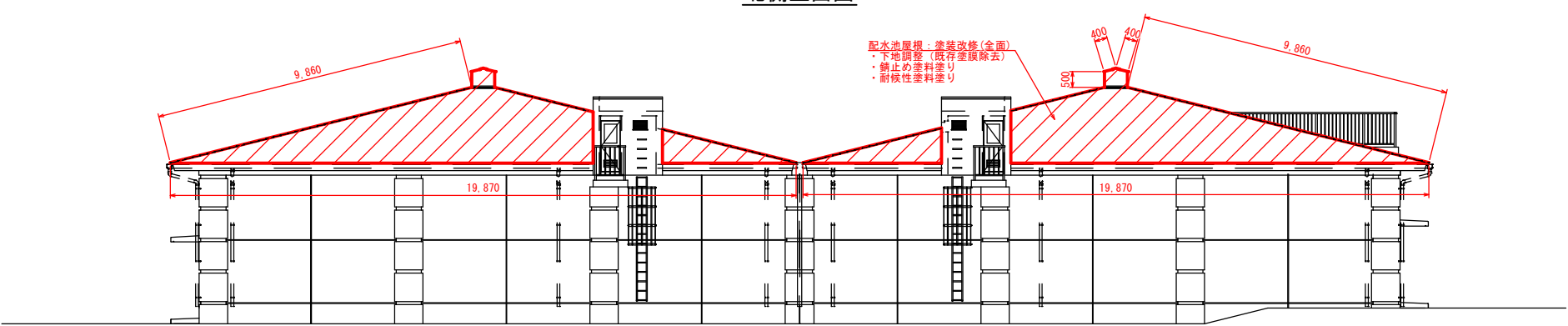
南側立面図



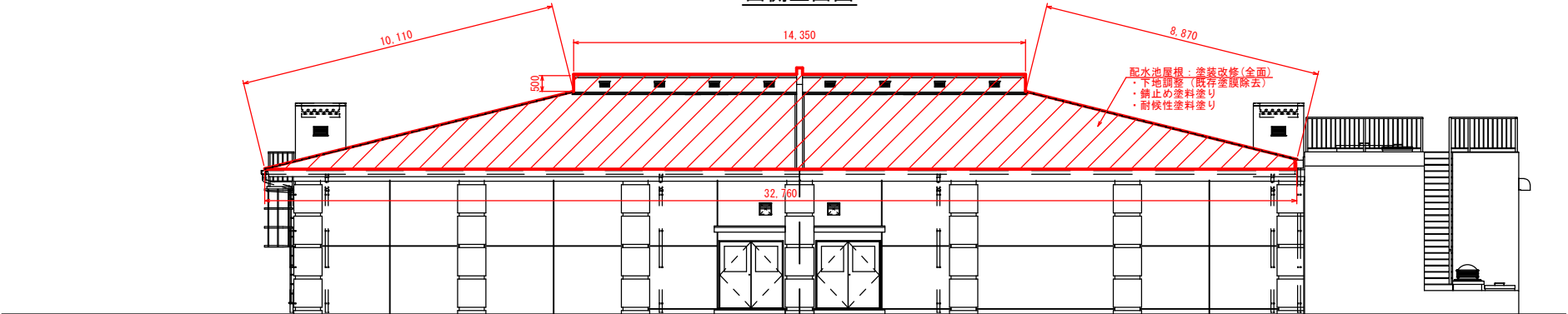
東側立面図



北側立面図



西側立面図

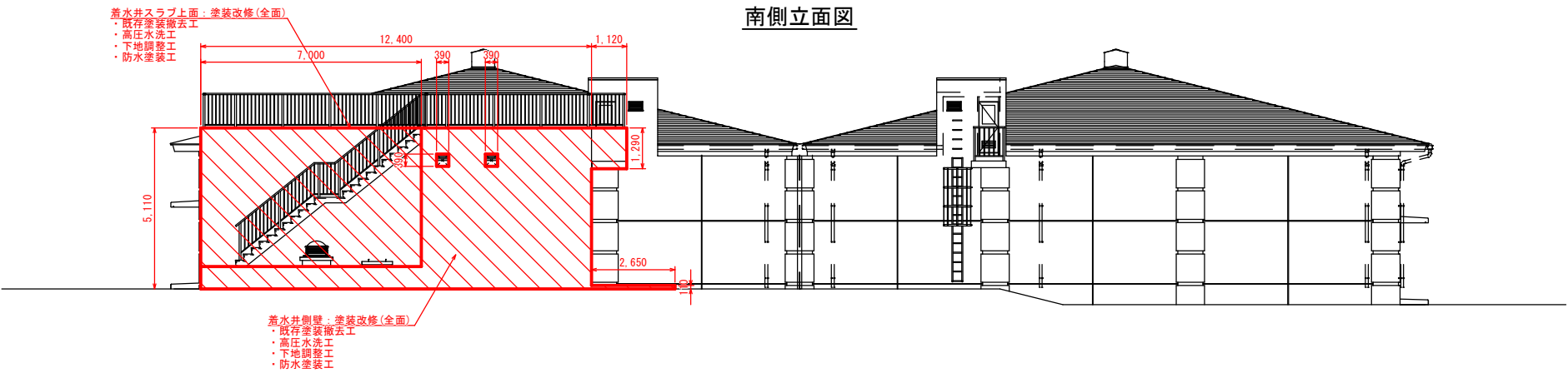


工事名称		国補 川合新田水源1号配水池耐震補強工事			
工事箇所		長野市 大字川合新田			
図面名称		1号配水池 屋根塗装改修立面図			
縮 尺		1:100 (A1)		図面番号	33 / 42
課長		補 佐		主 幹	係 長
照 査		設 計	水道技術 管理者		
年 月 日		令和		年	月 日
長野市 上下水道局 浄水課					

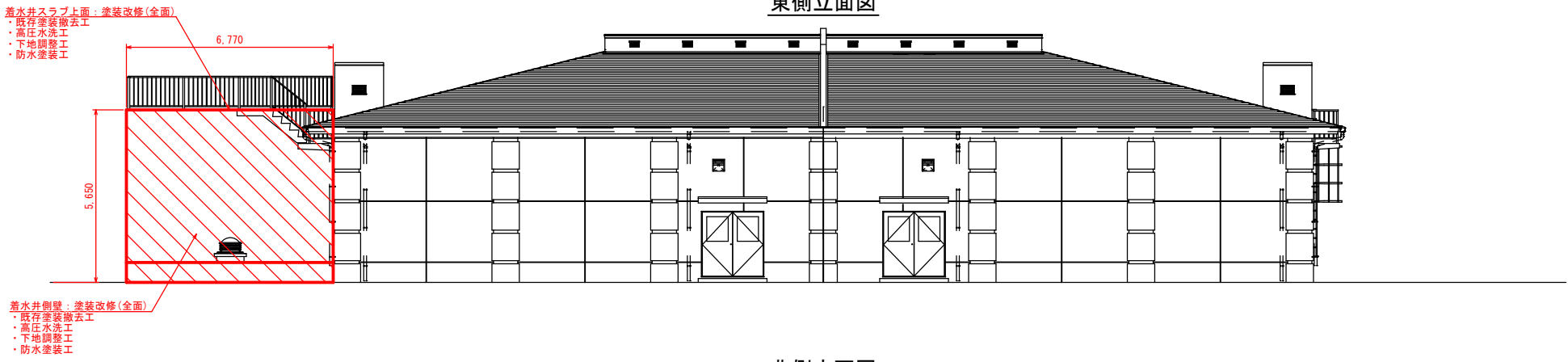
川合新田水源 着水井 外壁塗装改修立面図 S=1:100

施工部位		仕上材仕様
配水池	屋 根	耐候性塗料（鉄鋼面1級 フッ素樹脂）
	側壁・飾り柱	防水型複層塗材E
着水井	屋上スラブ	2成分形超速硬化ウレタン防水材
	側 壁	防水型複層塗材E

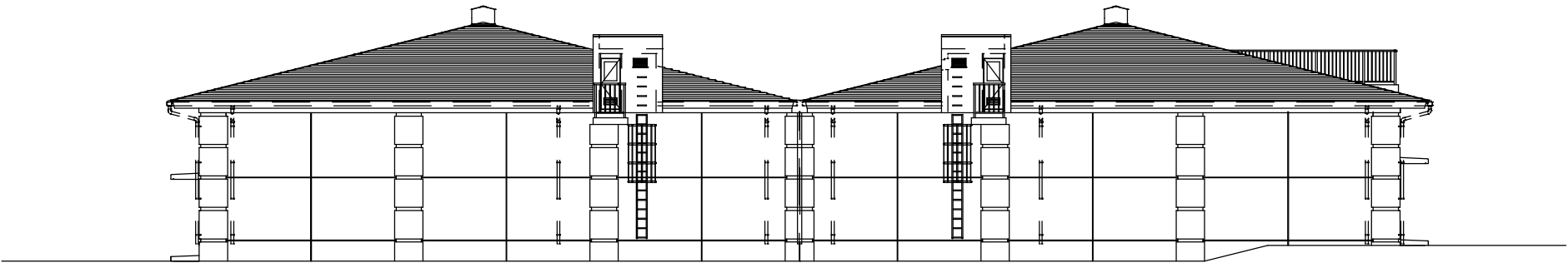
南側立面図



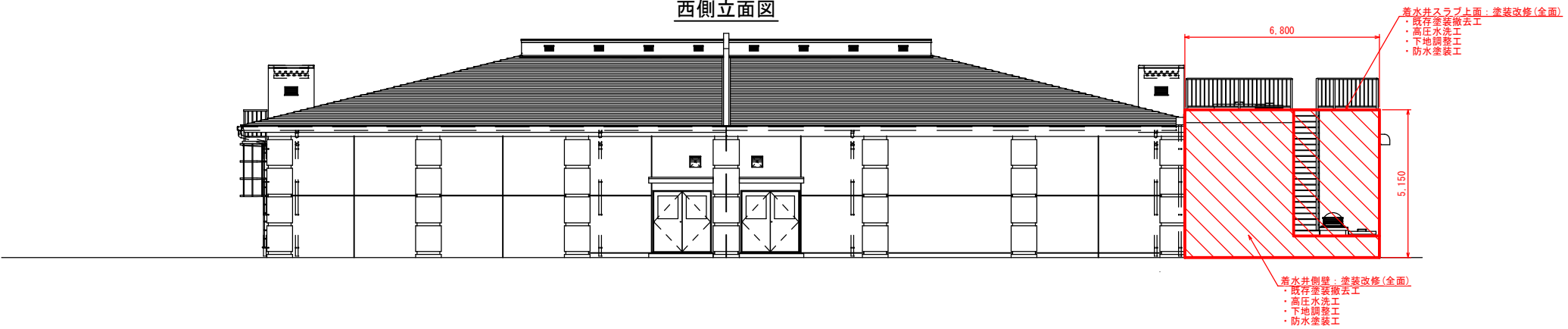
東側立面図



北側立面図



西側立面図

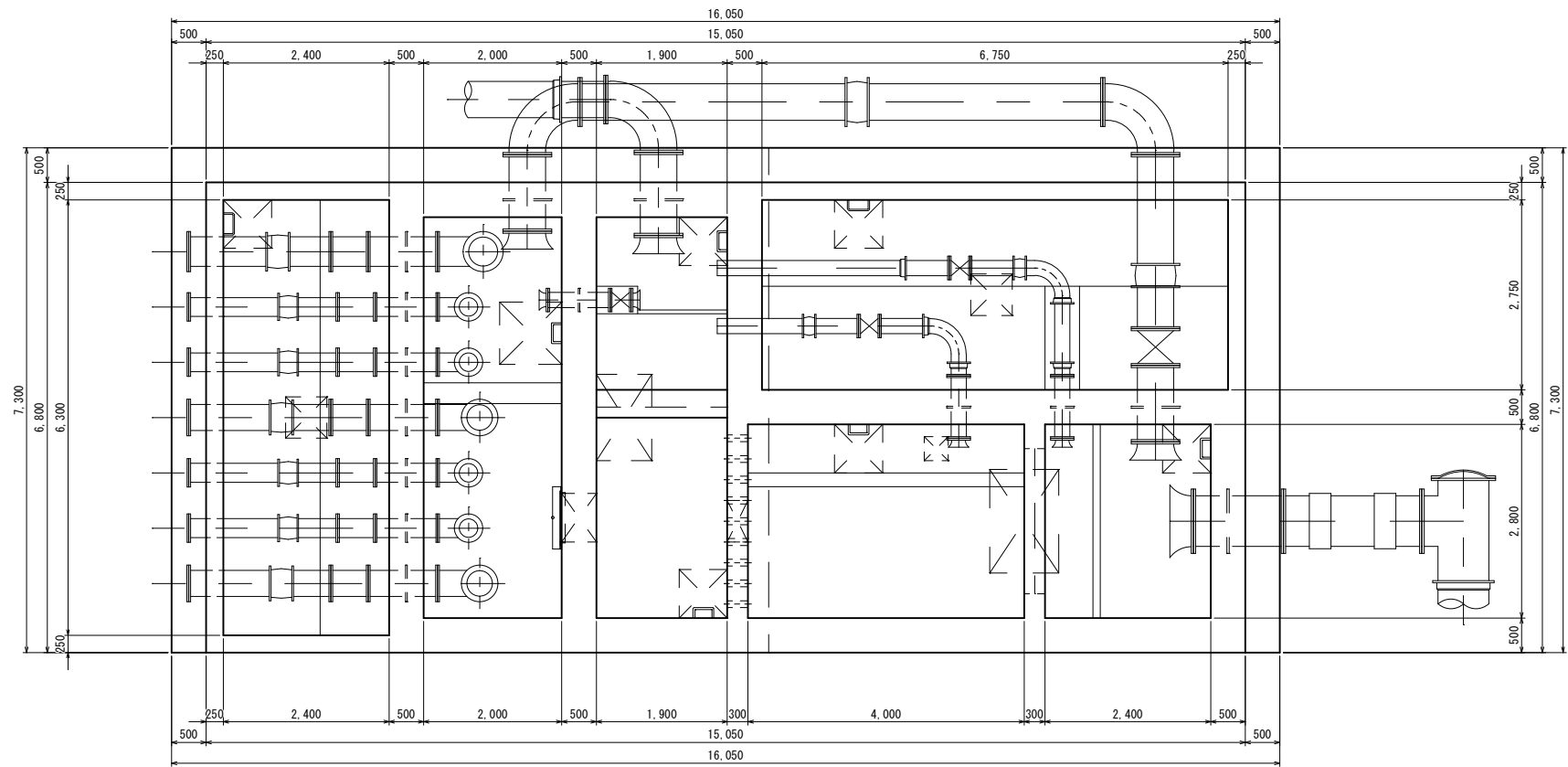


※配水池外壁の塗膜にはアスベストが含有されているため、塗膜除去の際は飛散防止養生を行い、撤去作業を実施すること。

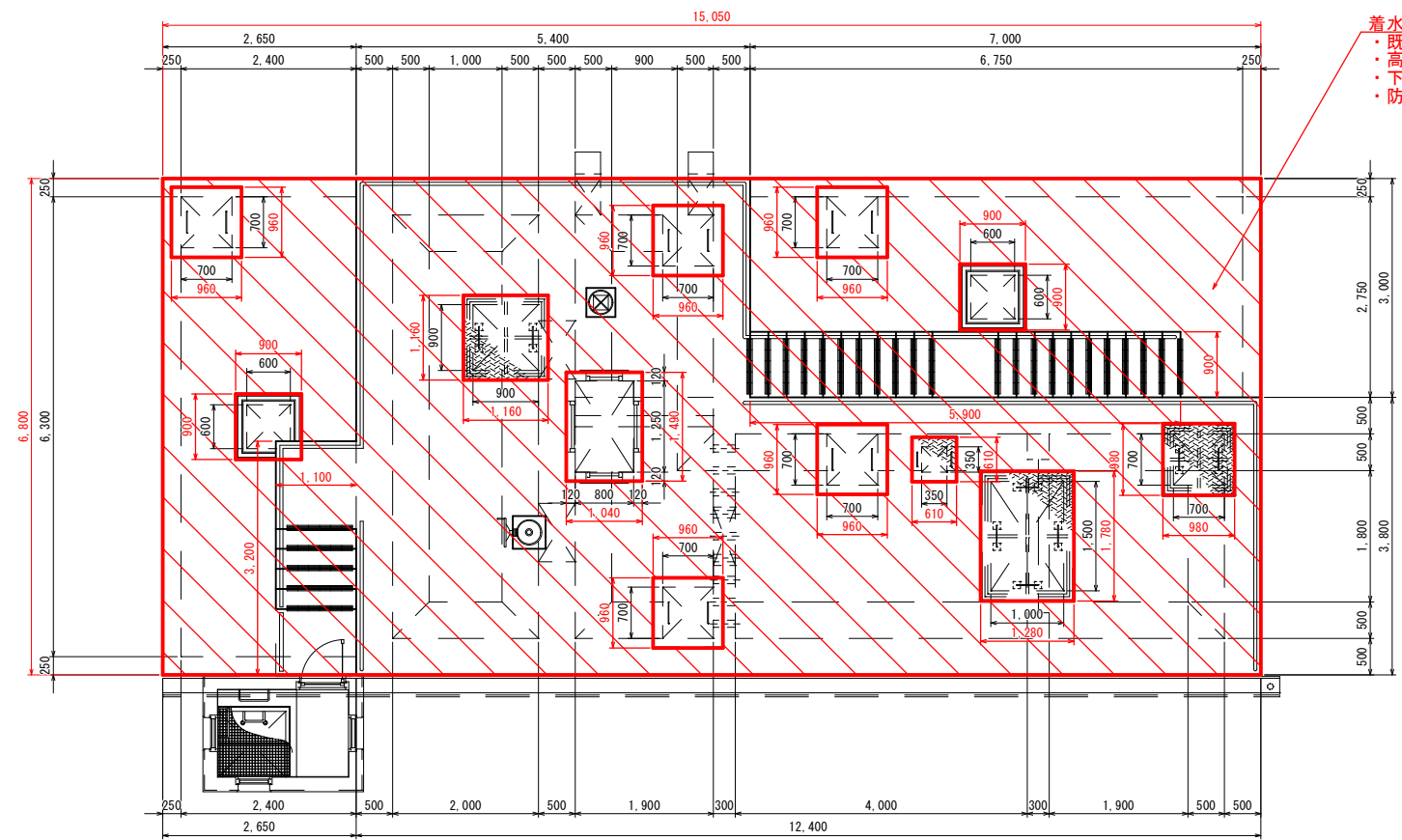
工事名称	国補 川合新田水源1号配水池耐震補強工事			
工事箇所	長野市 大字川合新田			
図面名称	着水井 外壁塗装改修立面図			
縮 尺	1:100(A1)	図面番号	34 / 42	
課 長	補 佐	主 幹	係 長	
照 査	設 計	水道技術 管理者		
年 月 日	令和	年	月	日
長野市 上下水道局 浄水課				

川合新田水源 着水井 スラブ上面塗装改修立面図 S=1:50

平面図



上部平面図



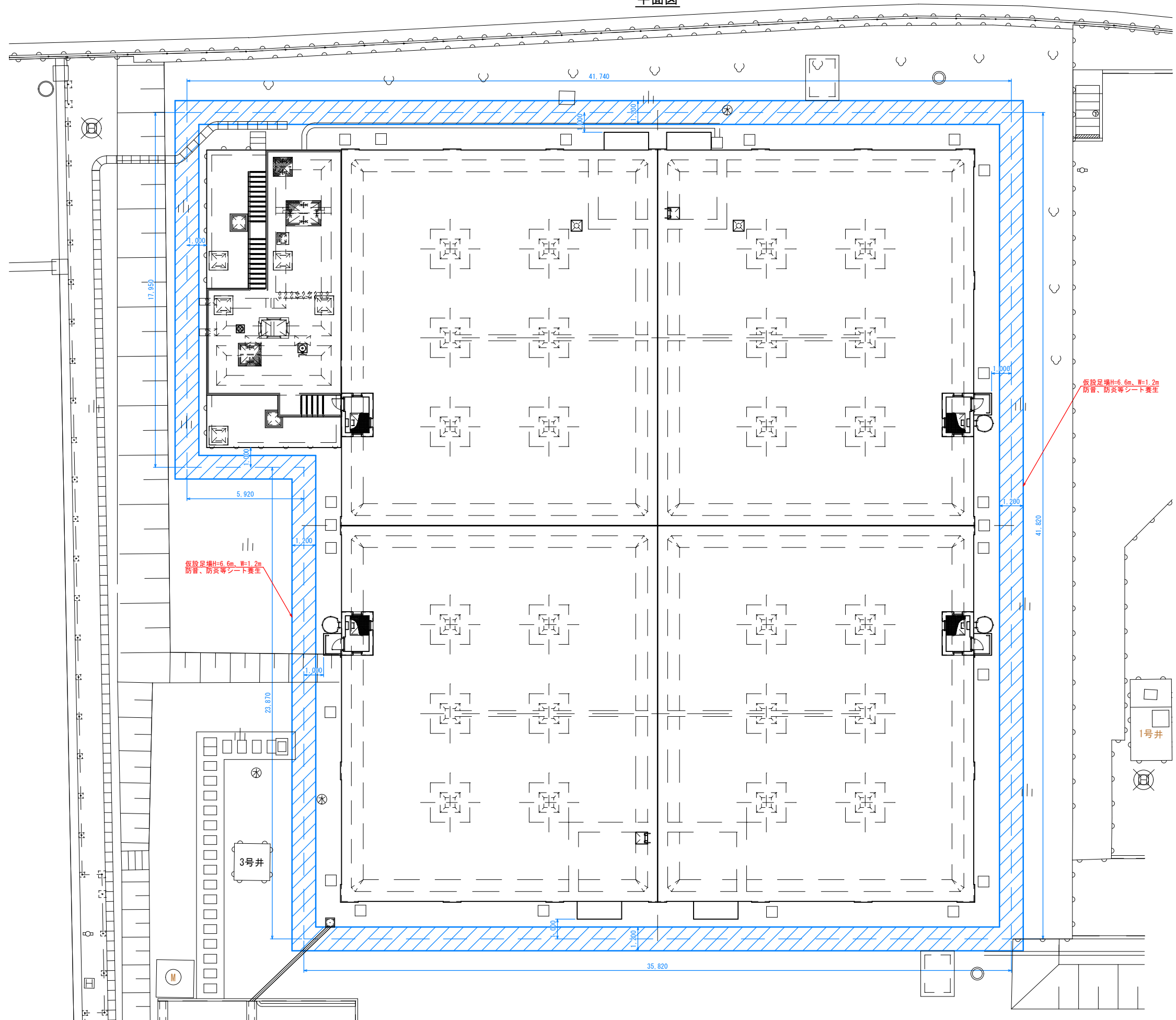
着水井スラブ上面：塗装改修(全面)
・既存塗装撤去工
・高圧水洗工
・下地調整工
・防水塗装工

施工部位		仕上材仕様
配水池	屋 根	耐候性塗料（鉄鋼面1級 フッ素樹脂）
	側壁・飾り柱	防水型複層塗材E
着水井	屋上スラブ	2成分形超速硬化ウレタン防水材
	側 壁	防水型複層塗材E

工事名称	国補 川合新田水源1号配水池耐震補強工事		
工事箇所	長野市 大字川合新田		
図面名称	着水井 スラブ上面塗装改修立面図		
縮 尺	1:50 (A1)	図面番号	35 / 42
課 長	補 佐	主 幹	係 長
照 査	設 計	水道技術 管理者	
年 月 日	令和	年	月 日
長野市 上下水道局 浄水課			

川合新田水源 1号配水池 仮設養生参考図(1) S=1:100

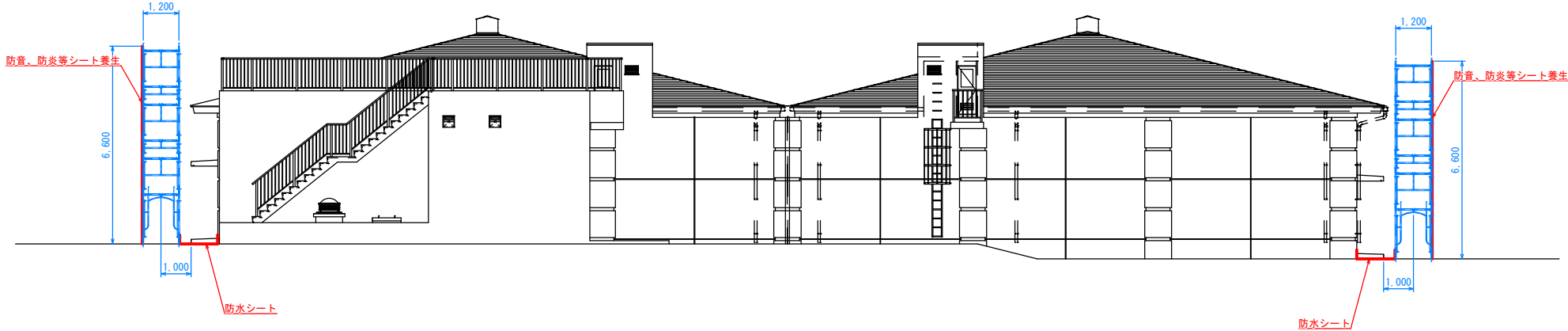
平面図



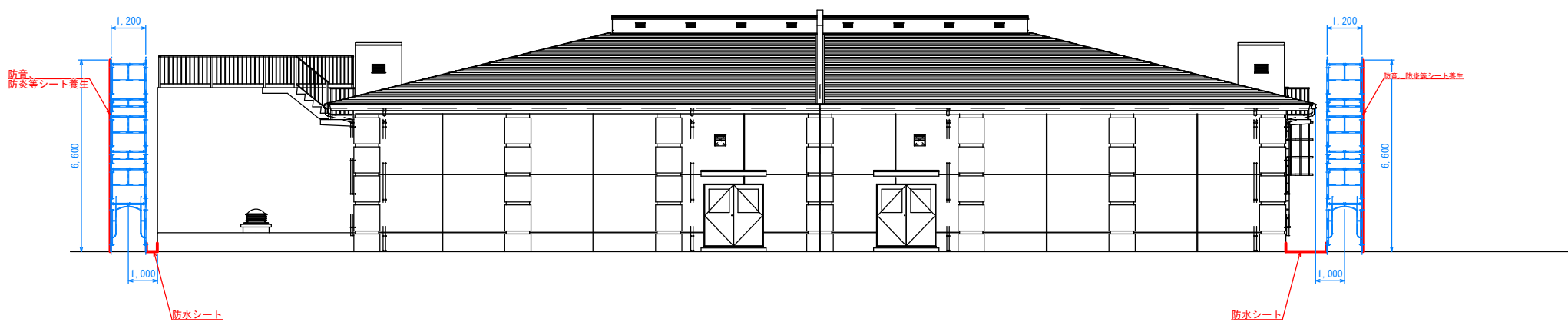
工事名称	国補 川合新田水源 1号配水池耐震補強工事
工事箇所	長野市 大字川合新田
図面名称	1号配水池 仮設養生参考図(1)
縮尺	1:100(A1)
図面番号	36 / 42
課長	補佐
主幹	係長
設計	水道技術
監査	管理者
年月日	令和 年 月 日
長野市 上下水道局 浄水課	

川合新田水源 1号配水池 仮設養生参考図(2) S=1:100

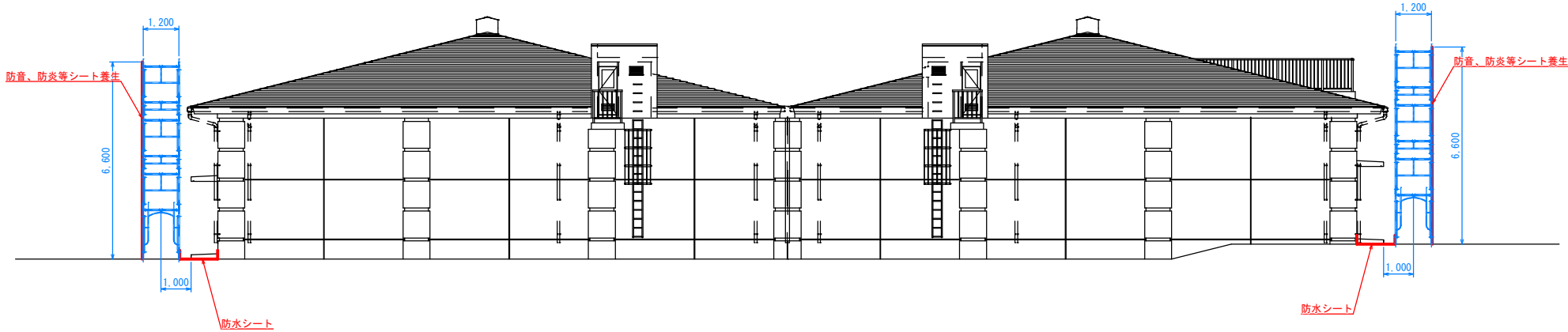
南側立面図



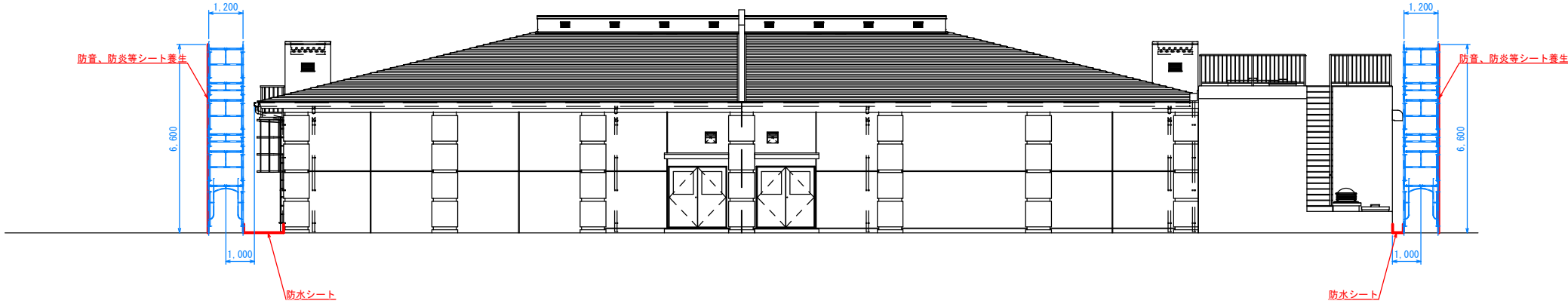
東側立面図



北側立面図



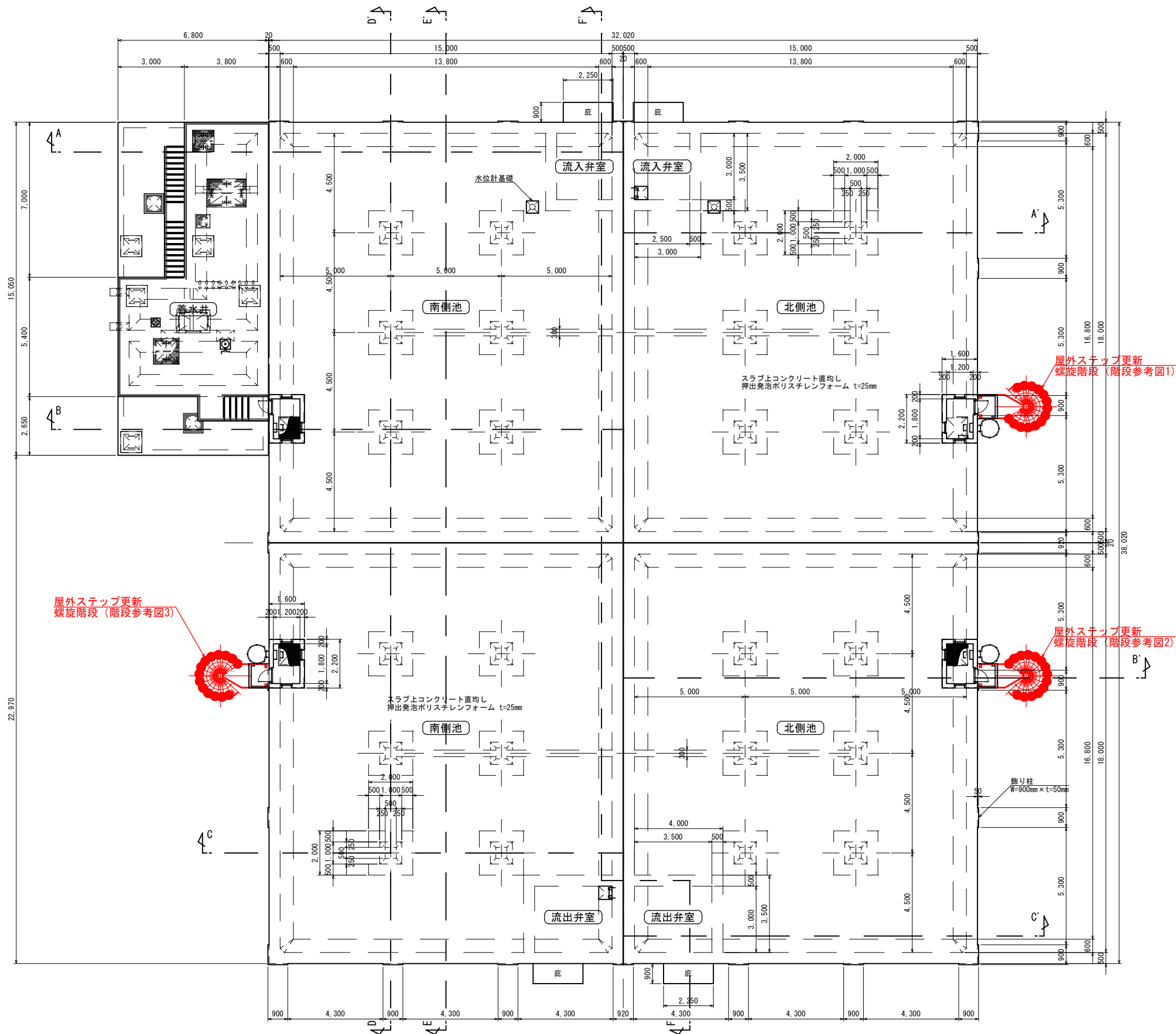
西側立面図



工事名称	国補 川合新田水源1号配水池耐震補強工事			
工事箇所	長野市 大字川合新田			
図面名称	1号配水池 仮設養生参考図(2)			
縮尺	1:100(A1)	図面番号	37 / 42	
課長	補佐	主幹	係長	
照査	設計	水道技術管理者		
年月日	令和	年	月	日
長野市 上下水道局 浄水課				

川合新田水源 1号配水池 ステップ改修平面図 S=1:100 (A1)

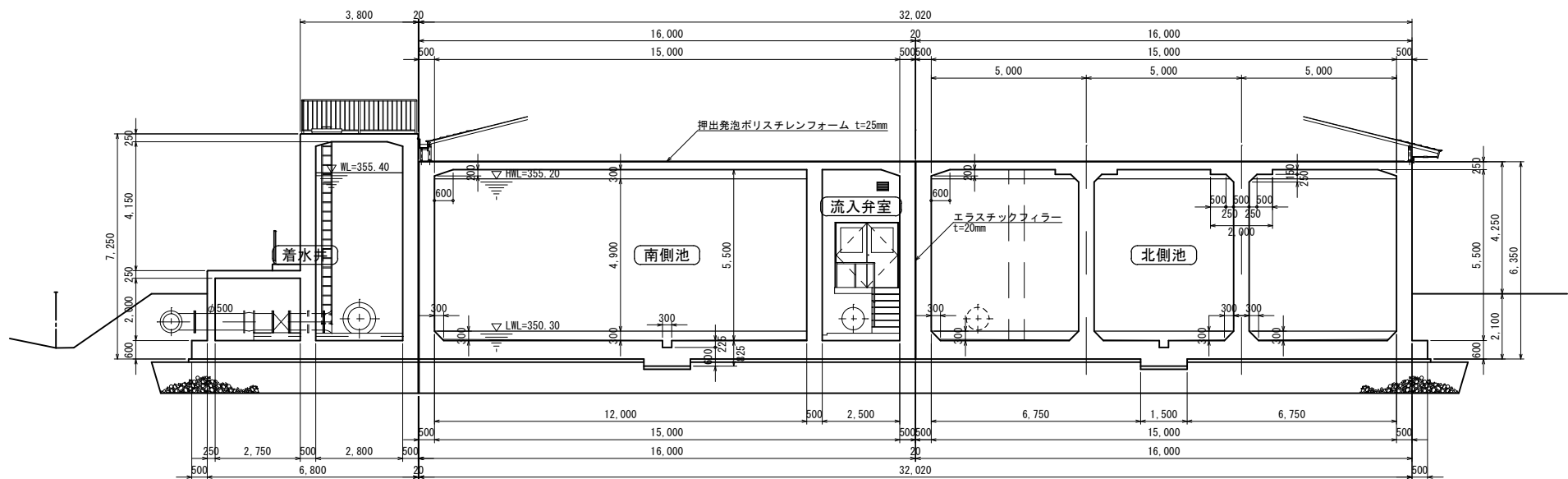
上部平面図



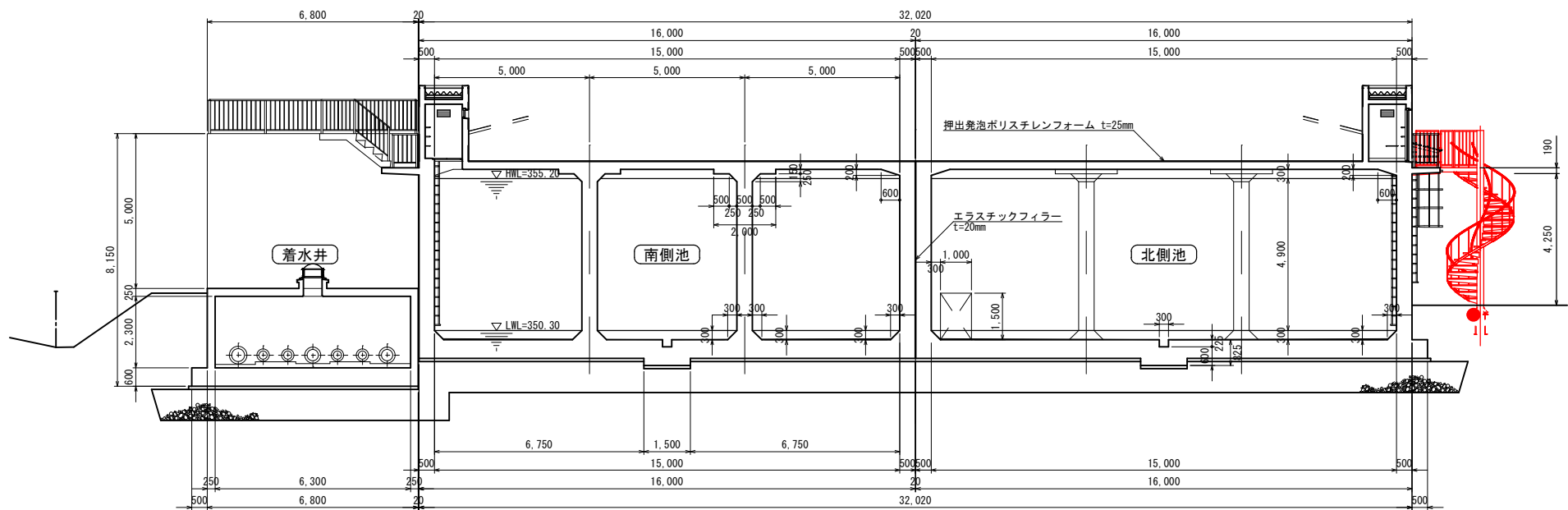
工事名称	国補 川合新田水源 1号配水池耐震補強工事				
工事箇所	長野市 大字川合新田				
図面名称	1号配水池 ステップ改修平面図				
縮 尺	1:100 (A1)		図面番号	38 / 42	
課長		補佐		主幹	係長
照査		設計		水道技術 管理者	
年 月 日	令和		年	月	日
長野市 上下水道局 浄水課					

川合新田水源 1号配水池 ステップ改修断面図 S=1:100 (A1)

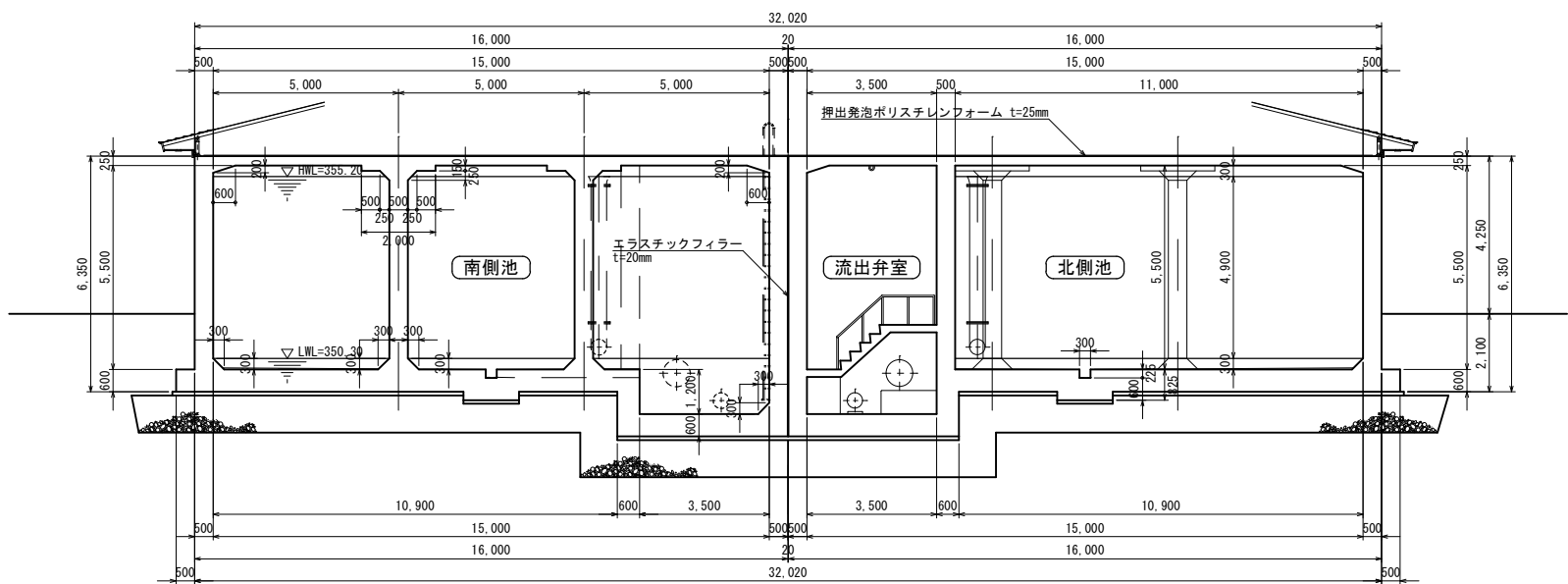
A-A' 断面図



B-B' 断面図

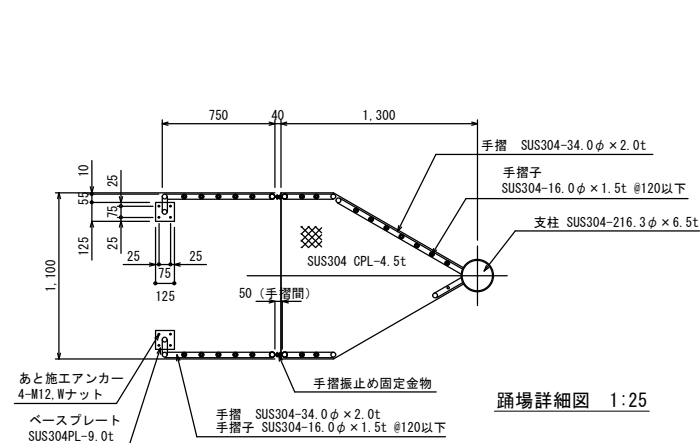


C-C' 断面図

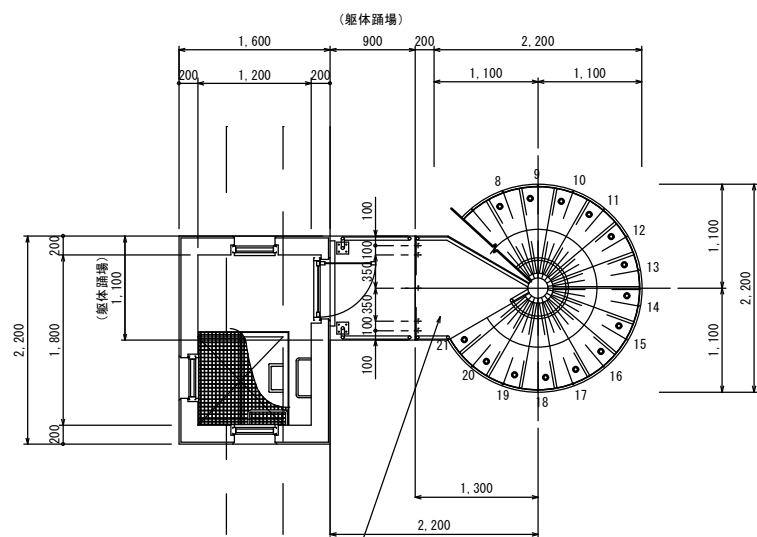
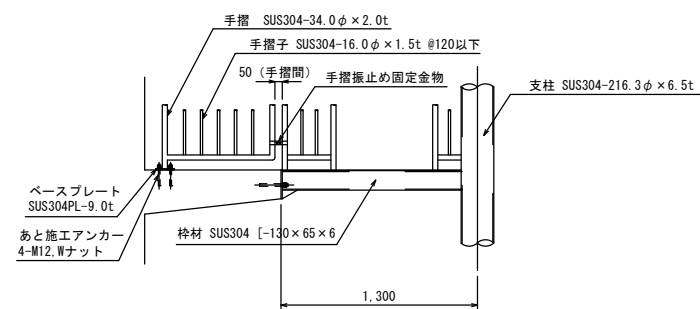
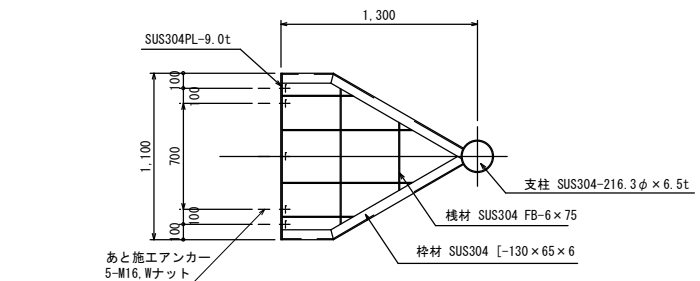


工事名称		国補 川合新田水源1号配水池耐震補強工事			
工事箇所		長野市 大字川合新田			
図面名称		1号配水池 ステップ改修断面図			
縮尺		1:100 (A1)		図面番号	39 / 42
課長		補佐		主幹	係長
照査		設計		水道技術 管理者	
年 月 日		令和		年	月 日
長野市 上下水道局 浄水課					

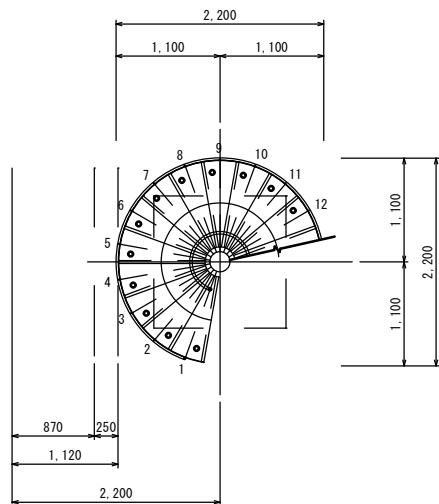
川合新田水源 1号配水池 階段参考図(1) S=1:40(A1)



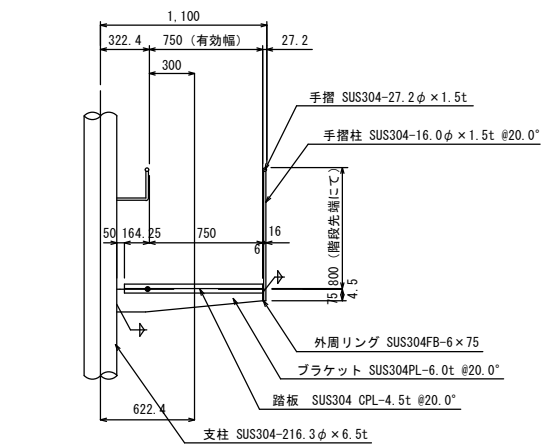
踊場詳細図 1:25



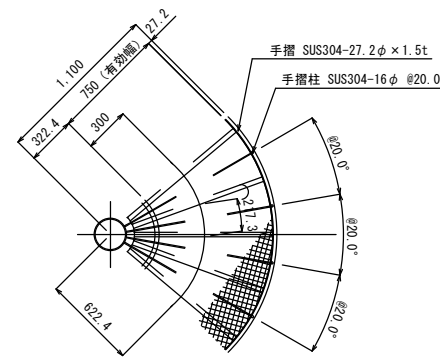
2階平面図 1:40



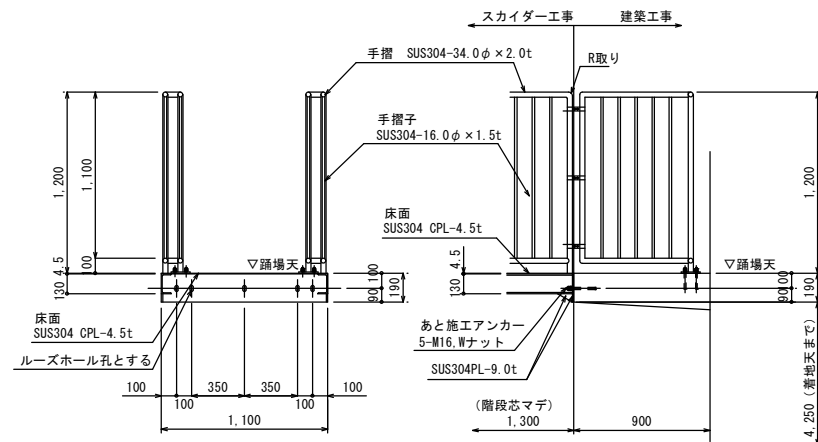
1階平面図 1:40



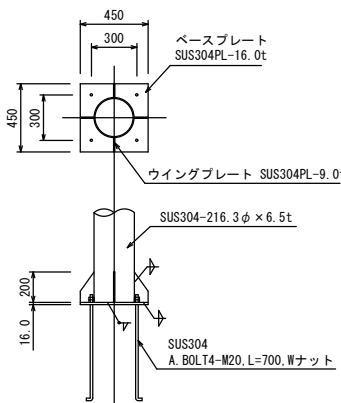
断面詳細図 1:25



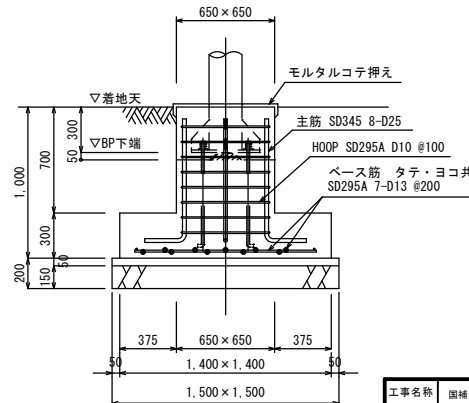
平面詳細図 1:25



踊場取付詳細図 1:25



柱脚部詳細図 1:25

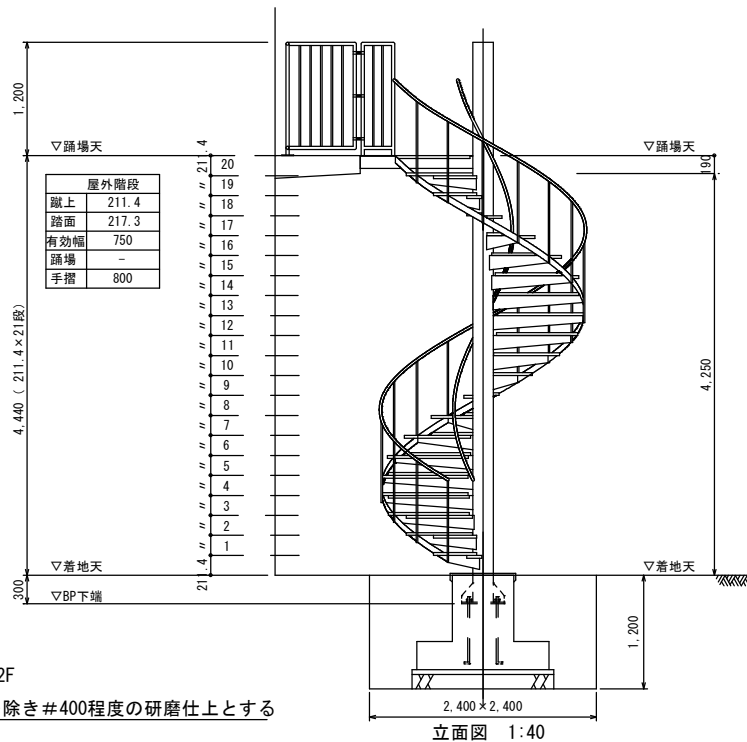


基礎詳細図 1:25

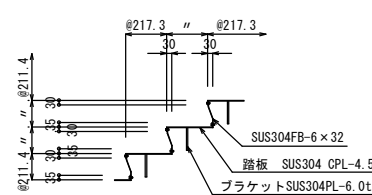
【1号機】

スカイダー 屋外螺旋階段 ARS型-2F

ステンレス材は、床材及び骨材を除き#400程度の研磨仕上とする
基礎工事は建築工事とする



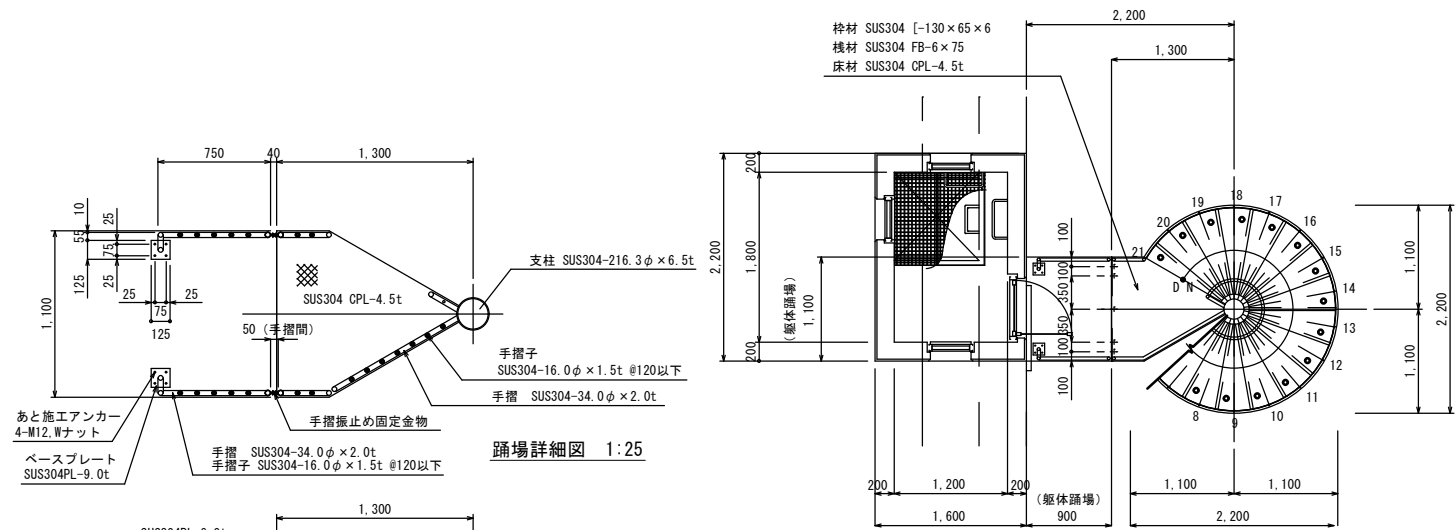
立面図 1:40



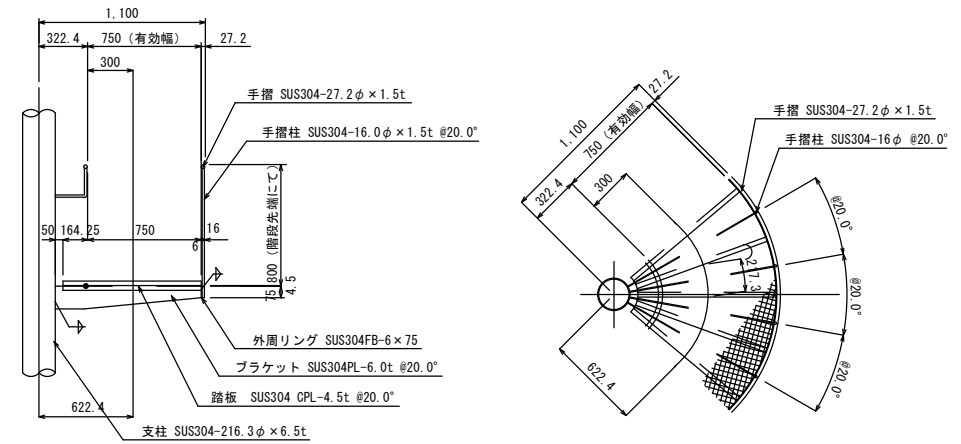
階段断面図 Free

工事名称	国補 川合新田水源1号配水池耐震補強工事
工事箇所	長野市 大字川合新田
図面名称	1号配水池 階段参考図(1)
縮尺	1:40 1:25(A1) 図面番号 40 / 42
設計	主 幹 係 長
監 査	技 術 管理 者
年 月 日	令和 年 月 日
長野市 上下水道局 浄水課	

川合新田水源 1号配水池 階段参考図(2) S=1:40 (A1)

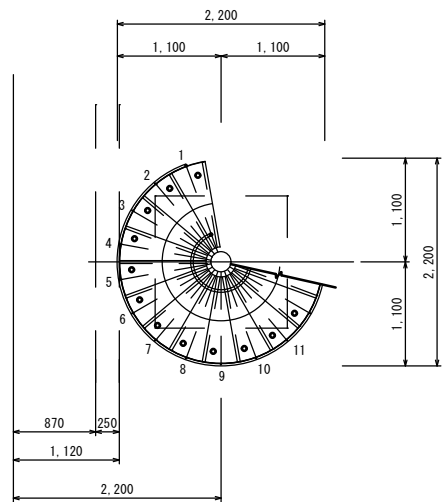
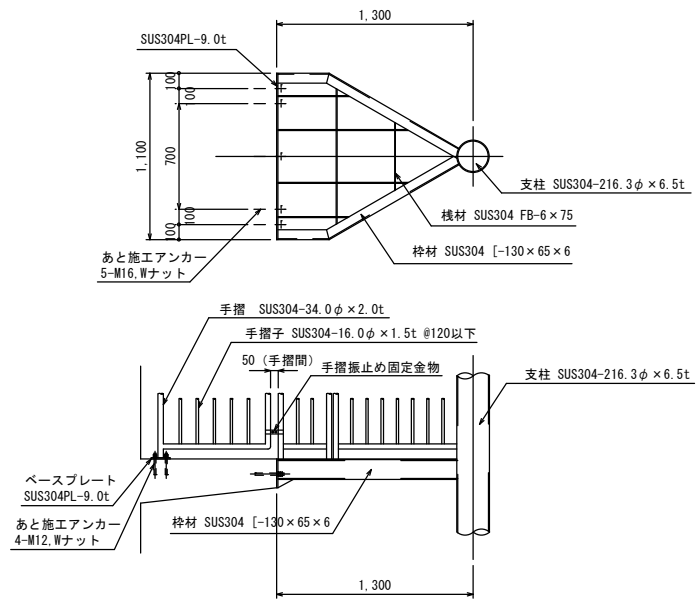


2階平面図 1 : 40

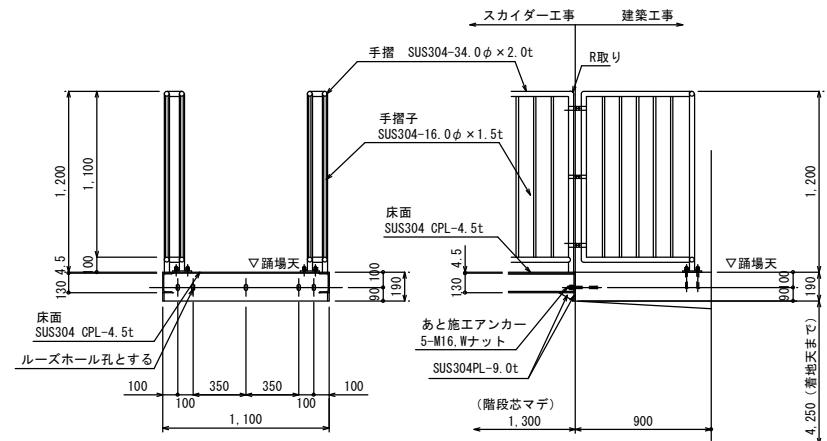


断面詳細図 1:25

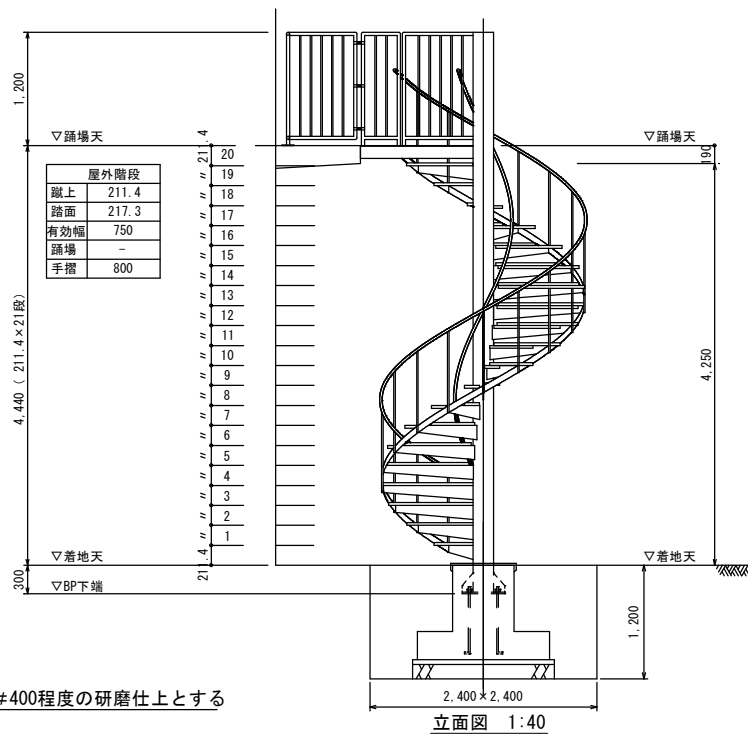
平面詳細図 1:25



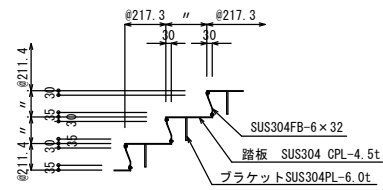
1階平面図 1 : 40



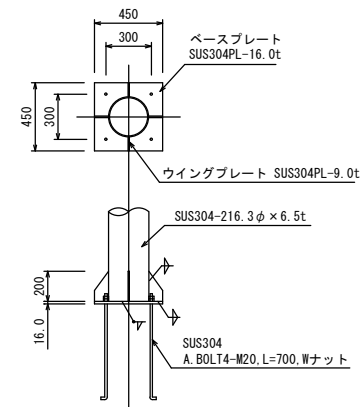
踊場取付詳細図 1:25



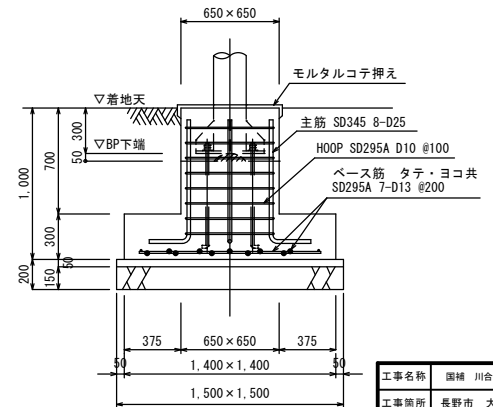
立面图 1:40



階段断面図 Free



柱脚部詳細図 1:25



基礎詳細図 1:25

【2号機】

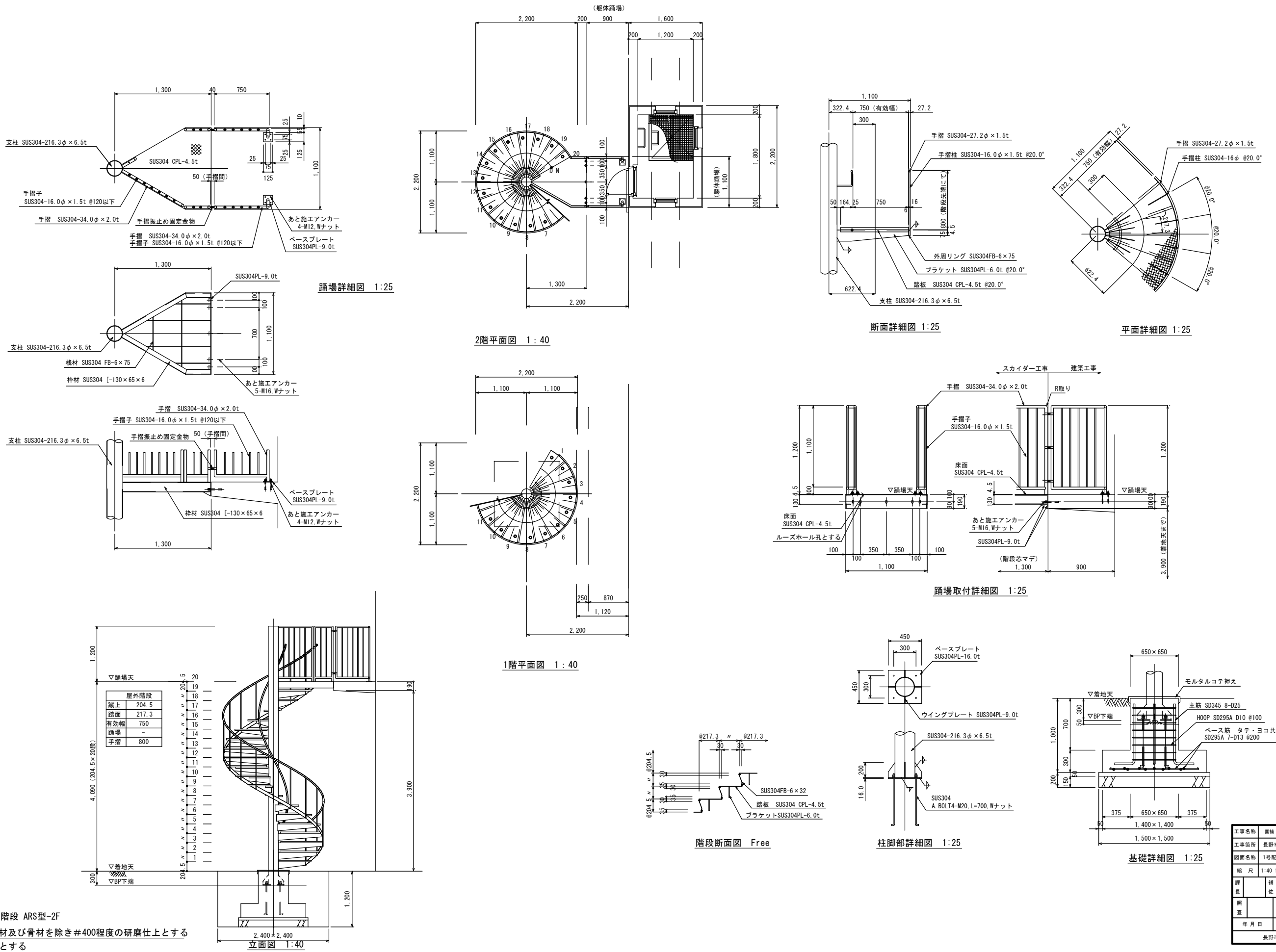
スカイター 屋外螺旋階段 ARS型-2F

ステンレス材は、床材及び骨材を除き#400程度の研磨仕上とする

基礎工事は建築工事とする

工事名称	国権 川合新田水源 1号配水池耐震補強工事									
工事箇所	長野市 大字川合新田									
図面名称	1号配水池 階段参考図(2)									
縮尺	1:40 1:25(1A)					図面番号	41 / 42			
課長			補佐			主幹			係長	
照査			設計			水道技術 管理者				
年 月 日	令和		年		月		日			
長野市 上下水道局 浄水課										

川合新田水源 1号配水池 階段参考図(3) S=1:40(A1)



工事名称	国補 川合新田水源 1号配水池創設補修工事
工事箇所	長野市 大字川合新田
図面名称	1号配水池 階段参考図(3)
縮尺	1:40 1:25(A1)
図面番号	42 / 42
課長	補佐
主幹	係長
照査	設計
水道技術 管理者	
年月日	令和 年 月 日
長野市 上下水道局 浄水課	